

横手市まちづくりアンケート

2019

第2次横手市総合計画の進行管理と行政評価制度の導入による新たな行財政マネジメントサイクルの一環として、各施策の成果や達成の度合い、また、市民からみた各施策の重要度・満足度を把握することを目的としたアンケートです。

結果報告書

令和元年10月

内容

I	調査の概要	3
1	調査の概要	3
2	回答者の属性	4
3	その他	6
II	アンケートの結果	7
1	公共施設の利用等について	7
2	横手産の農産物について	13
3	スポーツ振興について	18
4	災害時の避難について	22
5	男女共同参画について	28
6	移動・公共交通について	31
7	住みよさ・定住意向について	40
8	各分野への「重要度」「満足度」	55
9	自由記載欄で寄せられたご意見等	69
	(1-1 子育て支援の充実)	69
	(1-2 健康な心と体づくりの推進)	72
	(1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進)	72
	(1-4 障がい者（児）福祉の充実)	74
	(1-5 低所得者福祉の充実)	75
	(1-6 福祉を支える人材の確保と育成)	76
	(2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実)	77
	(2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備)	77
	(2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進)	79
	(2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進)	81
	(2-5 よこての伝統文化の継承と再発見)	82
	(3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進)	82
	(3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全)	84
	(3-3 災害に強いまちづくりの推進)	84
	(3-4 循環型社会の一層の推進)	85
	(4-1 魅力ある農林業の振興)	86
	(4-2 活気ある商業の振興)	87
	(4-4 観光・物産資源の発掘と発信)	87
	(4-5 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策)	90
	(5-1 雪国の快適な暮らしの実現)	92
	(5-2 快適な移動空間の実現)	96
	(5-3 市民が利用しやすい公共交通の充実)	99
	(5-4 地域拠点整備による市街地の活性化)	102

(5-5 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理)	103
(5-6 市民がくつろげる公共空間の整備)	104
(6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実)	105
(6-2 男女が尊重しあう社会づくり)	105
(6-3 情報を共有する環境の整備)	106
(7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立)	108
(7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進)	109
(7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実)	110
(横手市の取り組み全般について)	114
(アンケートについて)	120
(その他)	123
Ⅲ 巻末資料	126
1 アンケート調査票	126

I 調査の概要

1 調査の概要

■ 調査の目的

第2次横手市総合計画の進行管理と行政評価制度の導入による新たな行財政マネジメントサイクルの一環として、総合計画に位置付けられている各施策の成果や達成の度合い、また、市民からみた各施策の重要度・満足度の把握を行うことを目的とします。

■ 調査の設計

- ・調査対象：横手市在住の満18才以上の市民（令和元年5月31日現在）
- ・抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出（地域・男女・年代の層別サンプリング）
- ・標本数：3,000人
- ・調査方法：郵送による無記名回答調査
- ・調査時期：令和元年6月14日から7月1日まで
（ただし、回答期限後に到着した分についても集計対象に含めています。）

■ 回収の状況

- ・発送数：3,000通
- ・回収数：1,311通
- ・回収率：43.7%

2 回答者の属性

ア. 性別

	発送数	回答数	回答率	回答者比率
男性	1,498人	594人	39.7%	45.3%
女性	1,502人	688人	45.8%	52.5%
無回答		29人	—	2.2%
合計	3,000人	1,311人	43.7%	100.0%

イ. 年齢

	発送数	回答数	回答率	回答者比率
10歳代	90人	18人	20.0%	1.4%
20歳代	273人	76人	27.8%	5.8%
30歳代	438人	142人	32.4%	10.8%
40歳代	527人	213人	40.4%	16.2%
50歳代	559人	233人	41.7%	17.8%
60歳代	787人	406人	51.6%	31.0%
70歳代以上	326人	205人	62.9%	15.6%
無回答		18人	—	1.4%
合計	3,000人	1,311人	43.7%	100.0%

ウ. 現在お住まいの地域

	発送数	回答数	回答率	回答者比率
横手	1,203人	495人	41.1%	37.8%
増田	227人	103人	45.4%	7.9%
平鹿	399人	178人	44.6%	13.6%
雄物川	298人	131人	44.0%	10.0%
大森	193人	90人	46.6%	6.9%
十文字	415人	163人	39.3%	12.4%
山内	106人	45人	42.5%	3.4%
大雄	159人	80人	50.3%	6.1%
無回答		26人	—	2.0%
合計	3,000人	1,311人	43.7%	100.0%

エ. 職業

	回答数	回答者比率
1. 農林業	119人	9.1%
2. 自営業（商工業、サービス業など）	83人	6.3%
3. 会社員（常勤）	348人	26.5%
4. 会社員（パート・アルバイトなど）	191人	14.6%
5. 専業主婦（夫）	126人	9.6%
6. 公務員、団体職員	113人	8.6%
7. 学生	19人	1.4%
8. 無職	255人	19.5%
9. その他	22人	1.7%
無回答	35人	2.7%
合計	1,311人	100.0%

オ. 家族構成

	回答数	回答者比率
1. 一人暮らし	106人	8.1%
2. 夫婦のみ	289人	22.0%
3. 二世帯同居（親と同居）	294人	22.4%
4. 二世帯同居（子と同居）	310人	23.6%
5. 三世帯同居	249人	19.0%
6. その他	36人	2.7%
無回答	27人	2.1%
合計	1,311人	100.0%

カ. 同居家族内における高校生以下の子どもの有無

	回答数	回答者比率
いる	326人	24.9%
いない	933人	71.2%
無回答	52人	4.0%
合計	1,311人	100.0%

キ. 同居家族（自身を含む）における 65 歳以上の方の有無

	回答数	回答者比率
いる	798人	60.9%
いない	472人	36.0%
無回答	41人	3.1%
合計	1,311人	100.0%

3 その他

ク. 市の情報を知る手段（主なもの3つまで選択）

	回答数	回答者比率
1. 市報よこて	1,195人	91.2%
2. 市のホームページ	226人	17.2%
3. 市議会議員や市職員など市政運営に関わりのある人	127人	9.7%
4. 市発行のチラシ（お知らせ）や回覧	676人	51.6%
5. 横手かまくらFM（ラジオ）	167人	12.7%
6. 市のフェイスブック	49人	3.7%
7. その他	57人	4.3%
無回答	25人	1.9%
合計	2,522人	
回答者実人数	1,311人	

※複数回答。回答者比率は実人数に対する割合のため、合計すると100%を超えます。

【「7. その他」で記載された主な回答（順不同）】

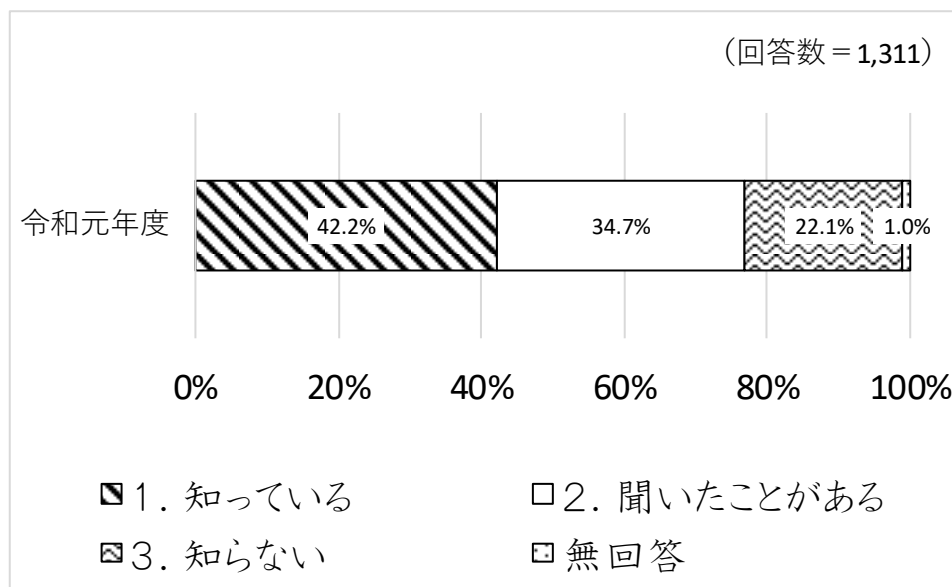
- | | |
|-----------|-------------------|
| ・テレビ | ・友人、知人、職場の同僚 |
| ・新聞 | ・ほとんど情報を得ていない |
| ・横手市のLINE | ・フリーペーパー |
| ・家族 | ・インターネット |
| ・町内会役員 | ・特に興味はないので知らなくて良い |
| ・よこテレビ | |

II アンケートの結果

1 公共施設の利用等について

問1 日本では、昭和40年代から50年代にかけて、道路や橋を含めた公共施設が一斉に整備されました。現在、これらの老朽化が進んでいますが、高齢化や人口減少が進む中で、すべての公共施設を維持することは難しくなります。

このことは「公共施設の更新問題（老朽化問題）」と言われていますが、あなたはこのことをご存知でしたか。（〇は1つ）



横手市まちづくりアンケート

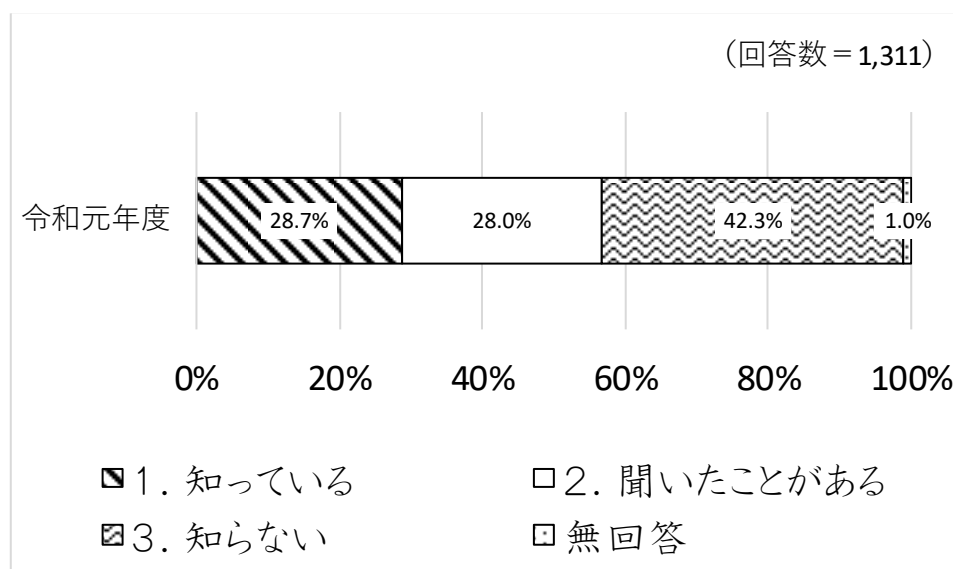
問1		1. 知っている		2. 聞いたことがある		3. 知らない		無回答		総計
性別	男性	303人	51.0%	175人	29.5%	116人	19.5%	0人	0.0%	594人
	女性	241人	35.0%	275人	40.0%	168人	24.4%	4人	0.6%	688人
	無回答	9人	31.0%	5人	17.2%	6人	20.7%	9人	31.0%	29人
	総計	553人	42.2%	455人	34.7%	290人	22.1%	13人	1.0%	1,311人
年齢	10歳代	5人	27.8%	3人	16.7%	10人	55.6%	0人	0.0%	18人
	20歳代	23人	30.3%	19人	25.0%	34人	44.7%	0人	0.0%	76人
	30歳代	33人	23.2%	56人	39.4%	53人	37.3%	0人	0.0%	142人
	40歳代	84人	39.4%	66人	31.0%	61人	28.6%	2人	0.9%	213人
	50歳代	105人	45.1%	84人	36.1%	44人	18.9%	0人	0.0%	233人
	60歳代	191人	47.0%	161人	39.7%	54人	13.3%	0人	0.0%	406人
	70歳以上	109人	53.2%	62人	30.2%	32人	15.6%	2人	1.0%	205人
	無回答	3人	16.7%	4人	22.2%	2人	11.1%	9人	50.0%	18人
総計	553人	42.2%	455人	34.7%	290人	22.1%	13人	1.0%	1,311人	
地域	横手	202人	40.8%	161人	32.5%	131人	26.5%	1人	0.2%	495人
	増田	42人	40.8%	38人	36.9%	23人	22.3%	0人	0.0%	103人
	平鹿	82人	46.1%	62人	34.8%	32人	18.0%	2人	1.1%	178人
	雄物川	54人	41.2%	50人	38.2%	27人	20.6%	0人	0.0%	131人
	大森	33人	36.7%	36人	40.0%	21人	23.3%	0人	0.0%	90人
	十文字	78人	47.9%	59人	36.2%	25人	15.3%	1人	0.6%	163人
	山内	17人	37.8%	21人	46.7%	7人	15.6%	0人	0.0%	45人
	大雄	38人	47.5%	23人	28.8%	19人	23.8%	0人	0.0%	80人
	無回答	7人	26.9%	5人	19.2%	5人	19.2%	9人	34.6%	26人
	総計	553人	42.2%	455人	34.7%	290人	22.1%	13人	1.0%	1,311人

【表の読み方】

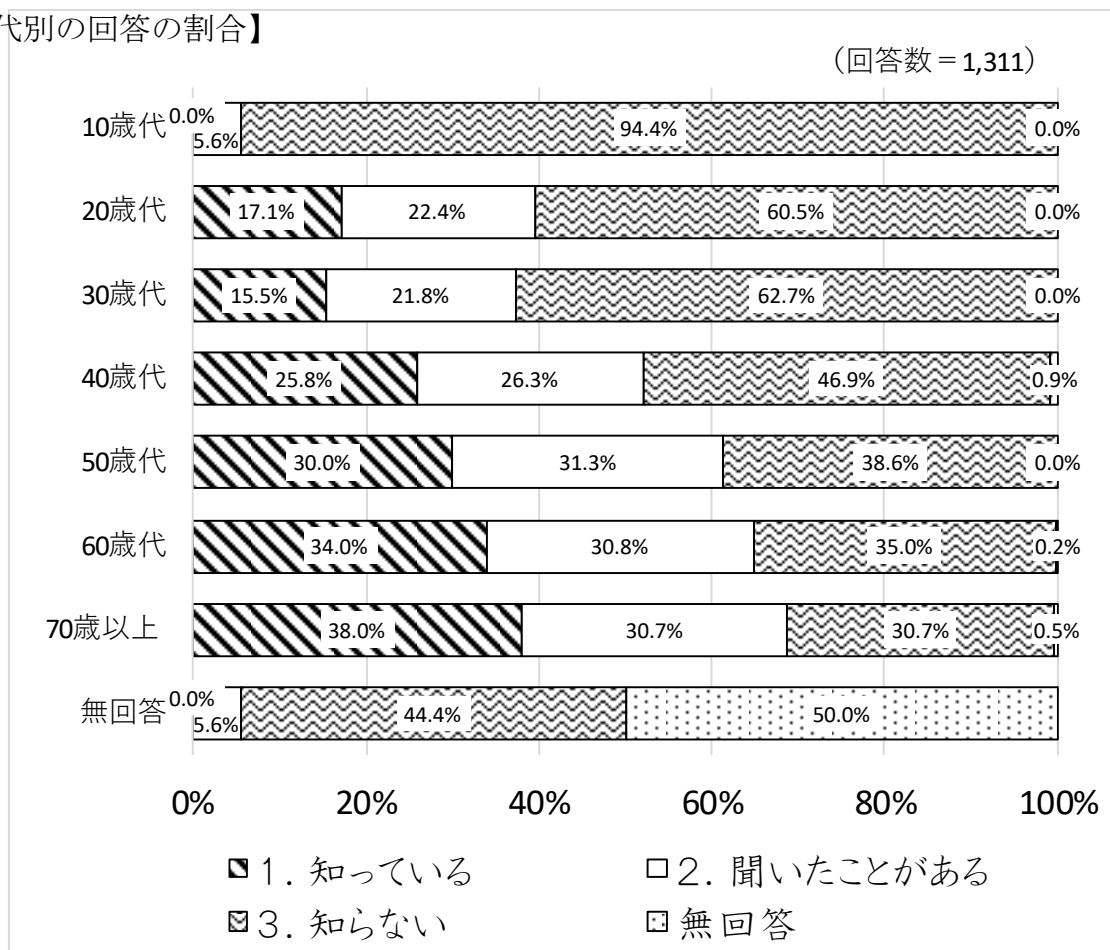
例) 大雄地域の回答者の47.5% (80人中38人) が「1. 知っている」と回答

問2 横手市では、公共施設の老朽化や将来の人口減少、財源の減少を見据え、「横手市財産経営推進計画」により、公共施設の再配置等を行っています。あなたは、このことをご存知でしたか。(〇は1つ)

- 全体の56.7%が「知っている」「聞いたことがある」と回答している。
- 30歳代までの「知らない」の割合が高い。



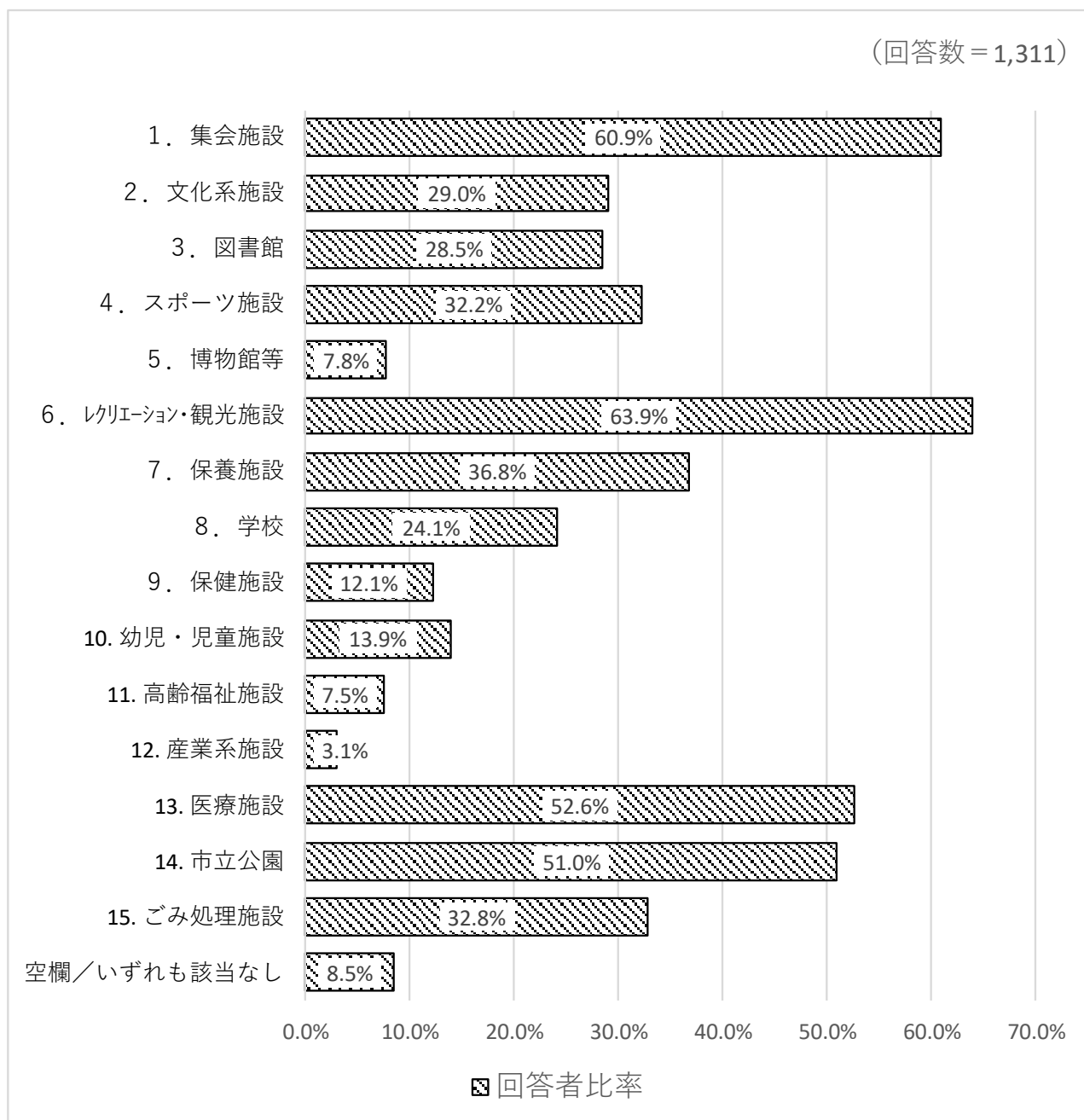
【年代別の回答の割合】



問2		1. 知っている		2. 聞いたことがある		3. 知らない		無回答		総計
性別	男性	198人	33.3%	154人	25.9%	241人	40.6%	1人	0.2%	594人
	女性	172人	25.0%	210人	30.5%	303人	44.0%	3人	0.4%	688人
	無回答	6人	20.7%	3人	10.3%	11人	37.9%	9人	31.0%	29人
	総計	376人	28.7%	367人	28.0%	555人	42.3%	13人	1.0%	1,311人
年齢	10歳代	0人	0.0%	1人	5.6%	17人	94.4%	0人	0.0%	18人
	20歳代	13人	17.1%	17人	22.4%	46人	60.5%	0人	0.0%	76人
	30歳代	22人	15.5%	31人	21.8%	89人	62.7%	0人	0.0%	142人
	40歳代	55人	25.8%	56人	26.3%	100人	46.9%	2人	0.9%	213人
	50歳代	70人	30.0%	73人	31.3%	90人	38.6%	0人	0.0%	233人
	60歳代	138人	34.0%	125人	30.8%	142人	35.0%	1人	0.2%	406人
	70歳以上	78人	38.0%	63人	30.7%	63人	30.7%	1人	0.5%	205人
	無回答	0人	0.0%	1人	5.6%	8人	44.4%	9人	50.0%	18人
総計	376人	28.7%	367人	28.0%	555人	42.3%	13人	1.0%	1,311人	
地域	横手	138人	27.9%	128人	25.9%	227人	45.9%	2人	0.4%	495人
	増田	26人	25.2%	30人	29.1%	47人	45.6%	0人	0.0%	103人
	平鹿	55人	30.9%	46人	25.8%	76人	42.7%	1人	0.6%	178人
	雄物川	37人	28.2%	48人	36.6%	46人	35.1%	0人	0.0%	131人
	大森	32人	35.6%	26人	28.9%	32人	35.6%	0人	0.0%	90人
	十文字	45人	27.6%	51人	31.3%	66人	40.5%	1人	0.6%	163人
	山内	12人	26.7%	14人	31.1%	19人	42.2%	0人	0.0%	45人
	大雄	29人	36.3%	20人	25.0%	31人	38.8%	0人	0.0%	80人
	無回答	2人	7.7%	4人	15.4%	11人	42.3%	9人	34.6%	26人
	総計	376人	28.7%	367人	28.0%	555人	42.3%	13人	1.0%	1,311人

問3 今後、個別施設ごとの計画作成の参考とするため、市民の皆様の公共施設利用状況についておたずねします。

昨年1年間（平成30年1月1日～平成30年12月31日）を目安に、皆様が利用した市内の公共施設（立ち寄ったことがある施設含む）について教えてください。（あてはまるものすべてに〇、1つも該当がなければ空欄のまま）



問3	回答数	回答者比率
1. 集会施設	799人	60.9%
2. 文化系施設	380人	29.0%
3. 図書館	374人	28.5%
4. スポーツ施設	422人	32.2%
5. 博物館等	102人	7.8%
6. レクリエーション・観光施設	838人	63.9%
7. 保養施設	482人	36.8%
8. 学校	316人	24.1%
9. 保健施設	159人	12.1%
10. 幼児・児童施設	182人	13.9%
11. 高齢福祉施設	98人	7.5%
12. 産業系施設	40人	3.1%
13. 医療施設	689人	52.6%
14. 市立公園	669人	51.0%
15. ごみ処理施設	430人	32.8%
空欄／いずれも該当なし	111人	8.5%
合計	6,091人	
回答者実人数	1,311人	

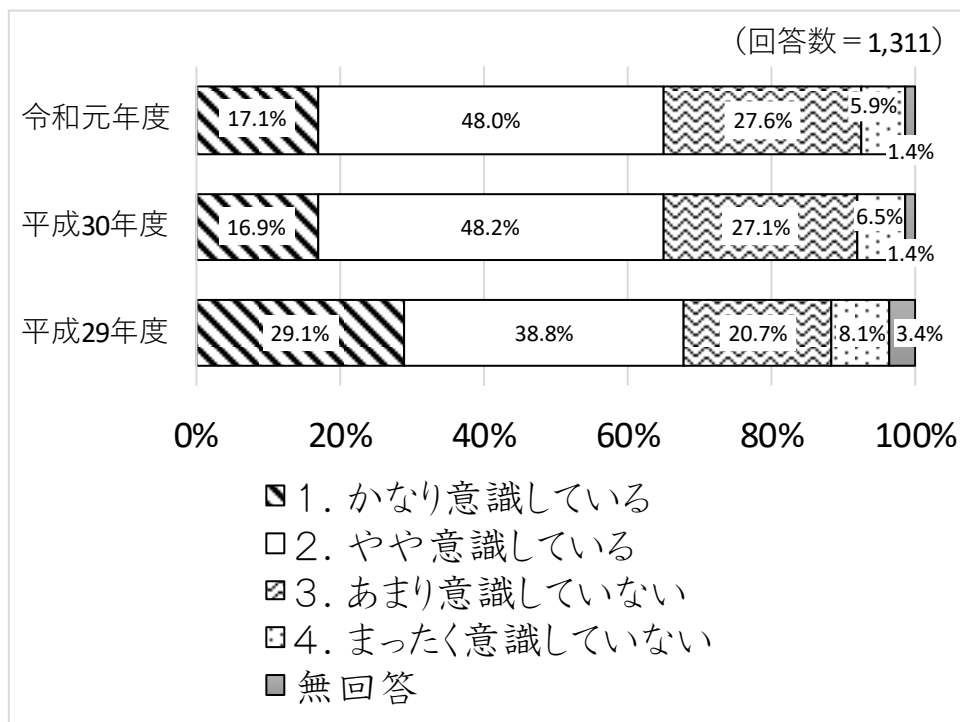
※複数回答。回答者比率は実人数に対する割合のため、合計すると100%を超えます。

2 横手産の農産物について

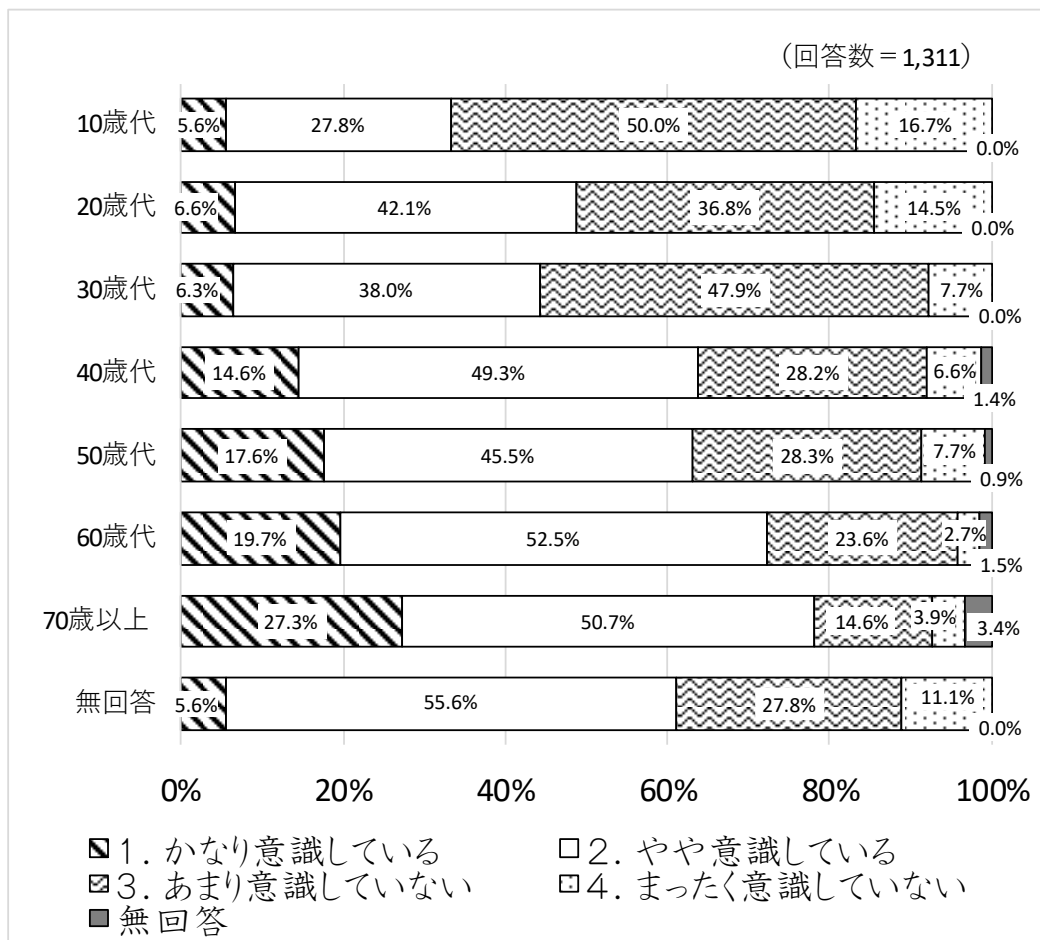
問4 普段から「地産地消（※）」を意識した生活を送っていますか。（〇は1つ）

※地産地消 … 地元で生産された農林水産物を
地元で消費する取り組み

- 全体の65.1%が「意識している（1・2）」と回答。
- 若い年代は「意識していない（3・4）」割合が高く、年代が上がるほど「意識している（1・2）」の割合が高くなる傾向。
- 平成29年度調査時の数字と比べると「意識している（1・2）」の割合は下がったままである。

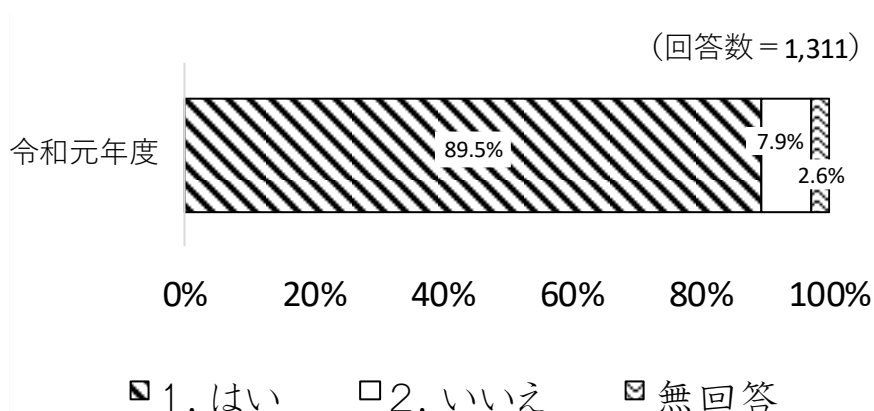


【年代別の回答の割合】



問4		1. かなり意識している		2. やや意識している		3. あまり意識していない		4. まったく意識していない		無回答		統計
性別	男性	86人	14.5%	254人	42.8%	195人	32.8%	48人	8.1%	11人	1.9%	594人
	女性	132人	19.2%	360人	52.3%	160人	23.3%	29人	4.2%	7人	1.0%	688人
	無回答	6人	20.7%	15人	51.7%	7人	24.1%	1人	3.4%	0人	0.0%	29人
	総計	224人	17.1%	629人	48.0%	362人	27.6%	78人	5.9%	18人	1.4%	1,311人
年齢	10歳代	1人	5.6%	5人	27.8%	9人	50.0%	3人	16.7%	0人	0.0%	18人
	20歳代	5人	6.6%	32人	42.1%	28人	36.8%	11人	14.5%	0人	0.0%	76人
	30歳代	9人	6.3%	54人	38.0%	68人	47.9%	11人	7.7%	0人	0.0%	142人
	40歳代	31人	14.6%	105人	49.3%	60人	28.2%	14人	6.6%	3人	1.4%	213人
	50歳代	41人	17.6%	106人	45.5%	66人	28.3%	18人	7.7%	2人	0.9%	233人
	60歳代	80人	19.7%	213人	52.5%	96人	23.6%	11人	2.7%	6人	1.5%	406人
	70歳以上	56人	27.3%	104人	50.7%	30人	14.6%	8人	3.9%	7人	3.4%	205人
	無回答	1人	5.6%	10人	55.6%	5人	27.8%	2人	11.1%	0人	0.0%	18人
総計	224人	17.1%	629人	48.0%	362人	27.6%	78人	5.9%	18人	1.4%	1,311人	
地域	横手	80人	16.2%	216人	43.6%	157人	31.7%	36人	7.3%	6人	1.2%	495人
	増田	20人	19.4%	53人	51.5%	23人	22.3%	6人	5.8%	1人	1.0%	103人
	平鹿	36人	20.2%	91人	51.1%	38人	21.3%	11人	6.2%	2人	1.1%	178人
	雄物川	25人	19.1%	65人	49.6%	32人	24.4%	8人	6.1%	1人	0.8%	131人
	大森	14人	15.6%	44人	48.9%	27人	30.0%	4人	4.4%	1人	1.1%	90人
	十文字	26人	16.0%	86人	52.8%	41人	25.2%	6人	3.7%	4人	2.5%	163人
	山内	3人	6.7%	28人	62.2%	13人	28.9%	0人	0.0%	1人	2.2%	45人
	大雄	18人	22.5%	33人	41.3%	23人	28.8%	5人	6.3%	1人	1.3%	80人
	無回答	2人	7.7%	13人	50.0%	8人	30.8%	2人	7.7%	1人	3.8%	26人
総計	224人	17.1%	629人	48.0%	362人	27.6%	78人	5.9%	18人	1.4%	1,311人	

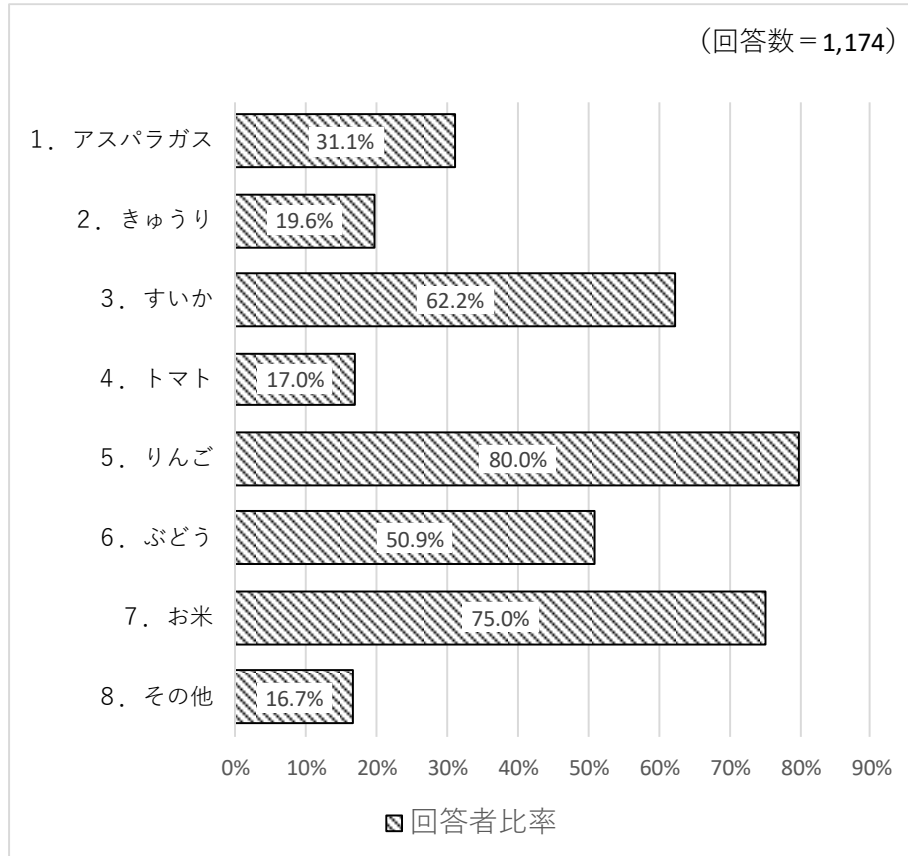
問5 横手産の農産物は、市外・県外の方へ自信を持っておすすめできるものだと思いますか。(〇は1つ)



問5		1. はい		2. いいえ		無回答		総計
性別	男性	507人	85.4%	68人	11.4%	19人	3.2%	594人
	女性	641人	93.2%	32人	4.7%	15人	2.2%	688人
	無回答	26人	89.7%	3人	10.3%	0人	0.0%	29人
	総計	1,174人	89.5%	103人	7.9%	34人	2.6%	1,311人
年齢	10歳代	17人	94.4%	1人	5.6%	0人	0.0%	18人
	20歳代	66人	86.8%	9人	11.8%	1人	1.3%	76人
	30歳代	122人	85.9%	18人	12.7%	2人	1.4%	142人
	40歳代	197人	92.5%	13人	6.1%	3人	1.4%	213人
	50歳代	207人	88.8%	22人	9.4%	4人	1.7%	233人
	60歳代	364人	89.7%	30人	7.4%	12人	3.0%	406人
	70歳以上	185人	90.2%	8人	3.9%	12人	5.9%	205人
	無回答	16人	88.9%	2人	11.1%	0人	0.0%	18人
総計	1,174人	89.5%	103人	7.9%	34人	2.6%	1,311人	
地域	横手	443人	89.5%	40人	8.1%	12人	2.4%	495人
	増田	95人	92.2%	4人	3.9%	4人	3.9%	103人
	平鹿	163人	91.6%	9人	5.1%	6人	3.4%	178人
	雄物川	119人	90.8%	11人	8.4%	1人	0.8%	131人
	大森	82人	91.1%	6人	6.7%	2人	2.2%	90人
	十文字	141人	86.5%	17人	10.4%	5人	3.1%	163人
	山内	39人	86.7%	5人	11.1%	1人	2.2%	45人
	大雄	68人	85.0%	9人	11.3%	3人	3.8%	80人
	無回答	24人	92.3%	2人	7.7%	0人	0.0%	26人
総計	1,174人	89.5%	103人	7.9%	34人	2.6%	1,311人	

問5-2 あなたが自信を持っておすすめできると思う横手の農産物はどんなものですか。(〇はいくつでも)

【問5で「1. はい」と回答した1,174人を対象に集計しています。】



※複数回答。回答者比率は実人数に対する割合のため、合計すると100%を超えます。

【「8. その他」で記載された主な回答（順不同）】

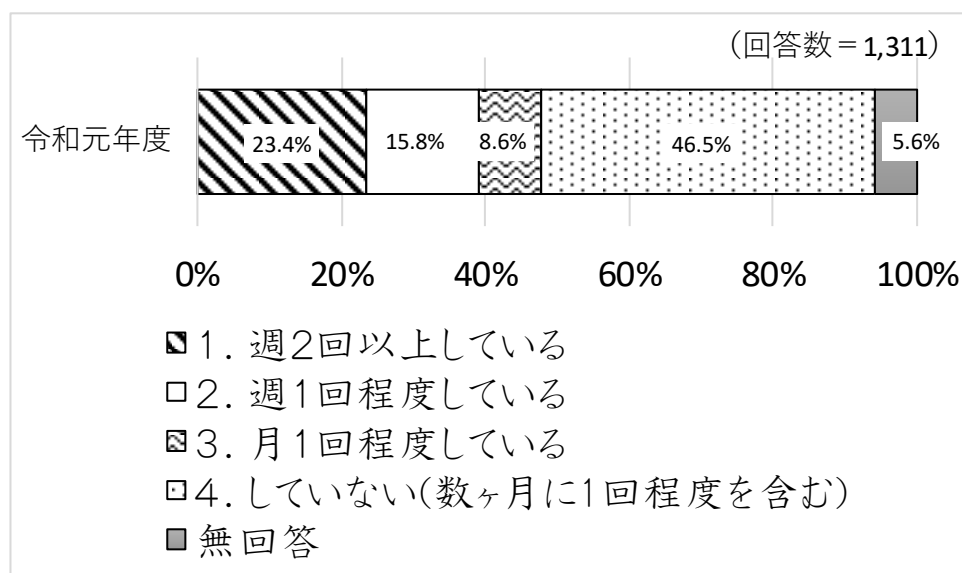
- ・いものこ、サトイモ
- ・しいたけ、菌床しいたけ
- ・にんにく、八木にんにく
- ・ホワイトアスパラ
- ・人参、雪ノ下にんじん
- ・花卉（菊、シンビジウム等）
- ・山菜（わらび、こごみ、ミズ、たらの芽等）
- ・個人的な意見ですが、スイカの未成熟の実を漬物にして食べていて、それが美味しいです。雄物川地区ではすいか作りが盛んな為、捨ててしまう間引きした実の有効活用&(名物まではいかなくても)土産候補にどうでしょうか。
- ・枝豆
- ・ネギ
- ・オクラ
- ・ナス
- ・そば
- ・ホップ
- ・きのこ類
- ・アスパラ菜
- ・ほうれん草
- ・キクラゲ
- ・とうもろこし
- ・キャベツ
- ・さくらんぼ
- ・メロン
- ・桃
- ・いちご
- ・梨
- ・柿

問5-2	1. アスパラガス	2. きゅうり	3. すいか	4. トマト	5. りんご	6. ぶどう	7. お米	8. その他	総計
性別	男性 122人 7.4%	72人 4.4%	315人 19.2%	61人 3.7%	388人 23.6%	226人 13.8%	377人 23.0%	80人 4.9%	1,641人
	女性 232人 9.7%	152人 6.3%	402人 16.7%	134人 5.6%	531人 22.1%	357人 14.9%	485人 20.2%	111人 4.6%	2,404人
	無回答 11人 11.8%	6人 6.5%	13人 14.0%	5人 5.4%	20人 21.5%	14人 15.1%	19人 20.4%	5人 5.4%	93人
	総計 365人 8.8%	230人 5.6%	730人 17.6%	200人 4.8%	939人 22.7%	597人 14.4%	881人 21.3%	196人 4.7%	4,138人
年齢	10歳代 3人 7.3%	2人 4.9%	6人 14.6%	3人 7.3%	10人 24.4%	6人 14.6%	10人 24.4%	1人 2.4%	41人
	20歳代 15人 7.3%	4人 2.0%	38人 18.5%	9人 4.4%	54人 26.3%	31人 15.1%	43人 21.0%	11人 5.4%	205人
	30歳代 31人 8.2%	12人 3.2%	71人 18.9%	11人 2.9%	96人 25.5%	51人 13.6%	82人 21.8%	22人 5.9%	376人
	40歳代 66人 9.4%	26人 3.7%	135人 19.2%	37人 5.3%	155人 22.0%	108人 15.4%	135人 19.2%	41人 5.8%	703人
	50歳代 57人 7.6%	37人 4.9%	129人 17.2%	38人 5.1%	173人 23.1%	114人 15.2%	159人 21.2%	42人 5.6%	749人
	60歳代 121人 9.1%	90人 6.7%	236人 17.7%	62人 4.6%	291人 21.8%	190人 14.2%	293人 21.9%	54人 4.0%	1,337人
	70歳以上 65人 9.7%	55人 8.2%	106人 15.8%	38人 5.6%	149人 22.1%	88人 13.1%	149人 22.1%	23人 3.4%	673人
	無回答 7人 13.0%	4人 7.4%	9人 16.7%	2人 3.7%	11人 20.4%	9人 16.7%	10人 18.5%	2人 3.7%	54人
	総計 365人 8.8%	230人 5.6%	730人 17.6%	200人 4.8%	939人 22.7%	597人 14.4%	881人 21.3%	196人 4.7%	4,138人
地域	横手 151人 9.7%	68人 4.4%	258人 16.7%	65人 4.2%	360人 23.2%	269人 17.4%	308人 19.9%	70人 4.5%	1,549人
	増田 24人 7.2%	16人 4.8%	49人 14.8%	24人 7.2%	92人 27.7%	40人 12.0%	68人 20.5%	19人 5.7%	332人
	平鹿 38人 6.6%	33人 5.8%	103人 18.0%	19人 3.3%	145人 25.3%	63人 11.0%	141人 24.7%	30人 5.2%	572人
	雄物川 30人 7.1%	24人 5.7%	113人 26.9%	23人 5.5%	77人 18.3%	44人 10.5%	94人 22.4%	15人 3.6%	420人
	大森 26人 9.0%	14人 4.8%	56人 19.4%	12人 4.2%	63人 21.8%	35人 12.1%	67人 23.2%	16人 5.5%	289人
	十文字 47人 10.0%	36人 7.6%	70人 14.8%	21人 4.4%	109人 23.1%	69人 14.6%	98人 20.8%	22人 4.7%	472人
	山内 13人 7.9%	13人 7.9%	21人 12.8%	12人 7.3%	33人 20.1%	32人 19.5%	34人 20.7%	6人 3.7%	164人
	大雄 24人 9.5%	21人 8.3%	46人 18.2%	19人 7.5%	43人 17.0%	31人 12.3%	55人 21.7%	14人 5.5%	253人
	無回答 12人 13.8%	5人 5.7%	14人 16.1%	5人 5.7%	17人 19.5%	14人 16.1%	16人 18.4%	4人 4.6%	87人
	総計 365人 8.8%	230人 5.6%	730人 17.6%	200人 4.8%	939人 22.7%	597人 14.4%	881人 21.3%	196人 4.7%	4,138人

3 スポーツ振興について

問6 普段の生活においてどのくらいの頻度で運動やスポーツ活動をしていますか。
 (ジョギングや散歩、体操などの運動を含みます。) (〇は1つ)

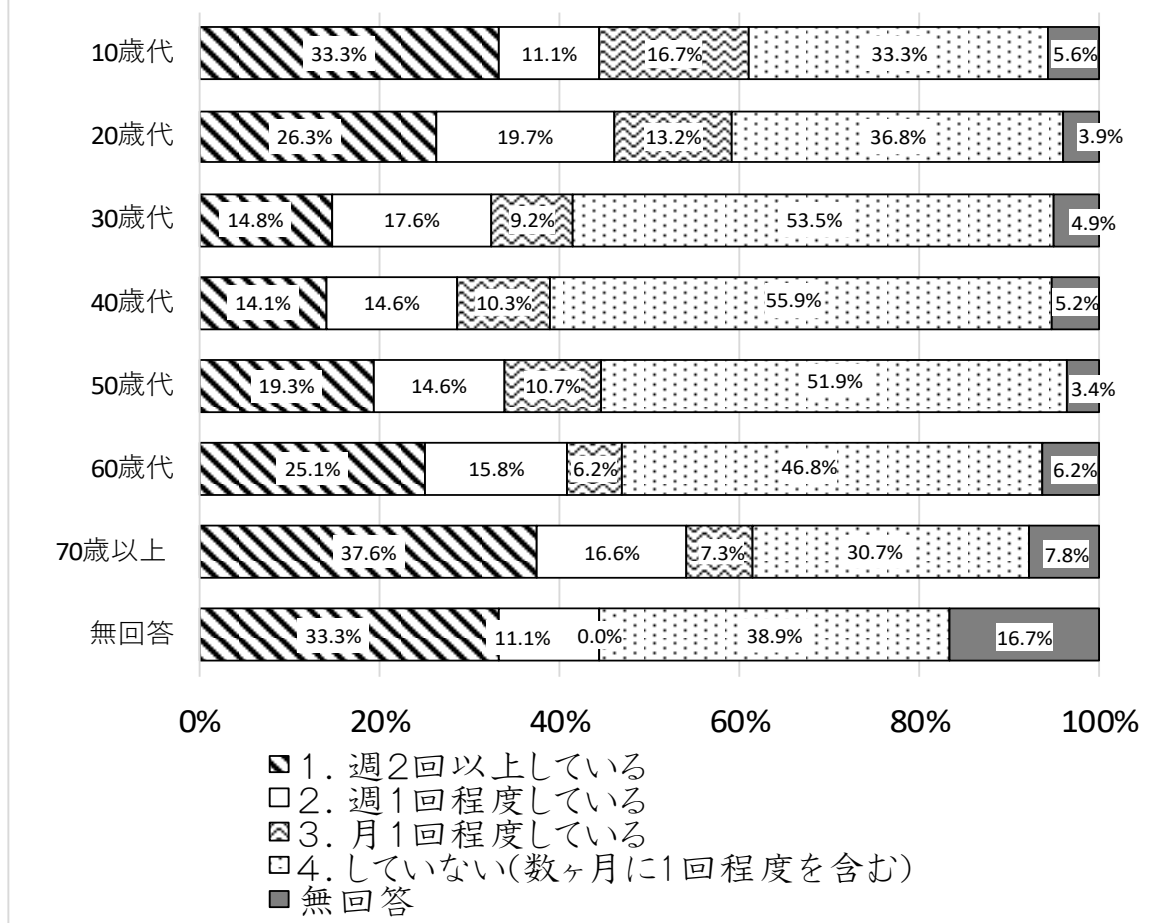
- 月1回以上の運動をしている者の割合は全体の半数に満たない。
- 若者や高齢者よりも中間的な年齢層のほうが運動する時間を確保できていない。



横手市まちづくりアンケート

【年代別の回答の割合】

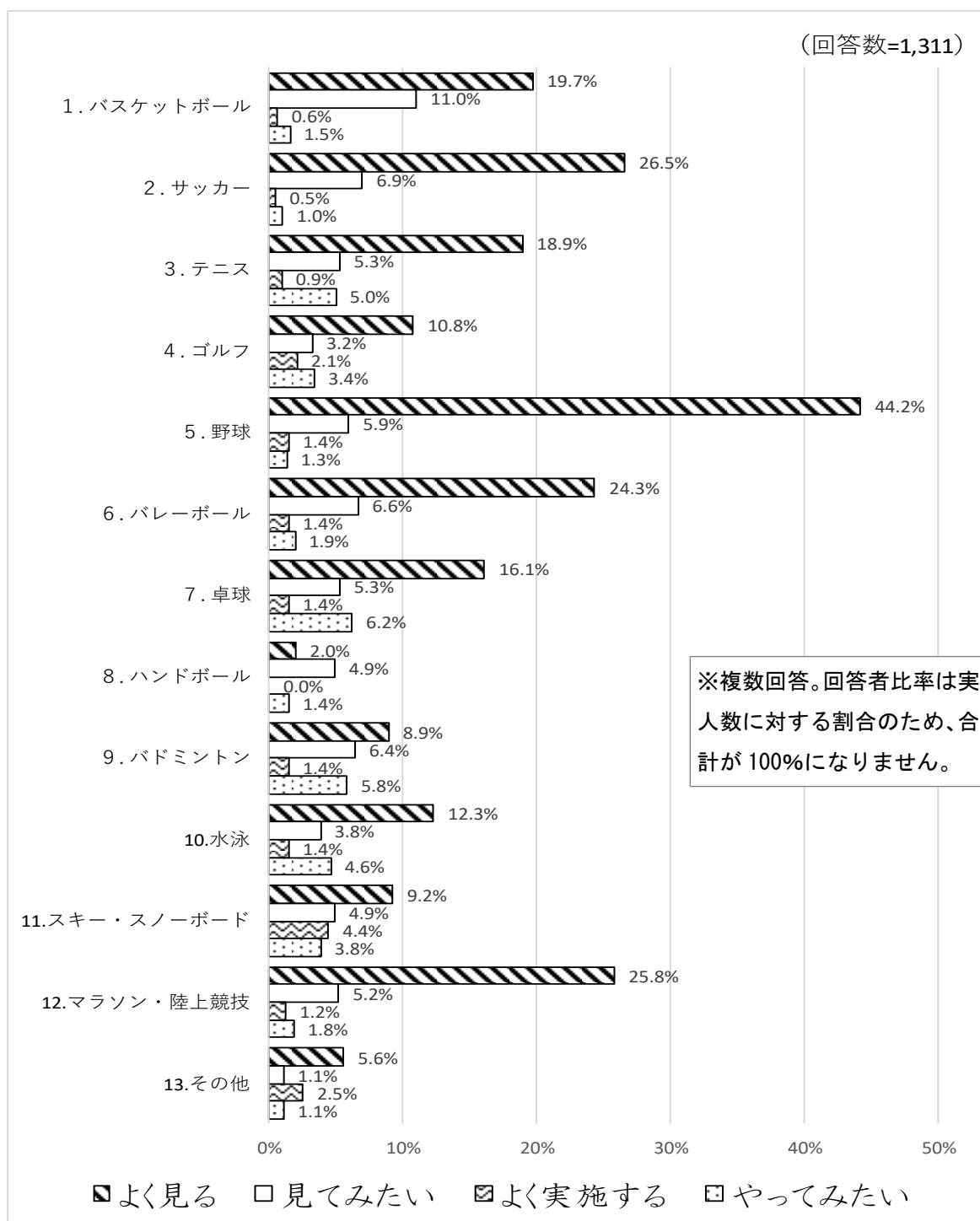
(回答数 = 1,311)



問6		1. 週2回以上している	2. 週1回程度している	3. 月1回程度している	4. していない(数ヶ月に1回程度を含む)	無回答		総計
性別	男性	142人 23.9%	102人 17.2%	58人 9.8%	265人 44.6%	27人	4.5%	594人
	女性	157人 22.8%	102人 14.8%	55人 8.0%	330人 48.0%	44人	6.4%	688人
	無回答	8人 27.6%	3人 10.3%	0人 0.0%	15人 51.7%	3人	10.3%	29人
	総計	307人 23.4%	207人 15.8%	113人 8.6%	610人 46.5%	74人	5.6%	1,311人
年齢	10歳代	6人 33.3%	2人 11.1%	3人 16.7%	6人 33.3%	1人	5.6%	18人
	20歳代	20人 26.3%	15人 19.7%	10人 13.2%	28人 36.8%	3人	3.9%	76人
	30歳代	21人 14.8%	25人 17.6%	13人 9.2%	76人 53.5%	7人	4.9%	142人
	40歳代	30人 14.1%	31人 14.6%	22人 10.3%	119人 55.9%	11人	5.2%	213人
	50歳代	45人 19.3%	34人 14.6%	25人 10.7%	121人 51.9%	8人	3.4%	233人
	60歳代	102人 25.1%	64人 15.8%	25人 6.2%	190人 46.8%	25人	6.2%	406人
	70歳以上	77人 37.6%	34人 16.6%	15人 7.3%	63人 30.7%	16人	7.8%	205人
	無回答	6人 33.3%	2人 11.1%	0人 0.0%	7人 38.9%	3人	16.7%	18人
総計	307人 23.4%	207人 15.8%	113人 8.6%	610人 46.5%	74人	5.6%	1,311人	
地域	横手	125人 25.3%	93人 18.8%	30人 6.1%	229人 46.3%	18人	3.6%	495人
	増田	21人 20.4%	16人 15.5%	10人 9.7%	49人 47.6%	7人	6.8%	103人
	平鹿	37人 20.8%	30人 16.9%	20人 11.2%	82人 46.1%	9人	5.1%	178人
	雄物川	26人 19.8%	21人 16.0%	10人 7.6%	65人 49.6%	9人	6.9%	131人
	大森	19人 21.1%	13人 14.4%	8人 8.9%	43人 47.8%	7人	7.8%	90人
	十字	37人 22.7%	16人 9.8%	19人 11.7%	80人 49.1%	11人	6.7%	163人
	山内	9人 20.0%	6人 13.3%	6人 13.3%	20人 44.4%	4人	8.9%	45人
	大雄	24人 30.0%	7人 8.8%	10人 12.5%	33人 41.3%	6人	7.5%	80人
	無回答	9人 34.6%	5人 19.2%	0人 0.0%	9人 34.6%	3人	11.5%	26人
総計	307人 23.4%	207人 15.8%	113人 8.6%	610人 46.5%	74人	5.6%	1,311人	

問7 普段よく見るスポーツ（テレビ、観戦）やよく実施するスポーツ、興味のあるスポーツについて選んでください。（〇はそれぞれいくつでも）

- 「よく見る」の上位は、1位「野球」、2位「サッカー」、3位「マラソン・陸上競技」である。
- 「見てみたい」「やってみたい」の双方の比率が高いのは、「バドミントン」（4位と2位）や「卓球」（5位と1位）である。
- 「よく実施する」で最も比率が高かったのは「スキー・スノーボード」である。



横手市まちづくりアンケート

問7	よく見る		見てみたい		よく実施する		やってみたい	
	回答数	回答者比率	回答数	回答者比率	回答数	回答者比率	回答数	回答者比率
1. バスケットボール	258人	19.7%	144人	11.0%	8人	0.6%	20人	1.5%
2. サッカー	348人	26.5%	91人	6.9%	6人	0.5%	13人	1.0%
3. テニス	248人	18.9%	69人	5.3%	12人	0.9%	65人	5.0%
4. ゴルフ	141人	10.8%	42人	3.2%	27人	2.1%	44人	3.4%
5. 野球	579人	44.2%	78人	5.9%	19人	1.4%	17人	1.3%
6. バレーボール	319人	24.3%	87人	6.6%	19人	1.4%	25人	1.9%
7. 卓球	211人	16.1%	69人	5.3%	19人	1.4%	81人	6.2%
8. ハンドボール	26人	2.0%	64人	4.9%	0人	0.0%	19人	1.4%
9. バドミントン	117人	8.9%	84人	6.4%	19人	1.4%	76人	5.8%
10. 水泳	161人	12.3%	50人	3.8%	19人	1.4%	60人	4.6%
11. スキー・スノーボード	121人	9.2%	64人	4.9%	58人	4.4%	50人	3.8%
12. マラソン・陸上競技	338人	25.8%	68人	5.2%	16人	1.2%	24人	1.8%
13. その他	73人	5.6%	14人	1.1%	33人	2.5%	14人	1.1%
合計	2,940人		924人		255人		508人	
回答者実人数	1,311人		1,311人		1,311人		1,311人	

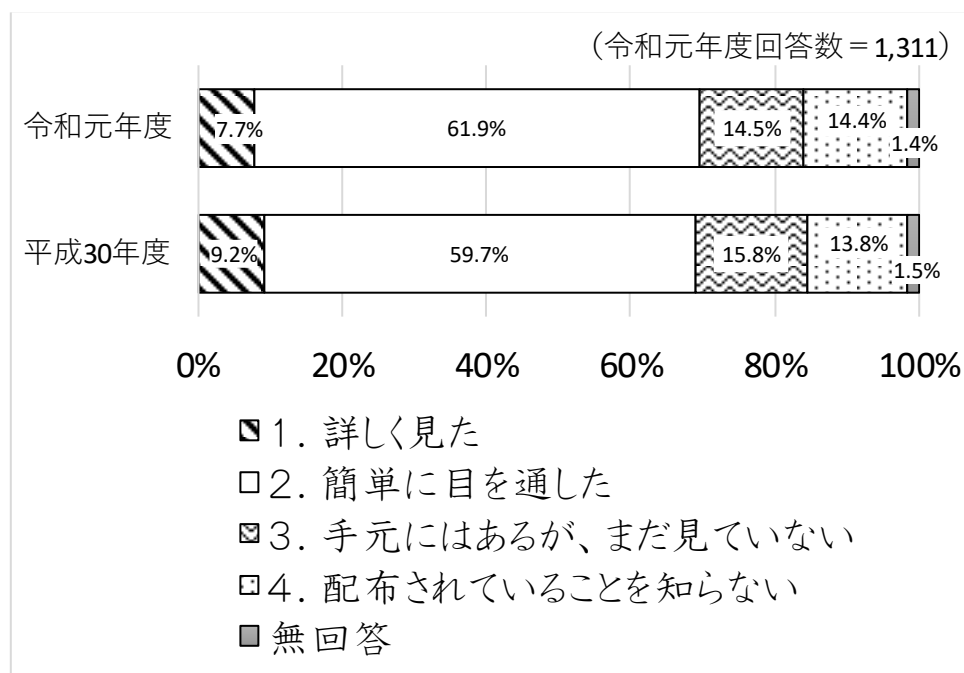
【「13. その他」で記載された主な回答（順不同）】

<p><u>A. よく見る</u></p> <p>・相撲 ・プロレス ・ボクシング ・グラウンドゴルフ ・パークゴルフ ・体操 ・カーリング ・スケート ・フィギュアスケート ・柔道 ・剣道 ・ボウリング ・スケートボード ・登山、トレッキング ・ボルダリング ・アメリカンフットボール ・ラグビー ・モータースポーツ ・自転車、BMX</p> <p><u>B. 見てみたい</u></p> <p>・相撲 ・登山 ・自転車競技 ・ラグビー ・ソフトボール ・スケート ・空手 ・剣道 ・身障者でもできるスポーツ</p> <p><u>C. よく実施する</u></p> <p>・ウォーキング ・登山、トレッキング ・自転車、サイクリング ・ドッジボール ・キックボクシング ・ビニールバレー ・スケートボード ・グラウンドゴルフ ・パークゴルフ ・ゲートボール ・ヨガ ・フィットネスプログラム、エアロビクス</p> <p><u>D. やってみたい</u></p> <p>・カーリング ・ラート ・ソフトボール ・ヨット ・モータースポーツ ・自転車 ・ヨガ ・グラウンドゴルフ ・スケート ・空手 ・剣道</p>
--

4 災害時の避難について

問8 横手市では平成30年（2018年）3月に「防災マップ」を改訂しました。市報とあわせて全世帯に配布しましたが、その活用状況についておたずねします。
（〇は1つ）

- 前年度と比較してほとんど数値に変わりはない。
- 「4. 配布されていることを知らない」との回答が14.4%と未だ高い割合を占める。

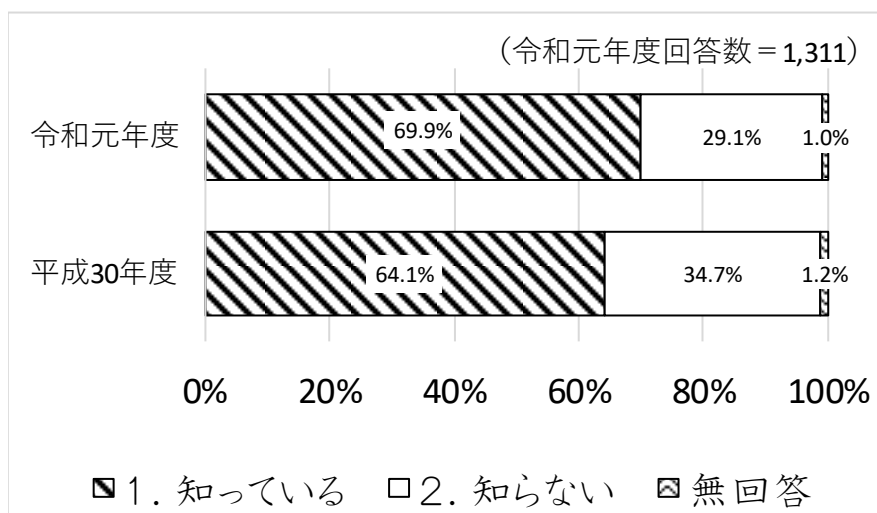


横手市まちづくりアンケート

問8		1. 詳しく見た		2. 簡単に目を通した		3. 手元にはあるが、まだ見ていない		4. 配布されていることを知らない		無回答		総計
性別	男性	47人	7.9%	364人	61.3%	79人	13.3%	98人	16.5%	6人	1.0%	594人
	女性	51人	7.4%	436人	63.4%	104人	15.1%	86人	12.5%	11人	1.6%	688人
	無回答	3人	10.3%	12人	41.4%	7人	24.1%	5人	17.2%	2人	6.9%	29人
	総計	101人	7.7%	812人	61.9%	190人	14.5%	189人	14.4%	19人	1.4%	1,311人
年齢	10歳代	0人	0.0%	2人	11.1%	4人	22.2%	12人	66.7%	0人	0.0%	18人
	20歳代	2人	2.6%	35人	46.1%	15人	19.7%	22人	28.9%	2人	2.6%	76人
	30歳代	5人	3.5%	74人	52.1%	30人	21.1%	33人	23.2%	0人	0.0%	142人
	40歳代	14人	6.6%	125人	58.7%	31人	14.6%	41人	19.2%	2人	0.9%	213人
	50歳代	14人	6.0%	149人	63.9%	39人	16.7%	30人	12.9%	1人	0.4%	233人
	60歳代	36人	8.9%	280人	69.0%	49人	12.1%	35人	8.6%	6人	1.5%	406人
	70歳以上	29人	14.1%	141人	68.8%	17人	8.3%	12人	5.9%	6人	2.9%	205人
	無回答	1人	5.6%	6人	33.3%	5人	27.8%	4人	22.2%	2人	11.1%	18人
総計	101人	7.7%	812人	61.9%	190人	14.5%	189人	14.4%	19人	1.4%	1,311人	
地域	横手	43人	8.7%	310人	62.6%	65人	13.1%	74人	14.9%	3人	0.6%	495人
	増田	12人	11.7%	58人	56.3%	16人	15.5%	15人	14.6%	2人	1.9%	103人
	平鹿	14人	7.9%	108人	60.7%	31人	17.4%	23人	12.9%	2人	1.1%	178人
	雄物川	4人	3.1%	84人	64.1%	15人	11.5%	27人	20.6%	1人	0.8%	131人
	大森	7人	7.8%	56人	62.2%	12人	13.3%	13人	14.4%	2人	2.2%	90人
	十文字	8人	4.9%	102人	62.6%	32人	19.6%	17人	10.4%	4人	2.5%	163人
	山内	6人	13.3%	27人	60.0%	5人	11.1%	5人	11.1%	2人	4.4%	45人
	大雄	6人	7.5%	54人	67.5%	9人	11.3%	10人	12.5%	1人	1.3%	80人
	無回答	1人	3.8%	13人	50.0%	5人	19.2%	5人	19.2%	2人	7.7%	26人
総計	101人	7.7%	812人	61.9%	190人	14.5%	189人	14.4%	19人	1.4%	1,311人	

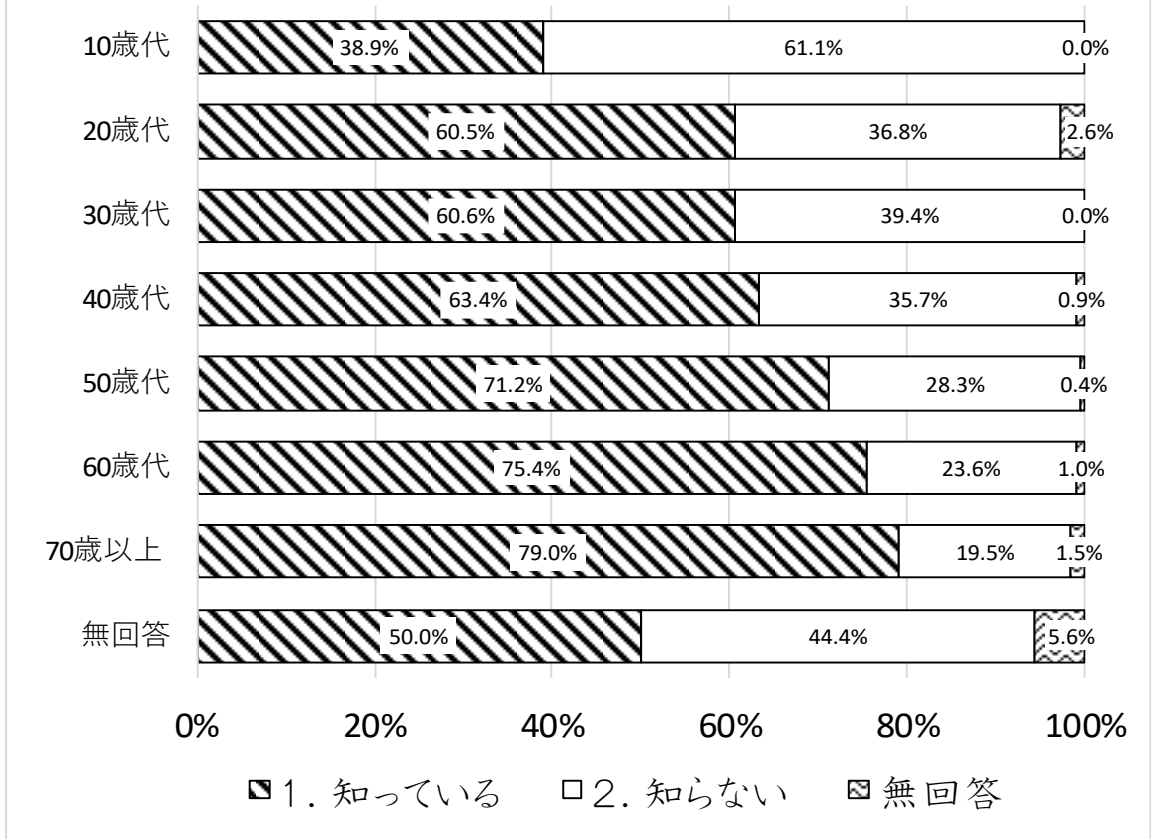
問9 災害時にどこに避難すれば良いか知っていますか。(〇は1つ)

- 前年度よりも「知っている」の割合が5.8%増加し、約7割となっている。
- 「知っている」の割合の年代別の差が前年度に比べ改善されてきている。
- 同じく「知っている」の割合の地域別の差についても、前年度より改善されてきている。



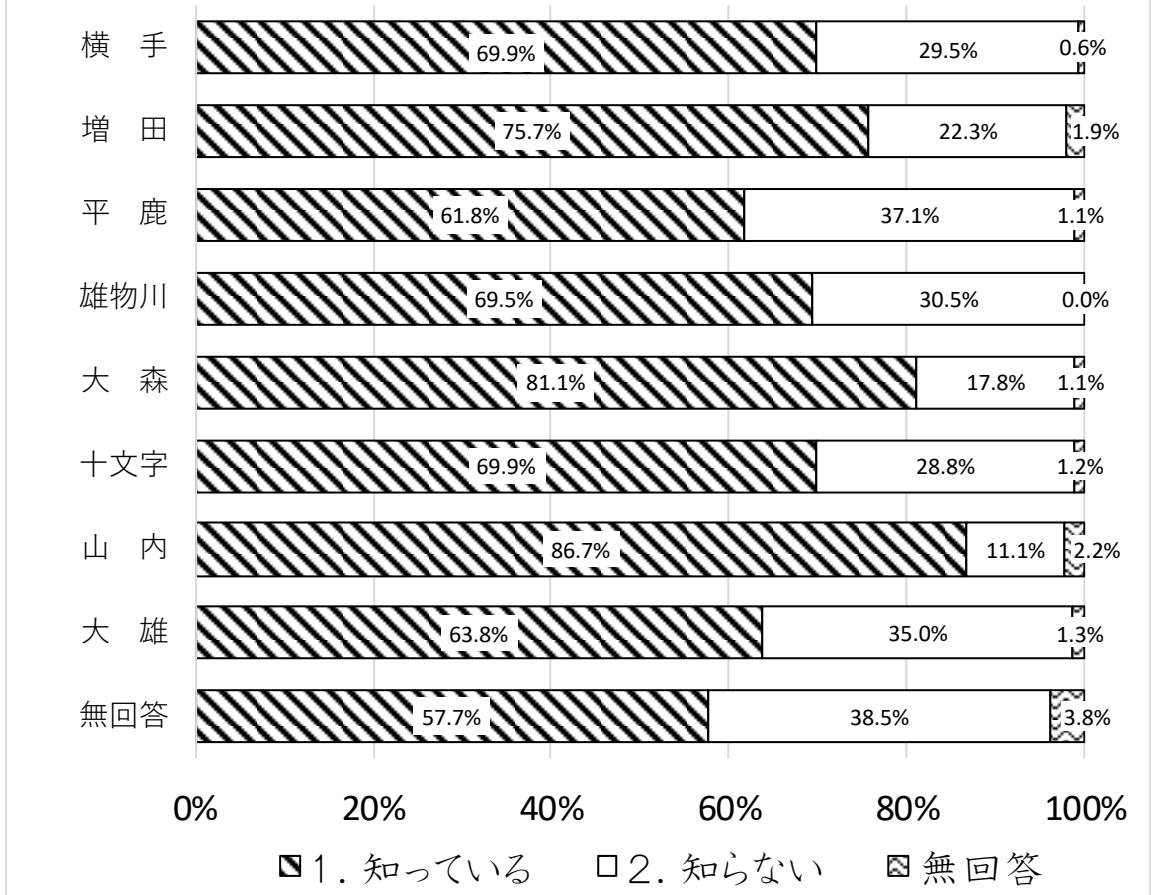
【年代別の回答の割合】

(回答数 = 1,311)



【地域別の回答の割合】

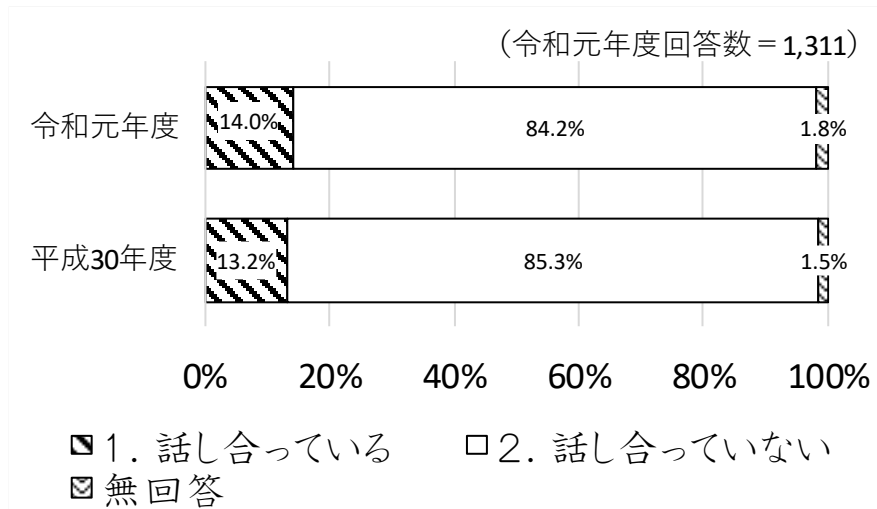
(回答数 = 1,311)



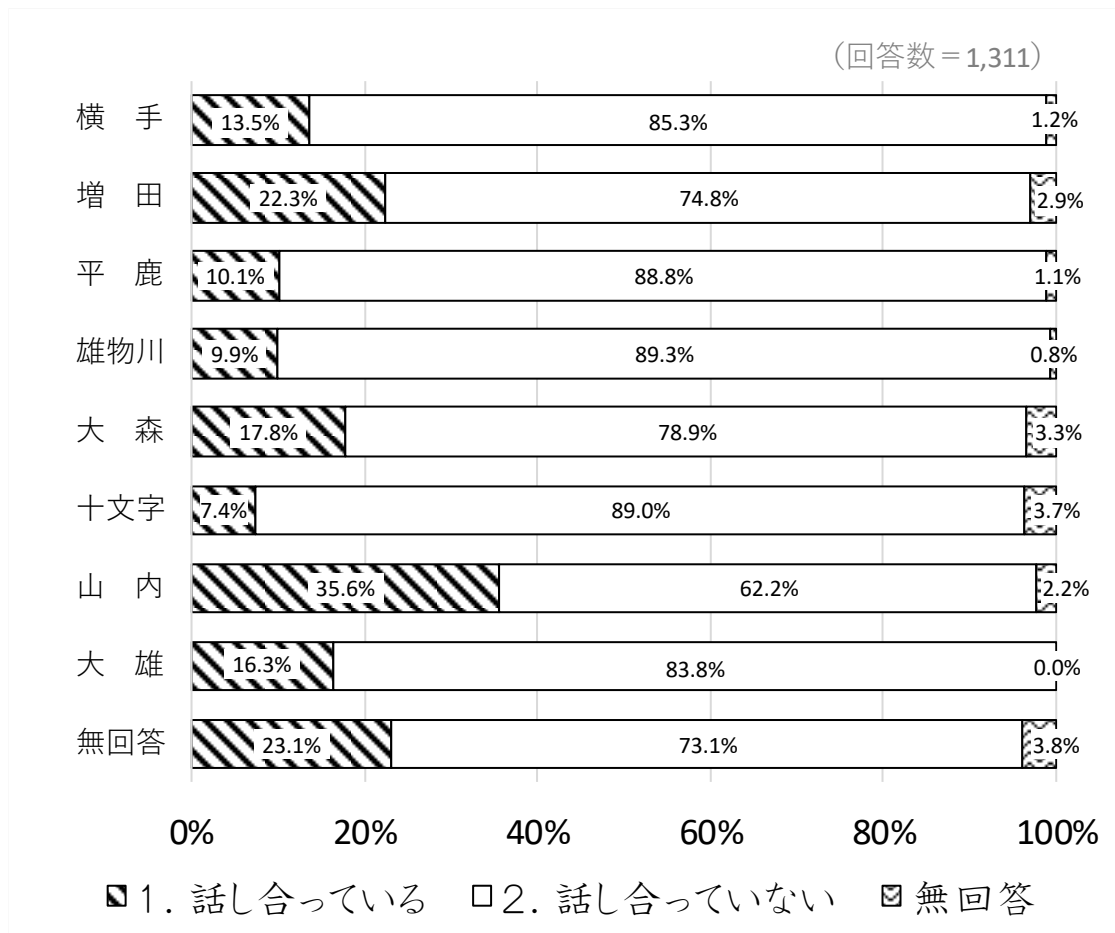
問9		1. 知っている		2. 知らない		無回答		総計
性別	男性	404人	68.0%	184人	31.0%	6人	1.0%	594人
	女性	498人	72.4%	184人	26.7%	6人	0.9%	688人
	無回答	15人	51.7%	13人	44.8%	1人	3.4%	29人
	総計	917人	69.9%	381人	29.1%	13人	1.0%	1,311人
年齢	10歳代	7人	38.9%	11人	61.1%	0人	0.0%	18人
	20歳代	46人	60.5%	28人	36.8%	2人	2.6%	76人
	30歳代	86人	60.6%	56人	39.4%	0人	0.0%	142人
	40歳代	135人	63.4%	76人	35.7%	2人	0.9%	213人
	50歳代	166人	71.2%	66人	28.3%	1人	0.4%	233人
	60歳代	306人	75.4%	96人	23.6%	4人	1.0%	406人
	70歳以上	162人	79.0%	40人	19.5%	3人	1.5%	205人
	無回答	9人	50.0%	8人	44.4%	1人	5.6%	18人
	総計	917人	69.9%	381人	29.1%	13人	1.0%	1,311人
地域	横手	346人	69.9%	146人	29.5%	3人	0.6%	495人
	増田	78人	75.7%	23人	22.3%	2人	1.9%	103人
	平鹿	110人	61.8%	66人	37.1%	2人	1.1%	178人
	雄物川	91人	69.5%	40人	30.5%	0人	0.0%	131人
	大森	73人	81.1%	16人	17.8%	1人	1.1%	90人
	十文字	114人	69.9%	47人	28.8%	2人	1.2%	163人
	山内	39人	86.7%	5人	11.1%	1人	2.2%	45人
	大雄	51人	63.8%	28人	35.0%	1人	1.3%	80人
	無回答	15人	57.7%	10人	38.5%	1人	3.8%	26人
	総計	917人	69.9%	381人	29.1%	13人	1.0%	1,311人

問10 避難する場所や方法について、ご近所や町内会等で話し合っていますか。
(〇は1つ)

- 前年度に比べると「話し合っている」の割合が微増。
- 地域別では、山内地域が「話し合っている」の割合が高い。最も低い十文字地域との差が28.2%ある。



【地域別の回答の割合】

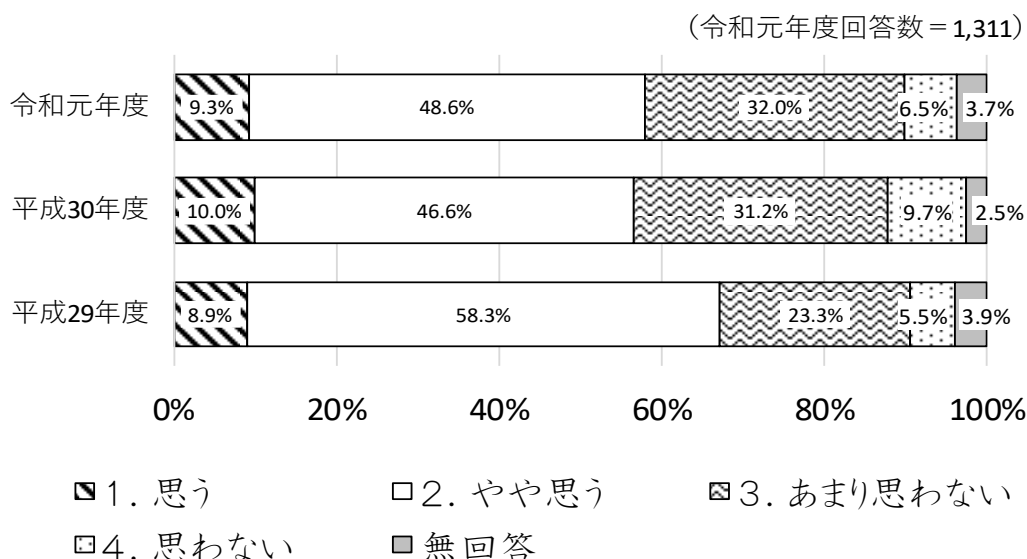


横手市まちづくりアンケート

問10		1. 話し合っている		2. 話し合っていない		無回答		総計
性別	男性	73人	12.3%	513人	86.4%	8人	1.3%	594人
	女性	109人	15.8%	565人	82.1%	14人	2.0%	688人
	無回答	2人	6.9%	26人	89.7%	1人	3.4%	29人
	総計	184人	14.0%	1,104人	84.2%	23人	1.8%	1,311人
年齢	10歳代	1人	5.6%	17人	94.4%	0人	0.0%	18人
	20歳代	10人	13.2%	63人	82.9%	3人	3.9%	76人
	30歳代	16人	11.3%	123人	86.6%	3人	2.1%	142人
	40歳代	27人	12.7%	183人	85.9%	3人	1.4%	213人
	50歳代	23人	9.9%	209人	89.7%	1人	0.4%	233人
	60歳代	61人	15.0%	340人	83.7%	5人	1.2%	406人
	70歳以上	44人	21.5%	154人	75.1%	7人	3.4%	205人
	無回答	2人	11.1%	15人	83.3%	1人	5.6%	18人
	総計	184人	14.0%	1,104人	84.2%	23人	1.8%	1,311人
地域	横手	67人	13.5%	422人	85.3%	6人	1.2%	495人
	増田	23人	22.3%	77人	74.8%	3人	2.9%	103人
	平鹿	18人	10.1%	158人	88.8%	2人	1.1%	178人
	雄物川	13人	9.9%	117人	89.3%	1人	0.8%	131人
	大森	16人	17.8%	71人	78.9%	3人	3.3%	90人
	十文字	12人	7.4%	145人	89.0%	6人	3.7%	163人
	山内	16人	35.6%	28人	62.2%	1人	2.2%	45人
	大雄	13人	16.3%	67人	83.8%	0人	0.0%	80人
	無回答	6人	23.1%	19人	73.1%	1人	3.8%	26人
	総計	184人	14.0%	1,104人	84.2%	23人	1.8%	1,311人

5 男女共同参画について

問11 ご自身の実感として、横手市が性別に関係なくみんなが活躍できる「男女共同参画社会」になってきていると思いますか。(〇は1つ)

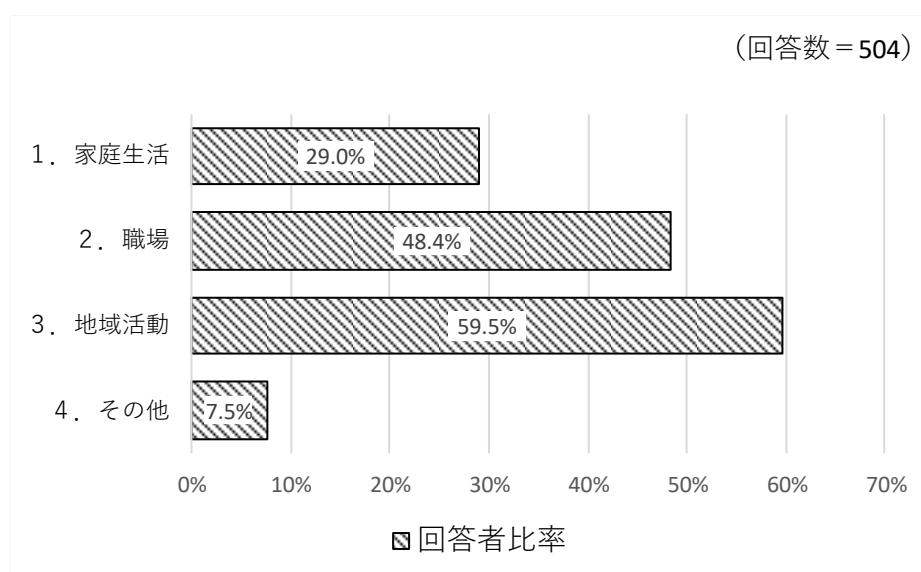


問11	1. 思う	2. やや思う	3. あまり思わない	4. 思わない	無回答	総計	
性別	男性	65人 10.9%	297人 50.0%	169人 28.5%	44人 7.4%	19人 3.2%	594人
	女性	54人 7.8%	327人 47.5%	242人 35.2%	38人 5.5%	27人 3.9%	688人
	無回答	3人 10.3%	13人 44.8%	8人 27.6%	3人 10.3%	2人 6.9%	29人
	総計	122人 9.3%	637人 48.6%	419人 32.0%	85人 6.5%	48人 3.7%	1,311人
年齢	10歳代	4人 22.2%	8人 44.4%	3人 16.7%	2人 11.1%	1人 5.6%	18人
	20歳代	6人 7.9%	42人 55.3%	23人 30.3%	5人 6.6%	0人 0.0%	76人
	30歳代	11人 7.7%	59人 41.5%	56人 39.4%	12人 8.5%	4人 2.8%	142人
	40歳代	16人 7.5%	115人 54.0%	58人 27.2%	22人 10.3%	2人 0.9%	213人
	50歳代	23人 9.9%	105人 45.1%	83人 35.6%	19人 8.2%	3人 1.3%	233人
	60歳代	37人 9.1%	195人 48.0%	134人 33.0%	21人 5.2%	19人 4.7%	406人
	70歳以上	25人 12.2%	102人 49.8%	58人 28.3%	3人 1.5%	17人 8.3%	205人
	無回答	0人 0.0%	11人 61.1%	4人 22.2%	1人 5.6%	2人 11.1%	18人
総計	122人 9.3%	637人 48.6%	419人 32.0%	85人 6.5%	48人 3.7%	1,311人	
地域	横手	37人 7.5%	247人 49.9%	160人 32.3%	35人 7.1%	16人 3.2%	495人
	増田	11人 10.7%	49人 47.6%	35人 34.0%	5人 4.9%	3人 2.9%	103人
	平鹿	16人 9.0%	84人 47.2%	63人 35.4%	10人 5.6%	5人 2.8%	178人
	雄物川	14人 10.7%	56人 42.7%	43人 32.8%	10人 7.6%	8人 6.1%	131人
	大森	10人 11.1%	43人 47.8%	26人 28.9%	6人 6.7%	5人 5.6%	90人
	十文字	17人 10.4%	84人 51.5%	45人 27.6%	10人 6.1%	7人 4.3%	163人
	山内	6人 13.3%	19人 42.2%	18人 40.0%	0人 0.0%	2人 4.4%	45人
	大雄	10人 12.5%	40人 50.0%	23人 28.8%	7人 8.8%	0人 0.0%	80人
	無回答	1人 3.8%	15人 57.7%	6人 23.1%	2人 7.7%	2人 7.7%	26人
	総計	122人 9.3%	637人 48.6%	419人 32.0%	85人 6.5%	48人 3.7%	1,311人

問11-2 どのような場面でそう感じますか。(〇はいくつでも)

【問11で「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答した504人を対象に集計しています。】

- 前年度同様、「地域活動」とする回答が最も多かった。
- 複数回答を可としたところ、前年度よりも「家庭」「職場」を選択する人が増えた。



	回答数	回答者比率
1. 家庭生活	146人	29.0%
2. 職場	244人	48.4%
3. 地域活動	300人	59.5%
4. その他	38人	7.5%
合計	728人	
回答者実人数	504人	

※複数回答。回答者比率は実人数に対する割合のため、合計すると100%を超えます。

横手市まちづくりアンケート

問11-2		1. 家庭生活		2. 職場		3. 地域活動		4. その他		総計
性別	男性	38人	12.8%	102人	34.2%	139人	46.6%	19人	6.4%	298人
	女性	104人	25.6%	132人	32.5%	151人	37.2%	19人	4.7%	406人
	無回答	4人	16.7%	10人	41.7%	10人	41.7%	0人	0.0%	24人
	総計	146人	20.1%	244人	33.5%	300人	41.2%	38人	5.2%	728人
年齢	10歳代	2人	33.3%	2人	33.3%	1人	16.7%	1人	16.7%	6人
	20歳代	4人	10.8%	17人	45.9%	13人	35.1%	3人	8.1%	37人
	30歳代	19人	18.8%	50人	49.5%	25人	24.8%	7人	6.9%	101人
	40歳代	23人	19.5%	50人	42.4%	38人	32.2%	7人	5.9%	118人
	50歳代	34人	22.8%	55人	36.9%	56人	37.6%	4人	2.7%	149人
	60歳代	45人	19.9%	55人	24.3%	116人	51.3%	10人	4.4%	226人
	70歳以上	17人	22.1%	9人	11.7%	45人	58.4%	6人	7.8%	77人
	無回答	2人	14.3%	6人	42.9%	6人	42.9%	0人	0.0%	14人
総計	146人	20.1%	244人	33.5%	300人	41.2%	38人	5.2%	728人	
地域	横手	56人	21.0%	94人	35.2%	103人	38.6%	14人	5.2%	267人
	増田	22人	31.4%	19人	27.1%	26人	37.1%	3人	4.3%	70人
	平鹿	13人	13.1%	33人	33.3%	47人	47.5%	6人	6.1%	99人
	雄物川	15人	18.8%	26人	32.5%	34人	42.5%	5人	6.3%	80人
	大森	7人	15.2%	13人	28.3%	24人	52.2%	2人	4.3%	46人
	十文字	14人	17.9%	29人	37.2%	31人	39.7%	4人	5.1%	78人
	山内	8人	30.8%	8人	30.8%	9人	34.6%	1人	3.8%	26人
	大雄	7人	15.9%	15人	34.1%	19人	43.2%	3人	6.8%	44人
	無回答	4人	22.2%	7人	38.9%	7人	38.9%	0人	0.0%	18人
	総計	146人	20.1%	244人	33.5%	300人	41.2%	38人	5.2%	728人

【「4. その他」で記載された主な回答（順不同）】

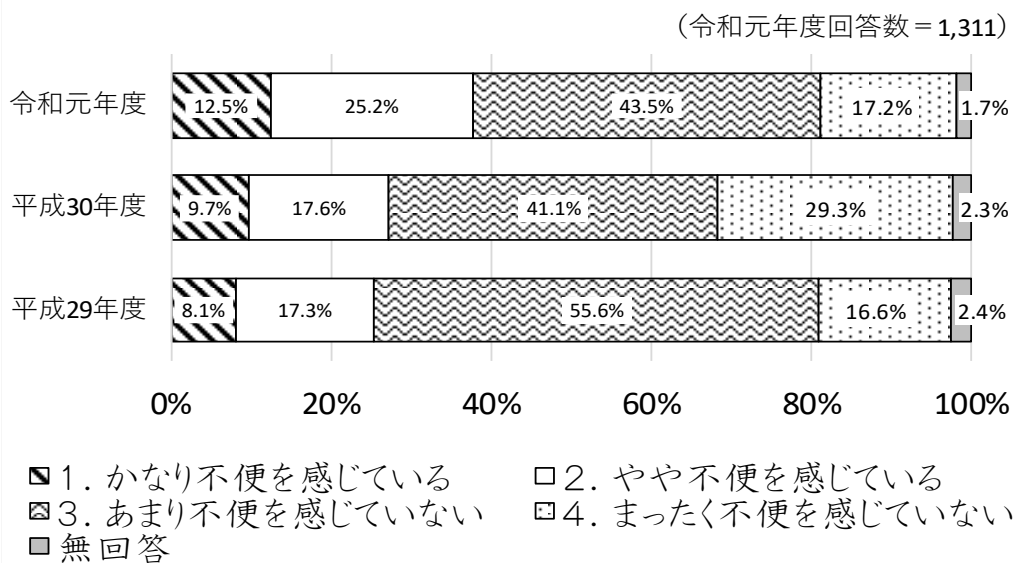
- ・子どもの書類など、夫の名前しか書かないところなど
- ・どうでも良い
- ・ほとんど全てでない
- ・十文字にきたら冷たい人ばかり。地元出身以外はゴミと思う所ですね。
- ・活動そのものを理解していない
- ・活動、動き、PR～etc 見えてこない！！
- ・横手市に限らず、男性の参加者や活動者が少ないと思います。
- ・女性の意識が低いと感じる。
- ・消防団、地域イベントの食事の用意
- ・必要性をあまり感じない。
- ・年配の方が、男！！女！！っていう古い考えを持っている
- ・基準がわからない
- ・そもそも横手市で働いていないのと、横手市地域での行事等での状況を知らないの
- ・消防団活動
- ・女性活躍を目にする事がない。
- ・役員、子供の送迎
- ・前職場、知り合いの職場
- ・市議会の議員の男女比
- ・考えたことがない
- ・昔から変化が無い
- ・特に意識していないので感じないのだと思う。

6 移動・公共交通について

問12 日常生活を送る上で、移動に不便を感じていますか。

(〇は1つ)

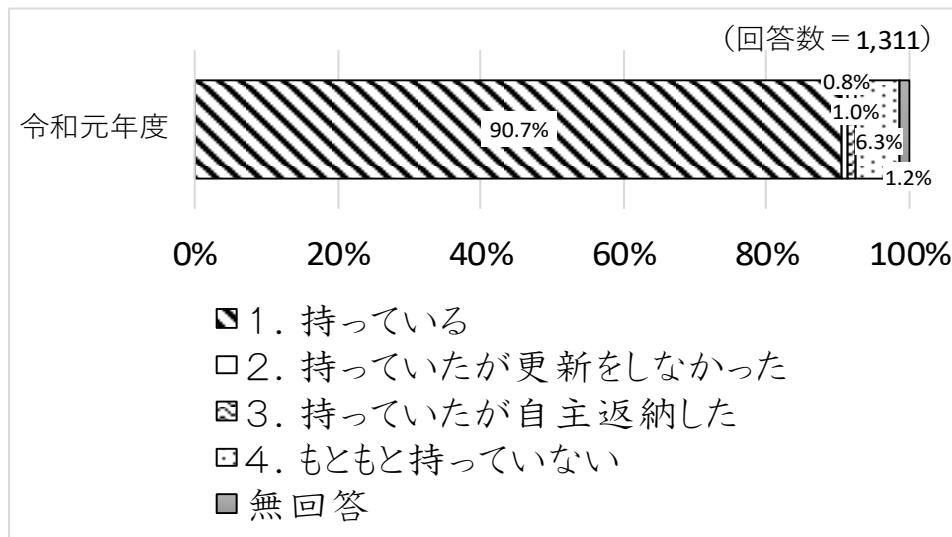
○ 「1. かなり不便を感じている」「2. やや不便を感じている」とする回答が年々増加傾向にある。



問12		1. かなり不便を感じている	2. やや不便を感じている	3. あまり不便を感じていない	4. まったく不便を感じていない	無回答		総計
性別	男性	75人 12.6%	140人 23.6%	265人 44.6%	104人 17.5%	10人	1.7%	594人
	女性	83人 12.1%	177人 25.7%	297人 43.2%	119人 17.3%	12人	1.7%	688人
	無回答	6人 20.7%	13人 44.8%	8人 27.6%	2人 6.9%	0人	0.0%	29人
	総計	164人 12.5%	330人 25.2%	570人 43.5%	225人 17.2%	22人	1.7%	1,311人
年齢	10歳代	4人 22.2%	6人 33.3%	6人 33.3%	2人 11.1%	0人	0.0%	18人
	20歳代	13人 17.1%	28人 36.8%	26人 34.2%	8人 10.5%	1人	1.3%	76人
	30歳代	12人 8.5%	38人 26.8%	68人 47.9%	23人 16.2%	1人	0.7%	142人
	40歳代	32人 15.0%	58人 27.2%	89人 41.8%	31人 14.6%	3人	1.4%	213人
	50歳代	33人 14.2%	57人 24.5%	105人 45.1%	35人 15.0%	3人	1.3%	233人
	60歳代	43人 10.6%	88人 21.7%	178人 43.8%	89人 21.9%	8人	2.0%	406人
	70歳以上	21人 10.2%	49人 23.9%	94人 45.9%	35人 17.1%	6人	2.9%	205人
	無回答	6人 33.3%	6人 33.3%	4人 22.2%	2人 11.1%	0人	0.0%	18人
総計	164人 12.5%	330人 25.2%	570人 43.5%	225人 17.2%	22人	1.7%	1,311人	
地域	横手	56人 11.3%	120人 24.2%	223人 45.1%	90人 18.2%	6人	1.2%	495人
	増田	15人 14.6%	28人 27.2%	41人 39.8%	17人 16.5%	2人	1.9%	103人
	平鹿	27人 15.2%	44人 24.7%	76人 42.7%	28人 15.7%	3人	1.7%	178人
	雄物川	23人 17.6%	23人 17.6%	53人 40.5%	29人 22.1%	3人	2.3%	131人
	大森	14人 15.6%	20人 22.2%	38人 42.2%	16人 17.8%	2人	2.2%	90人
	十文字	17人 10.4%	51人 31.3%	68人 41.7%	23人 14.1%	4人	2.5%	163人
	山内	1人 2.2%	12人 26.7%	25人 55.6%	6人 13.3%	1人	2.2%	45人
	大雄	4人 5.0%	23人 28.8%	38人 47.5%	14人 17.5%	1人	1.3%	80人
無回答	7人 26.9%	9人 34.6%	8人 30.8%	2人 7.7%	0人	0.0%	26人	
総計	164人 12.5%	330人 25.2%	570人 43.5%	225人 17.2%	22人	1.7%	1,311人	

問13 自動車の運転免許を持っていますか。(〇は1つ)

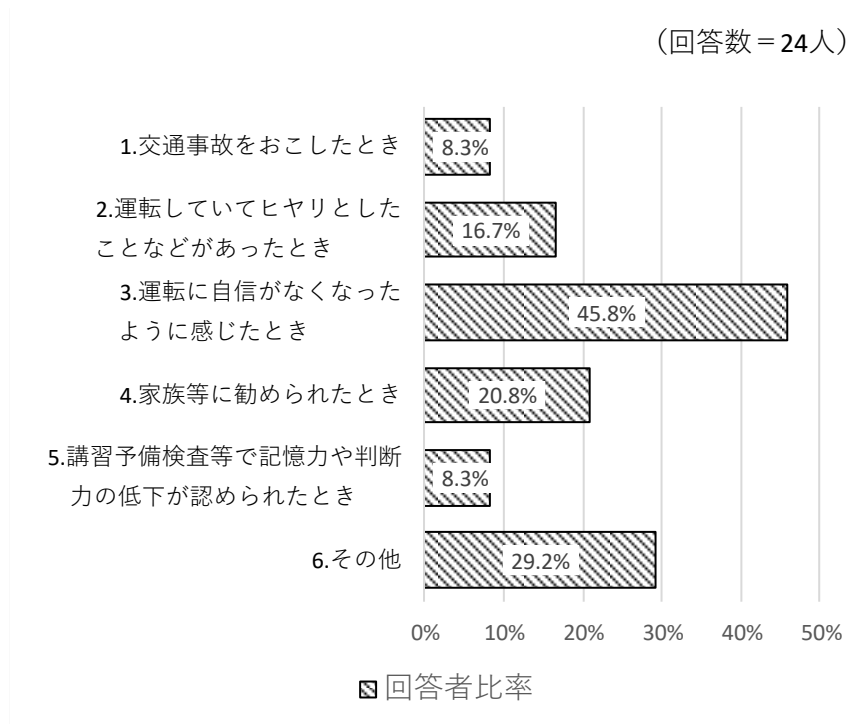
- 全体の9割が「1. 持っている」と回答。
- 70歳以上でも71.7%が「1. 持っている」と回答。



問13		1. 持っている		2. 持っていたが更新をしなかった		3. 持っていたが自主返納した		4. もともと持っていない		無回答		総計
性別	男性	567人	95.5%	5人	0.8%	3人	0.5%	11人	1.9%	8人	1.3%	594人
	女性	594人	86.3%	6人	0.9%	10人	1.5%	70人	10.2%	8人	1.2%	688人
	無回答	28人	96.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	3.4%	0人	0.0%	29人
	総計	1,189人	90.7%	11人	0.8%	13人	1.0%	82人	6.3%	16人	1.2%	1,311人
年齢	10歳代	12人	66.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	6人	33.3%	0人	0.0%	18人
	20歳代	68人	89.5%	0人	0.0%	0人	0.0%	8人	10.5%	0人	0.0%	76人
	30歳代	140人	98.6%	1人	0.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	0.7%	142人
	40歳代	208人	97.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	1.4%	2人	0.9%	213人
	50歳代	226人	97.0%	1人	0.4%	1人	0.4%	2人	0.9%	3人	1.3%	233人
	60歳代	371人	91.4%	2人	0.5%	3人	0.7%	24人	5.9%	6人	1.5%	406人
	70歳以上	147人	71.7%	7人	3.4%	9人	4.4%	38人	18.5%	4人	2.0%	205人
	無回答	17人	94.4%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	5.6%	0人	0.0%	18人
総計	1,189人	90.7%	11人	0.8%	13人	1.0%	82人	6.3%	16人	1.2%	1,311人	
地域	横手	442人	89.3%	3人	0.6%	7人	1.4%	40人	8.1%	3人	0.6%	495人
	増田	93人	90.3%	2人	1.9%	1人	1.0%	6人	5.8%	1人	1.0%	103人
	平鹿	166人	93.3%	3人	1.7%	3人	1.7%	3人	1.7%	3人	1.7%	178人
	雄物川	121人	92.4%	0人	0.0%	0人	0.0%	6人	4.6%	4人	3.1%	131人
	大森	82人	91.1%	0人	0.0%	2人	2.2%	5人	5.6%	1人	1.1%	90人
	十文字	145人	89.0%	2人	1.2%	0人	0.0%	13人	8.0%	3人	1.8%	163人
	山内	42人	93.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	4.4%	1人	2.2%	45人
	大雄	76人	95.0%	1人	1.3%	0人	0.0%	3人	3.8%	0人	0.0%	80人
	無回答	22人	84.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	15.4%	0人	0.0%	26人
総計	1,189人	90.7%	11人	0.8%	13人	1.0%	82人	6.3%	16人	1.2%	1,311人	

問13-2 「免許の更新をやめよう」または「自主返納しよう」と思ったのはどんなときですか。(〇はいくつでも)

【問13で「2. 持っていたが更新をしなかった」「3. 持っていたが自主返納した」と回答した24人を対象に集計しています。】



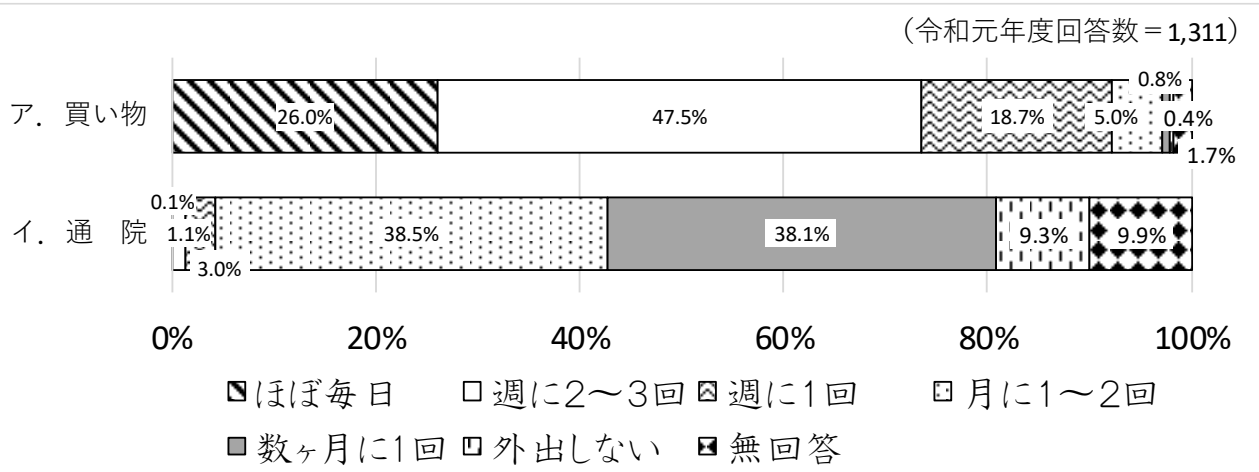
※複数回答。回答者比率は実人数に対する割合のため、合計すると100%を超えます。

【「6. その他」で記載された主な回答（順不同）】

- ・身体障害となり、運転できなくなったから
- ・日常あまり運転する必要がなかったの
- ・75歳になったら、前から思っていたから（自主返納しよう）
- ・白内障を患って自信がなくなったから
- ・卓上ドライバーだったから
- ・足腰が弱まり、安定感が無くなったから
- ・東京にいたので帰ってこれなかった
- ・身体障害者になった為

問14 買い物や通院にどのくらいの頻度で外出しますか。外出先までの距離や交通手段は問いません。(〇はそれぞれ1つ)

- 買い物で最も多いのは「週に2～3回」。
- 通院で最も多いのは「月に1～2回」。



【ア. 買い物】

問14-買い物		ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回	月に1～2回	数ヶ月に1回	外出しない	無回答	総計
性別	男性	131人 22.1%	259人 43.6%	142人 23.9%	38人 6.4%	6人 1.0%	5人 0.8%	13人 2.2%	594人
	女性	203人 29.5%	349人 50.7%	99人 14.4%	26人 3.8%	3人 0.4%	0人 0.0%	8人 1.2%	688人
	無回答	7人 24.1%	15人 51.7%	4人 13.8%	1人 3.4%	1人 3.4%	0人 0.0%	1人 3.4%	29人
	総計	341人 26.0%	623人 47.5%	245人 18.7%	65人 5.0%	10人 0.8%	5人 0.4%	22人 1.7%	1,311人
年齢	10歳代	4人 22.2%	8人 44.4%	5人 27.8%	0人 0.0%	1人 5.6%	0人 0.0%	0人 0.0%	18人
	20歳代	17人 22.4%	31人 40.8%	23人 30.3%	4人 5.3%	1人 1.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	76人
	30歳代	34人 23.9%	69人 48.6%	31人 21.8%	5人 3.5%	0人 0.0%	1人 0.7%	2人 1.4%	142人
	40歳代	67人 31.5%	103人 48.4%	32人 15.0%	7人 3.3%	0人 0.0%	1人 0.5%	3人 1.4%	213人
	50歳代	82人 35.2%	90人 38.6%	45人 19.3%	10人 4.3%	0人 0.0%	1人 0.4%	5人 2.1%	233人
	60歳代	92人 22.7%	220人 54.2%	61人 15.0%	19人 4.7%	4人 1.0%	2人 0.5%	8人 2.0%	406人
	70歳以上	41人 20.0%	92人 44.9%	46人 22.4%	20人 9.8%	3人 1.5%	0人 0.0%	3人 1.5%	205人
	無回答	4人 22.2%	10人 55.6%	2人 11.1%	0人 0.0%	1人 5.6%	0人 0.0%	1人 5.6%	18人
総計	341人 26.0%	623人 47.5%	245人 18.7%	65人 5.0%	10人 0.8%	5人 0.4%	22人 1.7%	1,311人	
地域	横手	144人 29.1%	214人 43.2%	100人 20.2%	27人 5.5%	3人 0.6%	1人 0.2%	6人 1.2%	495人
	増田	22人 21.4%	56人 54.4%	14人 13.6%	8人 7.8%	0人 0.0%	1人 1.0%	2人 1.9%	103人
	平鹿	45人 25.3%	83人 46.6%	33人 18.5%	8人 4.5%	1人 0.6%	2人 1.1%	6人 3.4%	178人
	雄物川	44人 33.6%	60人 45.8%	19人 14.5%	5人 3.8%	1人 0.8%	0人 0.0%	2人 1.5%	131人
	大森	24人 26.7%	39人 43.3%	20人 22.2%	4人 4.4%	1人 1.1%	0人 0.0%	2人 2.2%	90人
	十文字	35人 21.5%	94人 57.7%	27人 16.6%	6人 3.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.6%	163人
	山内	6人 13.3%	24人 53.3%	11人 24.4%	3人 6.7%	1人 2.2%	0人 0.0%	0人 0.0%	45人
	大雄	17人 21.3%	38人 47.5%	17人 21.3%	4人 5.0%	1人 1.3%	1人 1.3%	2人 2.5%	80人
	無回答	4人 15.4%	15人 57.7%	4人 15.4%	0人 0.0%	2人 7.7%	0人 0.0%	1人 3.8%	26人
	総計	341人 26.0%	623人 47.5%	245人 18.7%	65人 5.0%	10人 0.8%	5人 0.4%	22人 1.7%	1,311人

横手市まちづくりアンケート

【参考1】移動に不便を感じているかどうかによる買い物頻度【問12とのクロス】

問14-買い物		ほぼ毎日		週に2~3回		週に1回		月に1~2回		数ヶ月に1回		外出しない		無回答		総計
問12	1・2 感じている	131人	26.5%	237人	48.0%	88人	17.8%	19人	3.8%	6人	1.2%	3人	0.6%	10人	2.0%	494人
	3・4 感じていない	203人	25.5%	380人	47.8%	153人	19.2%	44人	5.5%	4人	0.5%	2人	0.3%	9人	1.1%	795人
	無回答	7人	31.8%	6人	27.3%	4人	18.2%	2人	9.1%	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	13.6%	22人
	総計	341人	26.0%	623人	47.5%	245人	18.7%	65人	5.0%	10人	0.8%	5人	0.4%	22人	1.7%	1,311人

【参考2】運転免許の有無による買い物の頻度【問13とのクロス】

問14-買い物		ほぼ毎日		週に2~3回		週に1回		月に1~2回		数ヶ月に1回		外出しない		無回答		総計
問13	1. 持っている	323人	27.2%	568人	47.8%	217人	18.3%	55人	4.6%	7人	0.6%	3人	0.3%	16人	1.3%	1,189人
	2・3・4 持っていない	12人	11.3%	49人	46.2%	26人	24.5%	10人	9.4%	3人	2.8%	2人	1.9%	4人	3.8%	106人
	無回答	6人	37.5%	6人	37.5%	2人	12.5%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	12.5%	16人
	総計	341人	26.0%	623人	47.5%	245人	18.7%	65人	5.0%	10人	0.8%	5人	0.4%	22人	1.7%	1,311人

⇒ 普段移動に不便を感じているかどうかによって買い物に出かける頻度に大きな差が出ているということはなかったが、免許の有無では大きな差が出ている。

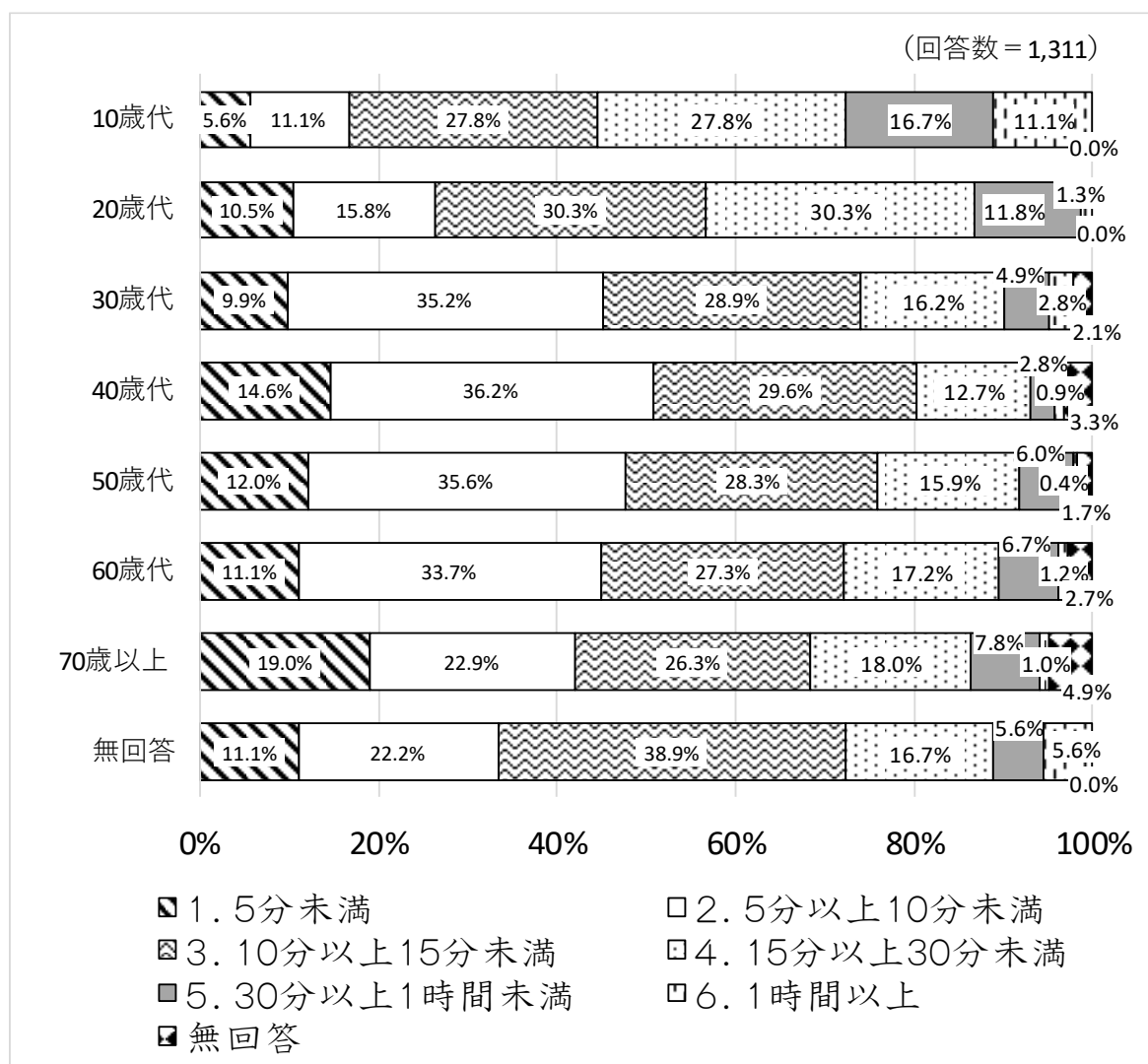
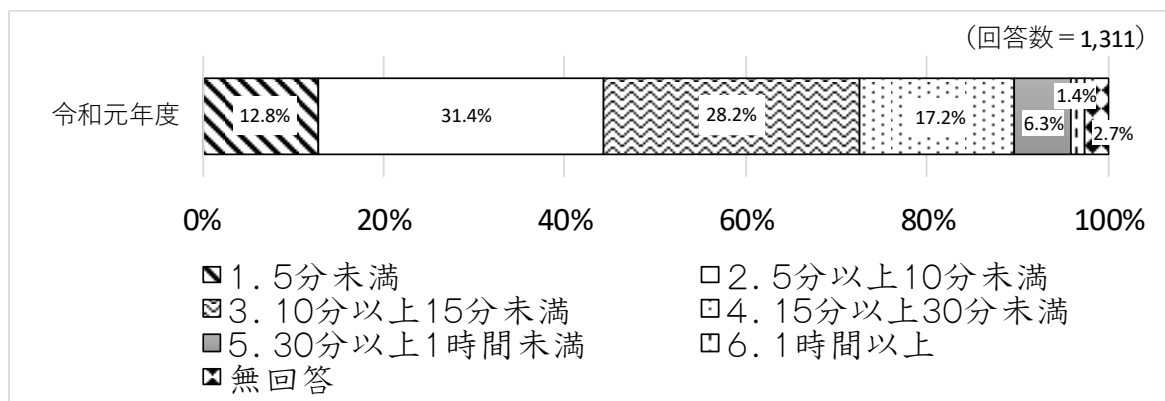
(免許を持っている人では、ほぼ毎日買い物に出かけるという人が27.2%いるのに対し、免許を持っていない人では11.3%に留まる。また、買い物に出かける頻度が少ない(「月に1~2回」「数ヶ月に1回」「外出しない」)人の割合は、免許を持っている場合は5.5%だが、持っていない場合は14.1%と3倍近い。)

【イ. 通院】

問14-通院		ほぼ毎日		週に2~3回		週に1回		月に1~2回		数ヶ月に1回		外出しない		無回答		総計
性別	男性	1人	0.2%	5人	0.8%	15人	2.5%	229人	38.6%	226人	38.0%	64人	10.8%	54人	9.1%	594人
	女性	0人	0.0%	10人	1.5%	24人	3.5%	261人	37.9%	262人	38.1%	57人	8.3%	74人	10.8%	688人
	無回答	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	15人	51.7%	11人	37.9%	1人	3.4%	2人	6.9%	29人
	総計	1人	0.1%	15人	1.1%	39人	3.0%	505人	38.5%	499人	38.1%	122人	9.3%	130人	9.9%	1,311人
年齢	10歳代	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	5.6%	8人	44.4%	8人	44.4%	1人	5.6%	18人
	20歳代	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	3.9%	7人	9.2%	34人	44.7%	19人	25.0%	13人	17.1%	76人
	30歳代	0人	0.0%	2人	1.4%	4人	2.8%	38人	26.8%	63人	44.4%	25人	17.6%	10人	7.0%	142人
	40歳代	1人	0.5%	0人	0.0%	5人	2.3%	65人	30.5%	98人	46.0%	22人	10.3%	22人	10.3%	213人
	50歳代	0人	0.0%	3人	1.3%	10人	4.3%	76人	32.6%	93人	39.9%	26人	11.2%	25人	10.7%	233人
	60歳代	0人	0.0%	4人	1.0%	9人	2.2%	193人	47.5%	150人	36.9%	14人	3.4%	36人	8.9%	406人
	70歳以上	0人	0.0%	5人	2.4%	8人	3.9%	116人	56.6%	47人	22.9%	7人	3.4%	22人	10.7%	205人
	無回答	0人	0.0%	1人	5.6%	0人	0.0%	9人	50.0%	6人	33.3%	1人	5.6%	1人	5.6%	18人
	総計	1人	0.1%	15人	1.1%	39人	3.0%	505人	38.5%	499人	38.1%	122人	9.3%	130人	9.9%	1,311人
地域	横手	0人	0.0%	5人	1.0%	15人	3.0%	170人	34.3%	197人	39.8%	55人	11.1%	53人	10.7%	495人
	増田	0人	0.0%	1人	1.0%	3人	2.9%	39人	37.9%	48人	46.6%	6人	5.8%	6人	5.8%	103人
	平鹿	1人	0.6%	3人	1.7%	5人	2.8%	72人	40.4%	62人	34.8%	19人	10.7%	16人	9.0%	178人
	雄物川	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	2.3%	58人	44.3%	44人	33.6%	9人	6.9%	17人	13.0%	131人
	大森	0人	0.0%	2人	2.2%	4人	4.4%	34人	37.8%	33人	36.7%	9人	10.0%	8人	8.9%	90人
	十文字	0人	0.0%	2人	1.2%	5人	3.1%	62人	38.0%	66人	40.5%	15人	9.2%	13人	8.0%	163人
	山内	0人	0.0%	1人	2.2%	2人	4.4%	17人	37.8%	13人	28.9%	4人	8.9%	8人	17.8%	45人
	大雄	0人	0.0%	1人	1.3%	2人	2.5%	38人	47.5%	27人	33.8%	4人	5.0%	8人	10.0%	80人
	無回答	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	15人	57.7%	9人	34.6%	1人	3.8%	1人	3.8%	26人
	総計	1人	0.1%	15人	1.1%	39人	3.0%	505人	38.5%	499人	38.1%	122人	9.3%	130人	9.9%	1,311人

問15 自宅から駅やバス停、または目的地まで歩く場合、どの程度の時間なら許容できますか。(〇は1つ)

- 5分以上～15分未満で全体の約6割を占める。
- 年代によってやはり許容できる時間に一定程度の差が出ている。



横手市まちづくりアンケート

問15		1. 5分未満		2. 5分以上10分未満		3. 10分以上15分未満		4. 15分以上30分未満		5. 30分以上1時間未満		6. 1時間以上		無回答		総計
性別	男性	79人	13.3%	191人	32.2%	158人	26.6%	113人	19.0%	35人	5.9%	5人	0.8%	13人	2.2%	594人
	女性	87人	12.6%	215人	31.3%	203人	29.5%	106人	15.4%	46人	6.7%	10人	1.5%	21人	3.1%	688人
	無回答	2人	6.9%	6人	20.7%	9人	31.0%	6人	20.7%	2人	6.9%	3人	10.3%	1人	3.4%	29人
	総計	168人	12.8%	412人	31.4%	370人	28.2%	225人	17.2%	83人	6.3%	18人	1.4%	35人	2.7%	1,311人
年齢	10歳代	1人	5.6%	2人	11.1%	5人	27.8%	5人	27.8%	3人	16.7%	2人	11.1%	0人	0.0%	18人
	20歳代	8人	10.5%	12人	15.8%	23人	30.3%	23人	30.3%	9人	11.8%	1人	1.3%	0人	0.0%	76人
	30歳代	14人	9.9%	50人	35.2%	41人	28.9%	23人	16.2%	7人	4.9%	4人	2.8%	3人	2.1%	142人
	40歳代	31人	14.6%	77人	36.2%	63人	29.6%	27人	12.7%	6人	2.8%	2人	0.9%	7人	3.3%	213人
	50歳代	28人	12.0%	83人	35.6%	66人	28.3%	37人	15.9%	14人	6.0%	1人	0.4%	4人	1.7%	233人
	60歳代	45人	11.1%	137人	33.7%	111人	27.3%	70人	17.2%	27人	6.7%	5人	1.2%	11人	2.7%	406人
	70歳以上	39人	19.0%	47人	22.9%	54人	26.3%	37人	18.0%	16人	7.8%	2人	1.0%	10人	4.9%	205人
	無回答	2人	11.1%	4人	22.2%	7人	38.9%	3人	16.7%	1人	5.6%	1人	5.6%	0人	0.0%	18人
総計	168人	12.8%	412人	31.4%	370人	28.2%	225人	17.2%	83人	6.3%	18人	1.4%	35人	2.7%	1,311人	
地域	横手	55人	11.1%	156人	31.5%	148人	29.9%	90人	18.2%	30人	6.1%	4人	0.8%	12人	2.4%	495人
	増田	12人	11.7%	36人	35.0%	29人	28.2%	17人	16.5%	3人	2.9%	4人	3.9%	2人	1.9%	103人
	平鹿	21人	11.8%	67人	37.6%	49人	27.5%	25人	14.0%	8人	4.5%	2人	1.1%	6人	3.4%	178人
	雄物川	21人	16.0%	38人	29.0%	33人	25.2%	19人	14.5%	11人	8.4%	3人	2.3%	6人	4.6%	131人
	大森	11人	12.2%	23人	25.6%	26人	28.9%	20人	22.2%	7人	7.8%	0人	0.0%	3人	3.3%	90人
	十文字	21人	12.9%	51人	31.3%	51人	31.3%	29人	17.8%	7人	4.3%	2人	1.2%	2人	1.2%	163人
	山内	10人	22.2%	12人	26.7%	10人	22.2%	9人	20.0%	2人	4.4%	1人	2.2%	1人	2.2%	45人
	大雄	13人	16.3%	22人	27.5%	17人	21.3%	12人	15.0%	12人	15.0%	1人	1.3%	3人	3.8%	80人
	無回答	4人	15.4%	7人	26.9%	7人	26.9%	4人	15.4%	3人	11.5%	1人	3.8%	0人	0.0%	26人
	総計	168人	12.8%	412人	31.4%	370人	28.2%	225人	17.2%	83人	6.3%	18人	1.4%	35人	2.7%	1,311人

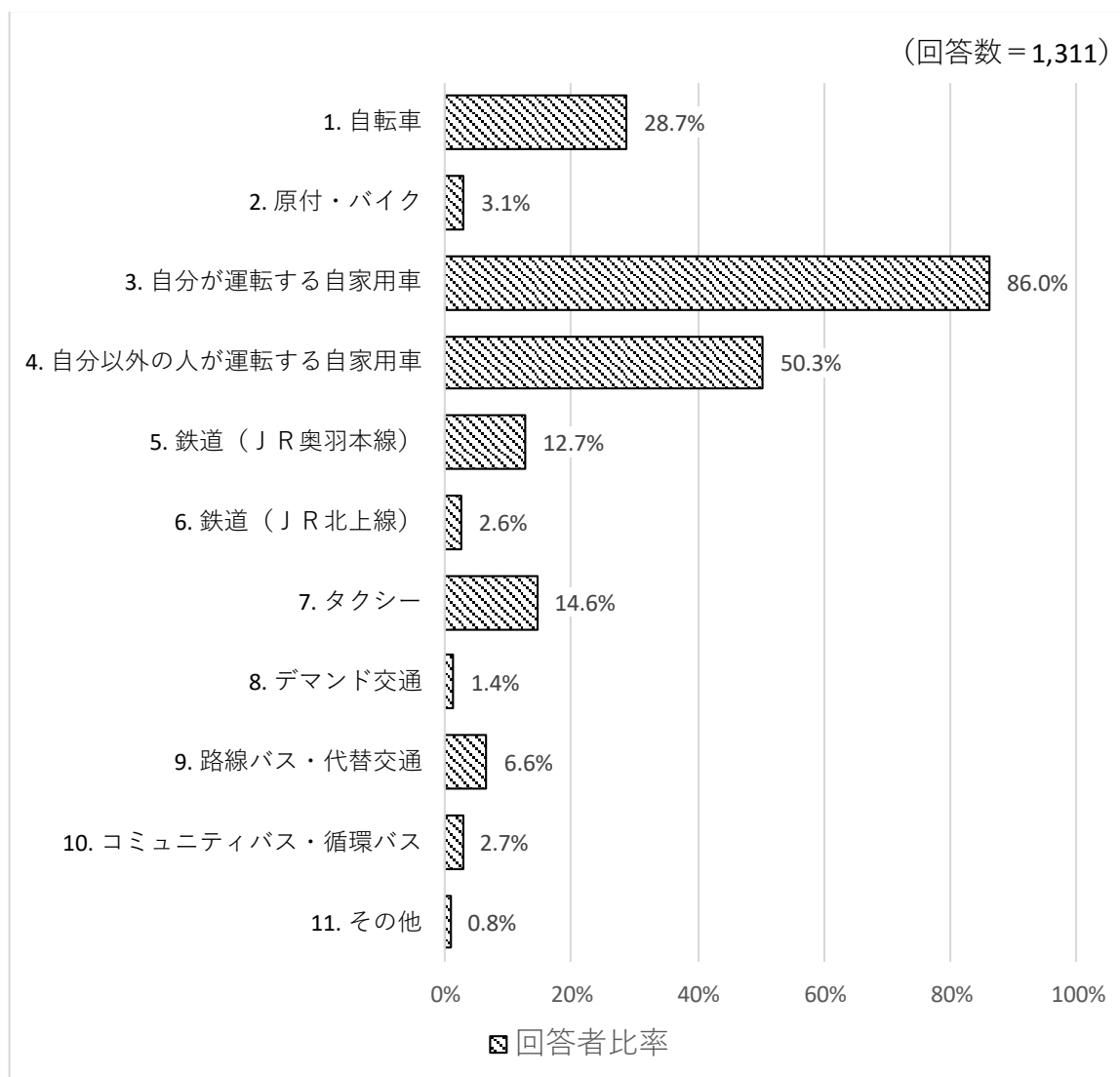
問16 ここ1年間、市内の移動で利用した交通手段（徒歩を除く）について、あてはまるものをすべて選んでください。頻度は問いません。（〇はいくつでも）

- 「3. 自分が運転する自家用車」が圧倒的に多い。
- 地域差はあるものの、全体としては鉄道やバスよりもタクシーの利用割合が高い傾向にある。

【「13. その他」で記載された主な回答（順不同）】

高速バス、スーパーのバス、歩く、運転代行

横手市まちづくりアンケート



	回答数	回答者比率
1. 自転車	376人	28.7%
2. 原付・バイク	40人	3.1%
3. 自分が運転する自家用車	1,128人	86.0%
4. 自分以外の人が運転する自家用車	659人	50.3%
5. 鉄道 (JR奥羽本線)	167人	12.7%
6. 鉄道 (JR北上線)	34人	2.6%
7. タクシー	191人	14.6%
8. デマンド交通	18人	1.4%
9. 路線バス・代替交通	87人	6.6%
10. コミュニティバス・循環バス	36人	2.7%
11. その他	11人	0.8%
合計	2,747人	
回答者実人数	1,311人	

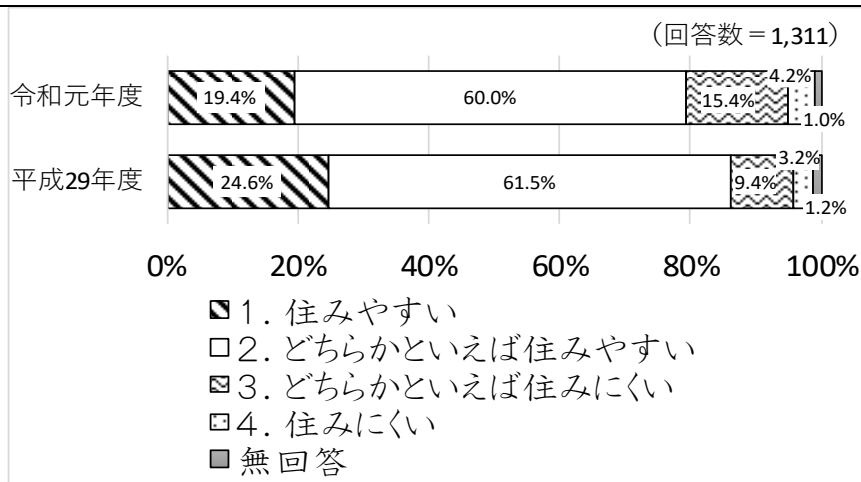
※複数回答。回答者比率は実人数に対する割合のため、合計すると 100%を超えます。

性別	1. 自転車		2. 原付・バイク		3. 自分が運転する 自家用車		4. 自分以外の人が 運転する自家用車		5. 鉄道(JR奥羽本 線)		6. 鉄道(JR北上 線)		7. タクシー		8. デマンド交通		9. 路線バス・代替 交通		10. コミュニティバ ス・循環バス		11. その他		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	192人	15.1%	37人	2.9%	545人	42.8%	255人	20.0%	83人	6.5%	19人	1.5%	91人	7.1%	9人	0.7%	27人	2.1%	10人	0.8%	6人	0.5%	1,274人
女性	174人	12.2%	3人	0.2%	558人	39.2%	392人	27.6%	82人	5.8%	15人	1.1%	98人	6.9%	9人	0.6%	60人	4.2%	26人	1.8%	5人	0.4%	1,422人
無回答	10人	19.6%	0人	0.0%	25人	49.0%	12人	23.5%	2人	3.9%	0人	0.0%	2人	3.9%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	51人
総計	376人	13.7%	40人	1.5%	1,128人	41.1%	659人	24.0%	167人	6.1%	34人	1.2%	191人	7.0%	18人	0.7%	87人	3.2%	36人	1.3%	11人	0.4%	2,747人
10歳代	9人	18.4%	1人	2.0%	11人	22.4%	13人	26.5%	5人	10.2%	2人	4.1%	2人	4.1%	0人	0.0%	4人	8.2%	2人	4.1%	0人	0.0%	49人
20歳代	25人	13.7%	1人	0.5%	62人	34.1%	51人	28.0%	18人	9.9%	4人	2.2%	11人	6.0%	0人	0.0%	8人	4.4%	1人	0.5%	1人	0.5%	182人
30歳代	36人	10.9%	4人	1.2%	132人	40.1%	90人	27.4%	26人	7.9%	4人	1.2%	24人	7.3%	0人	0.0%	8人	2.4%	4人	1.2%	1人	0.3%	329人
40歳代	63人	13.8%	4人	0.9%	196人	43.1%	119人	26.2%	31人	6.8%	4人	0.9%	33人	7.3%	1人	0.2%	4人	0.9%	0人	0.0%	0人	0.0%	455人
50歳代	59人	11.9%	12人	2.4%	219人	44.1%	119人	23.9%	34人	6.8%	6人	1.2%	30人	6.0%	1人	0.2%	10人	2.0%	6人	1.2%	1人	0.2%	497人
60歳代	110人	13.9%	13人	1.6%	352人	44.3%	168人	21.2%	31人	3.9%	9人	1.1%	57人	7.2%	9人	1.1%	29人	3.7%	10人	1.3%	6人	0.8%	794人
70歳以上	67人	16.3%	5人	1.2%	142人	34.5%	92人	22.4%	20人	4.9%	5人	1.2%	34人	8.3%	7人	1.7%	24人	5.8%	13人	3.2%	2人	0.5%	411人
無回答	7人	23.3%	0人	0.0%	14人	46.7%	7人	23.3%	2人	6.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	30人
総計	376人	13.7%	40人	1.5%	1,128人	41.1%	659人	24.0%	167人	6.1%	34人	1.2%	191人	7.0%	18人	0.7%	87人	3.2%	36人	1.3%	11人	0.4%	2,747人
横手	164人	14.8%	15人	1.4%	412人	37.2%	250人	22.6%	65人	5.9%	15人	1.4%	113人	10.2%	4人	0.4%	39人	3.5%	28人	2.5%	2人	0.2%	1,107人
増田	31人	14.5%	4人	1.9%	88人	41.1%	47人	22.0%	18人	8.4%	4人	1.9%	11人	5.1%	1人	0.5%	10人	4.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	214人
平鹿	47人	12.8%	5人	1.4%	160人	43.7%	98人	26.8%	20人	5.5%	3人	0.8%	19人	5.2%	2人	0.5%	10人	2.7%	0人	0.0%	2人	0.5%	366人
雄物川	34人	13.0%	6人	2.3%	117人	44.7%	70人	26.7%	9人	3.4%	5人	1.9%	9人	3.4%	3人	1.1%	4人	1.5%	2人	0.8%	3人	1.1%	262人
大森	18人	11.0%	3人	1.8%	80人	48.8%	35人	21.3%	4人	2.4%	0人	0.0%	10人	6.1%	6人	3.7%	6人	3.7%	1人	0.6%	1人	0.6%	164人
十文字	48人	13.4%	5人	1.4%	140人	39.2%	92人	25.8%	38人	10.6%	2人	0.6%	19人	5.3%	2人	0.6%	8人	2.2%	2人	0.6%	1人	0.3%	357人
山内	2人	2.6%	2人	2.6%	41人	52.6%	17人	21.8%	2人	2.6%	4人	5.1%	3人	3.8%	0人	0.0%	5人	6.4%	2人	2.6%	0人	0.0%	78人
大雄	23人	15.2%	0人	0.0%	71人	47.0%	39人	25.8%	7人	4.6%	1人	0.7%	5人	3.3%	0人	0.0%	2人	1.3%	1人	0.7%	2人	1.3%	151人
無回答	9人	18.8%	0人	0.0%	19人	39.6%	11人	22.9%	4人	8.3%	0人	0.0%	2人	4.2%	0人	0.0%	3人	6.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	48人
総計	376人	13.7%	40人	1.5%	1,128人	41.1%	659人	24.0%	167人	6.1%	34人	1.2%	191人	7.0%	18人	0.7%	87人	3.2%	36人	1.3%	11人	0.4%	2,747人

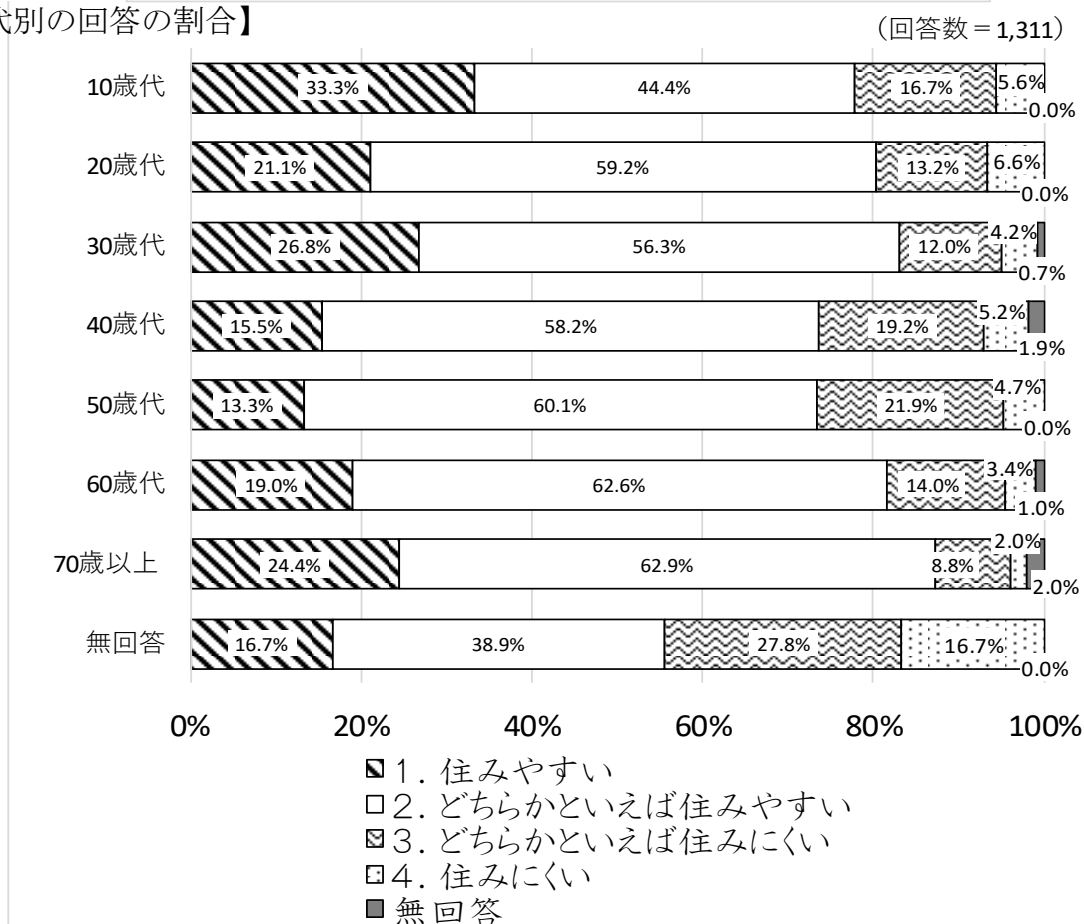
7 住みよさ・定住意向について

問17 あなたは、横手市が住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

- 前回平成29年度に比べ「住みやすい(1・2)」とする割合は低下している。(※平成30年度アンケートでは同内容の設問なし。)
- 「住みにくい(3・4)」と回答した人が全体の約2割ほどいる。
- 特に40代、50代で「1. 住みやすい」の割合が低い。



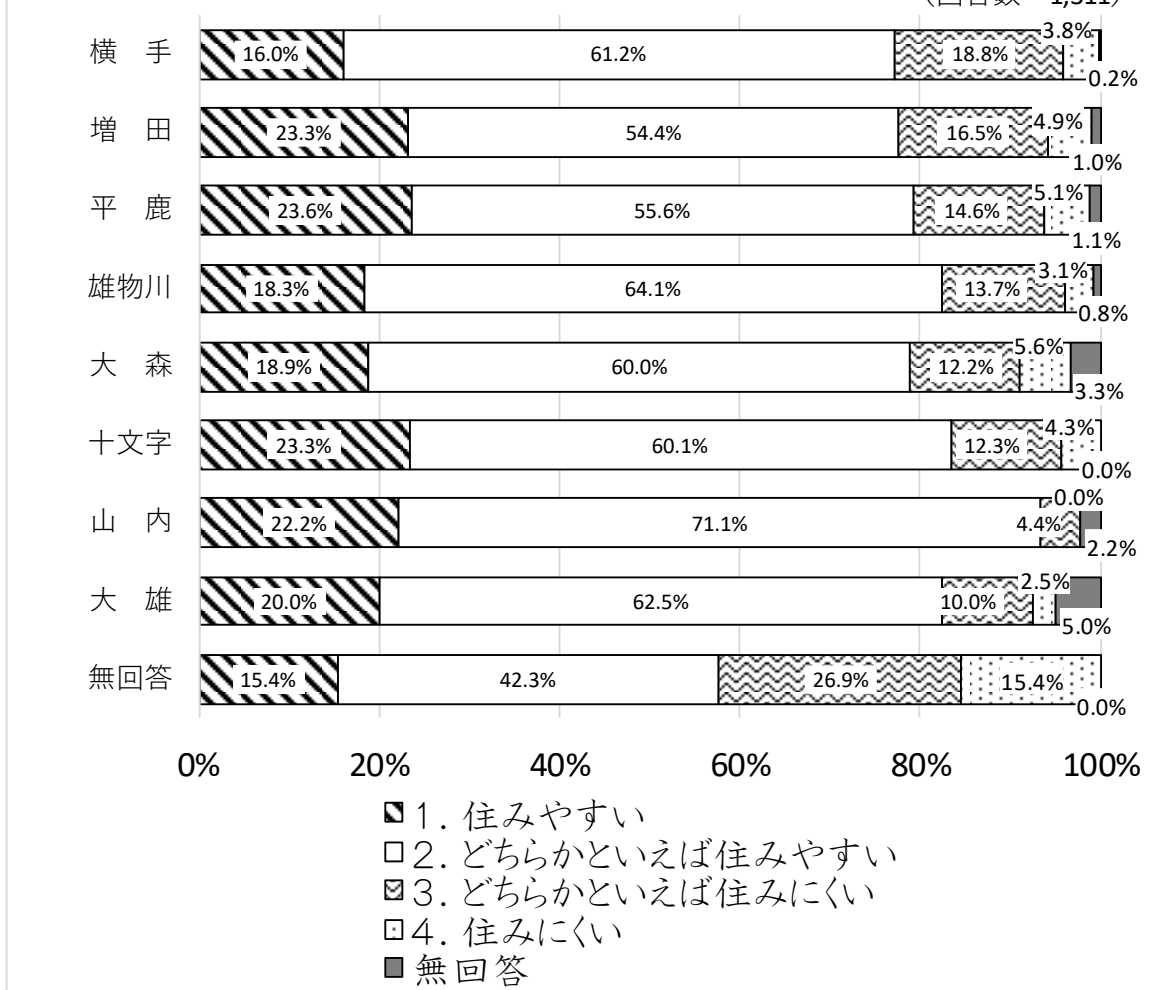
【年代別の回答の割合】



横手市まちづくりアンケート

【地域別の回答の割合】

(回答数 = 1,311)



問17		1. 住みやすい		2. どちらかといえ ば住みやすい		3. どちらかといえ ば住みにくい		4. 住みにくい		無回答		総計
性別	男性	110人	18.5%	383人	64.5%	78人	13.1%	18人	3.0%	5人	0.8%	594人
	女性	139人	20.2%	391人	56.8%	117人	17.0%	33人	4.8%	8人	1.2%	688人
	無回答	5人	17.2%	13人	44.8%	7人	24.1%	4人	13.8%	0人	0.0%	29人
	総計	254人	19.4%	787人	60.0%	202人	15.4%	55人	4.2%	13人	1.0%	1,311人
年齢	10歳代	6人	33.3%	8人	44.4%	3人	16.7%	1人	5.6%	0人	0.0%	18人
	20歳代	16人	21.1%	45人	59.2%	10人	13.2%	5人	6.6%	0人	0.0%	76人
	30歳代	38人	26.8%	80人	56.3%	17人	12.0%	6人	4.2%	1人	0.7%	142人
	40歳代	33人	15.5%	124人	58.2%	41人	19.2%	11人	5.2%	4人	1.9%	213人
	50歳代	31人	13.3%	140人	60.1%	51人	21.9%	11人	4.7%	0人	0.0%	233人
	60歳代	77人	19.0%	254人	62.6%	57人	14.0%	14人	3.4%	4人	1.0%	406人
	70歳以上	50人	24.4%	129人	62.9%	18人	8.8%	4人	2.0%	4人	2.0%	205人
	無回答	3人	16.7%	7人	38.9%	5人	27.8%	3人	16.7%	0人	0.0%	18人
総計	254人	19.4%	787人	60.0%	202人	15.4%	55人	4.2%	13人	1.0%	1,311人	
地域	横手	79人	16.0%	303人	61.2%	93人	18.8%	19人	3.8%	1人	0.2%	495人
	増田	24人	23.3%	56人	54.4%	17人	16.5%	5人	4.9%	1人	1.0%	103人
	平鹿	42人	23.6%	99人	55.6%	26人	14.6%	9人	5.1%	2人	1.1%	178人
	雄物川	24人	18.3%	84人	64.1%	18人	13.7%	4人	3.1%	1人	0.8%	131人
	大森	17人	18.9%	54人	60.0%	11人	12.2%	5人	5.6%	3人	3.3%	90人
	十文字	38人	23.3%	98人	60.1%	20人	12.3%	7人	4.3%	0人	0.0%	163人
	山内	10人	22.2%	32人	71.1%	2人	4.4%	0人	0.0%	1人	2.2%	45人
	大雄	16人	20.0%	50人	62.5%	8人	10.0%	2人	2.5%	4人	5.0%	80人
	無回答	4人	15.4%	11人	42.3%	7人	26.9%	4人	15.4%	0人	0.0%	26人
総計	254人	19.4%	787人	60.0%	202人	15.4%	55人	4.2%	13人	1.0%	1,311人	

問17-2 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と思う理由をお書きください。(自由記載)

問17で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した257人からのご意見の主なものを記載しています。

第2次横手市総合計画の関連施策別に大まかに分類して、原文のまま記載しています。同じ内容・同じ表現のご意見についてはまとめている場合があります。

なお、特定の個人や団体を誹謗中傷するものや判読が難しいもの、誤解を与える可能性があると思われるものなどについては公開を控えております。

(1-1 子育て支援の充実)

- ・子供用トイレを増やして欲しい。血液センターのサテライト型施設などあれば良いと思う
- ・中高生に対しての補助金などをふやしてほしい!
- ・子育てがしづらい
- ・子育て中の人働きやすい会社が少ない。福祉の現場では、小さい子供がいても職員の人数が少なく夜勤をやらなくてはいけない。
- ・幼稚園が横手市中心にしかない為、居住地が中心外だと両親が働いていないと子を集団生活を経験させられない。

(1-2 健康な心と体づくりの推進)

- ・病院が遠い

(1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進)

- ・高齢者が多いうえ、それに見合った処遇がされていない。

(1-4 障がい者(児)福祉の充実)

- ・いずれ高齢になり、身体的に不自由を感じるようになることを前提に、①自分で運転できなくなってしまったとき、どうしたら生活が成り立つのが全く見通しが立たない。人口が継持されればずいぶん違うのではないかと思う。②自分が障害又は同程度の身体状態になって、用事で各庁舎に行く際、建物の中に入るのがとても難儀。障害者や高齢者には、少し冷たい。③多目的の公衆トイレが少ない。障害者でも安心して出歩ける街ではない。

(1-5 低所得者福祉の充実)

- ・アパートなど家賃が高い。バスも高い。
- ・以前、市営住宅に問い合わせたら一人暮らしでは入れませんと言われました。独身者には住みにくいような所もあるように思いました。

(2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備)

- ・小学校を選びたいのに学区内の小学校へ行くことに不満。

(2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進)

- ・スポーツに力を入れている感じが全くない。

(3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進)

- ・少子高齢化対策の効果が目につかないので、大変心配している。地域の衰退が目立つ様になった。空き家、空き地が多く商業の不振も際立って多くなった。

(3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全)

- ・農家の人の堆肥が臭い。交通の便が悪い。除雪がヘタ。

(4-1 魅力ある農林業の振興)

- ・先代から引き継いでいる田畑の管理など難儀に思う

(4-2 活気ある商業の振興)

- ・大型商業施設がない
- ・買い物にいきたいショップがない
- ・秋田市駅前のようなビルがなく、服を買う場所がないから。
- ・食品、ファッションすべてのものに関して少しこだわりのものが欲しければ大森町では購入出来ない、とても不便です。私は横手、大曲へ出かけます。
- ・気軽に立ち寄れる店がない（喫茶、洋品店など）
- ・衣料品・雑貨・医療が異常なくらい不足していると思います。ネットショッピングが充実しているからでしょうか？H&Mなど若者が好むショップを展開しないのは若者がいないから売上が望めないというリスクを負いたくないからでしょうか？遠出できない人はどこで買えばよいのでしょうか・・・
- ・スーパーが片寄っている（近くにない、さらに年を取り行動が不自由になったとき困る）。にぎわいの場所がない。
- ・スーパーは、大型化して近所でちょっとした店がなくこまる
- ・近所に店がない

(4-5 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策)

- ・若い人達の産業がなく息子達が都会で労務せざるを得ない。
- ・自分が希望する仕事時間が選べない
- ・時給が低い
- ・自分の子供に進められる大企業等の就職先がない。
- ・何処に行くにしても車での移動が必要。働き口が少ない。低賃金。
- ・交通機関や働き口が少なく（不便に）感じる

(5-1 雪国の快適な暮らしの実現)

- ・雪害等
- ・冬場が大変
- ・豪雪地帯なので冬期間の除雪作業が大変だから。あと冬が長く日照不足だから。
- ・雪が多く高齢となった時の不安が多だ
- ・冬の寒さや雪の多さだけが住みにくい
- ・埼玉県から来て10年になりますが冬は雪が多くて大変です
- ・雪が多くて大変
- ・雪寄せが大変
- ・現在は問題ないが、年齢が上がった時に、除雪や移動手段に困るようになると思います。
- ・冬の雪の多さ、除雪作業、屋根の雪下ろし。年々歳を重ねていくと、作業が体に負担がかかり足腰に痛みが走ります。
- ・冬、雪がふるのはしかたがないけれども、除雪車の雪よせ方が、まずく、もう少し幅広くしてほしい。
- ・雪が多く寒い期間が長すぎる。雪よせする空地がない。光熱費がかかりすぎる
- ・冬の除雪がかなり大変。雪の投げる場所がなく軽トラが必要である。
- ・雪が多いことが一番。
- ・除雪時期の除雪作業も積雪が少ないのに日中除雪車が通り各家庭の除雪作業が二度手間になったり、地域により除雪技術に格差があったりと普段の生活、交通環境があまり良くない点。
- ・除雪、雪下ろし等がある為
- ・冬の除雪作業が困難
- ・雪が降るから
- ・冬の雪ですね。融雪溝が少ないし、有ってもちゃんとした深さがないとか、問題は多く有るので雪を利用した雪むろは良いは思います。
- ・新しい市長になってから、冬の除雪が酷い。歩道の除雪の時、駐車場の車に遠慮なく雪をぶつけてキズを付ける。人が居ても除雪車で飛ばしてぶつけてく。
- ・冬の寒さと雪の多さ
- ・冬なんですけど流雪するところがない。前住んでいたところには全てのところにありました。
- ・冬の除雪が大変。
- ・冬期間雪の処理する場がなく毎年、悩みの種が続いて経費をかければ改善される点もあることです。が経済力のないものには一生続く問題です。
- ・雪が多く、でんき、とうゆ代金がすごい。
- ・雪国のせいか、除雪がたいへんであるということ。
- ・冬の寒さと除雪作業
- ・市内の様な除雪がない
- ・雪なければ、住みやすい
- ・除雪が良くない
- ・雪が積もると除雪が大変。老後や2人暮らしの老親が心配です。
- ・夏は暑いし、冬は雪が降り除雪が大変である

- ・除雪、雪下ろし
- ・何と言っても雪。娘たちは、関東へ進学しましたが、雪が降らず太陽の出ている冬を過ごし、とても快適だと言ひ、光熱費も安く済むので、とても住みやすいと言って横手の住みにくさを実感しています。
- ・雪が多いため、日々の通勤次、毎日の除雪・老親の通院の付き添いは病院によっては難儀
- ・雪が降るので！！
- ・夏は涼しいからいいが、冬は…。
- ・雪害に依る交通不便。気候が良くない。
- ・冬、雪問題、除雪等。
- ・冬に雪下ろしを2度、3度しなければならない。雪かきも！
- ・雪が多いから。
- ・冬の積雪量の多さ。雪捨て場まで遠い、流雪溝まで遠い（←昨年度 流雪溝組合？に入り お金は払ったが、一度も利用しなかった。近所の雪捨て場が1ヶ所しかなく、そこがいっぱいになって捨てられない時のための組合いの入会）
- ・雪対策。除雪がなければ住みやすい
- ・冬場の雪の多さ、屋根の雪おろし、除雪がとても大変な事。交通手段が、自家用車しかない。
- ・雪の処理、特に道路除雪がひどい
- ・これから年をとっていくにつれ雪寄せについて心配。町内には流雪溝もなく大変困っている。雪の問題をなんとかしないことにはここで住み続けるのは難しいと思っている。子供もみな家を離れており、1人暮らしになった時を思うと今からお先まっ暗です。なんとか雪の問題に良い方法はないものでしょうか。
- ・冬の雪以外住みやすい。
- ・冬は除雪の後片付けが大変（年とともに）
- ・冬の除雪では、80m以上バスの通る道路まで除雪をしなくてはならない（誰も見て見ぬふり）、行政も知らん顔。こんなところ・・・いやだ！
- ・雪が多く、又、除雪があまり良くない。
- ・雪が多い。雪寄せのことを考えると今後のことがつらい。
- ・積雪有
- ・雪ですね！
- ・冬の大雪で、せまい道路が更に狭くなる。町内は老人しかいないので大変そう。家の前の道は、車一台通る（夏でも）ぐらゐのせまさ。除雪車は車ギリギリ通るだけ一回きり通過するだけ。もう大変です。半年間それが続くからうんざり。何にも考えないで除雪車山のようにおいていく。
- ・除雪が大変。高齢者が増え自宅前の除雪もできないため、道路通行が困難になってきている。
- ・冬期道路以外除雪作業等時間がかかる
- ・除雪が重労働。春光の街の風景が汚い。
- ・雪対策（除雪排雪）が不十分
- ・雪対策、とくに除雪した後とり残された玄関の雪の排雪がつらい
- ・雪が多く一人暮らしなので雪よせにくろうしています。
- ・雪の多さ除雪必要で費用も掛かる

- ・冬場の4か月間はとってもつらい生活です。
- ・活気がない。楽しい場所がない。雪が多くてイヤだ。
- ・冬期の降雪が多い為、除雪ローダーがあまりにへたです。人家の玄関前に雪は置きません。美郷町千南地区や六郷地区を参考にして下さい。家の前に山の様に置いていくのは旧横手市だけです。
- ・雪の多さで、これから除雪作業が困難になってくると先んき不安になることがある
- ・地域での人間関係は楽しく過ごしています。一番困るのは冬の雪。年をとるとどうにもならない。生き方に工夫をしないと住めなくなります。活気のある所がほとんどなく、若者が楽しく希望を持って暮らせない。
- ・今は自動車を運転できるけど、高齢になると、交通手段が心配。冬の雪も心配。
- ・夏は暑過ぎ、冬は雪が多すぎる
- ・何とんでも冬期間が問題。雪が降るのはしょうがない、市でも対策を考え行ってくれている事は分かっているが、流雪溝のない地域では、玄関先に膝を越える糧の高さまで、毎日のように道路の雪を置かれたり、塀が壊れるのではないかと思う程まで雪を寄せられたりと。毎年、心配でなりません。しかも高齢者や一人暮らしの多い横手市です。雪のない地域に移住するという考えを持っている人も多いです。
- ・雪が多い、田舎、保守的
- ・雪対策が不十分
- ・なんと言っても雪の量が多すぎですネ
- ・あまりに雪が多く、又寒い。古い我が家は経済的にリフォームも出来ず、今後不安でたまらない。
- ・雪が多くて、夏は暑い。気候条件がネック。
- ・雪が多すぎて、高齢になると雪寄せが出来ない。
- ・都会に比べて交通手段が限られたり、積雪など環境面で住みにくいと感ずる。また物流や物品の数も少ないと感ずる。
- ・雪が降らなければ
- ・冬の除雪が行き届いていない。市道になっているのに除雪車がこない。朝・夜は自分たちで除雪を行っている。
- ・雪が降った時の雪寄せが年々不安である。
- ・冬はあまりにも寒くて、体に悪いことです。70才過ぎたら体のあちこちに異常きたして、病院通いになっています。
- ・雪が多くて住みにくい。
- ・雪が多く冬は生活が難儀だから。
- ・高齢になると除雪が大変になる事
- ・なんと言っても雪問題。
- ・除雪、吹雪、光熱費（冬期）
- ・山のふもとに家があるため、雪がふる。
- ・雪が多く除雪が大変。捨てる場所がない。気楽に行ける公園や娯楽施設がない。
- ・冬期の雪。今のところ自分で除雪しているが年を重ねると不安になる。
- ・冬の家の前に置いていかれる除雪の量が差があり過ぎる。
- ・雪が多すぎる

- ・雪が大量に降るので
- ・除雪が地域によって差があつて移動困難。
- ・除雪があるので冬期間留守出来ない、一人暮らしの為
- ・冬の除雪、屋根の雪下ろしが大変。年を重ねるに伴い重大となる。この問題が解決されると住みやすい町になると思う。
- ・積雪の多さ、→除雪が大変
- ・除雪が大変。町内の道路の除雪が遅く、通勤に困る。
- ・年々除雪が困難になる
- ・雪が多くて、除雪や外出など、高齢者には大変です。後は、住みやすいと思います。
- ・雪が降る
- ・雪、交通手段
- ・豪雪
- ・豪雪地帯なのにその対策がきちんとされていない 通学の子供達がかわいそうだと思う
- ・冬場の雪が大変。高齢化が進み地域の役員の成り手が確保がむずかしい。
- ・冬の雪かき、雪下ろしが大変だから。
- ・雪で交通に支障がでる、毎日の除雪、雪下ろしなど生活のすべてに害がでしかない。
- ・冬の雪が多いので除雪が大変。雪を捨てるのが大変。
- ・雪が多い。公共交通手段が不便。賃金が安い。冬の光熱費が都会にくらべ高額になる。
- ・年がいったので雪かきが大変。屋根の雪下ろし。
- ・冬の雪が大変
- ・自宅が県道沿いですが、除雪車が通ったあとの雪を捨てる融雪溝もないので困っています。朝6時過ぎに一度除雪車が家の前に置いていった雪を寄せても出勤時にまた除雪車の雪が置かれている時もあり、大変です。
- ・冬期の除雪
- ・多雪地のため、除雪車が他地域（県内でも）に比べて負担大。
- ・冬期の雪のため
- ・冬期。除雪が大変。除雪車が入れない所にいる。
- ・ずばり、雪!!これが、並みの量だったら、住みやすいと思います。これがある為に、老後の雪対策で、頭が痛いです。家の屋根を雪おろししなくてもいいようにしなければと思うが。予算が…。
- ・冬期の雪寄せ、雪おろし
- ・豪雪地帯で冬を乗り切るのが大変。収入源は低い物価・その他高すぎる。
- ・市内に遠いから。雪が多いから。
- ・12月～3月までの雪寄せがあることに、年とともに不安を感じる。隣近所の交流がない。いつでもキーをかけている人がほとんどとなっていて、距離感が遠い。
- ・娯楽が少なすぎてつまらない。雪の期間が長すぎて不便。給料が安すぎる。
- ・冬の雪で住みにくい！！

(5-2 快適な移動空間の実現)

- ・道路、橋がこわれていてもなおさない

- ・交通の便が悪い。ほぼ自家用車を使用しないと移動が出来ない。乳児・幼児が利用できる場所が少なすぎる。
- ・交通が不便、雪道が不安
- ・雪の中の生活。雪がなくても道路の線が消えて見えない。
- ・道路は、自動車優先で状態が悪く、自転車で移動しても買い物かごにはいつている卵が割れるくらい、状況が良くないところが多い。
- ・街灯が少なく夜が怖い
- ・特に冬の雪道の除雪状態が悪い、県道等の道路は除雪が走らなかつたりする。車がないと病院・買い物が大変、免許返納の年齢がきたらと思うと、不安。
- ・道幅が狭いため雪道では通行できない

(5-3 市民が利用しやすい公共交通の充実)

- ・交通機関が少なく高額
- ・交通が不便
- ・交通や除雪など。公共機関があまりにも遠くて車利用がないと不便
- ・自家用車での移動手段しかない。
- ・路線バスの本数の少なさ、デマンド交通、循環バスの分かりにくさ等の公共交通機関の不便さ。
- ・自分が運転できなければ、不便な地域がたくさんある。医者も、車でなければいけない。
- ・鉄道を使用する際、循環バスとの時刻が合わず、不便したことがある。
- ・新幹線の駅まで交通手段が不便。空港についても同様。
- ・交通機関が不便！ヽ(´Д`#)
- ・交通手段が自転車しかない
- ・バスが少なく、子供の交通不便、住民税が高い。
- ・とにかく交通の便が悪い。バスを例として終バスが早い。利用客が少ないのはわかりますが、体力に不安を感じた時どうになってしまうのか考えただけでも怖いです。
- ・車が運転できないと、活動範囲がせまくなる。老親の事が本当に心配です。
- ・交通の便が悪い
- ・買い物や通院が大変。雪が降る
- ・雪が多すぎる。交通の便が不便で年がいったから不安しかない
- ・除雪がない、雪捨て場がない、公共交通機関がない
- ・雪の問題。新幹線を北上にしてほしい。北上線に急行を走らせてほしい。交通の便が悪い。
- ・雪道、狭く大変！バス路線が不便。
- ・今は、まだ車を使う事ができるか？老後は、町から離れていると、バスは数時間に1本とかでは、移動が不便で、今後が不安である。
- ・車がなければどこにでも行けない
- ・バス停が遠い。
- ・バスがない、高い。駅が少ない、遠い。
- ・運転免許証を自主返納してしまえば移動が大変不便。サポート制度では楽しく生きていけない（義父がとても辛い思いをしながら現在生活している）。

- ・バス運行を昔のとおり山の奥まで運行してほしい！！通学時のみでもよい！
- ・車が無いとどこにも行けないこと。
- ・買い物に行くにもバスがとおらないため買い物や通院するのに不便でならない！
- ・若い人で運転できる人には住みやすいのかも知れないが、高齢になってくると買い物や通院を将来はどうしたものかと考えると、住みやすいとは言えない。
- ・交通が不便。市役所が遠くなっていく
- ・運転時、道幅が狭いことと、バス路線の廃線等で、自家用車以外の交通手段がないから免許返納も出来ない。代用の交通手段が不足しています。
- ・豪雪地域であるのに補助等がない。自宅付近に公共交通機関が全くないので高齢者でも自家用車でないで移動手段がない。
- ・バスなど交通の便がなく不便。冬は雪が降るため足もとが悪く自家用車でも不安になる
- ・交通に不便さを感じる。若者が少なく交流の場もなく活気に欠けている
- ・夏の暑さと冬の雪、交通が不便
- ・通勤や通学、買物を近くで出来ない。土、日は公共交通機関がなく、高校生の子が学校や図書館に行く手段がない。
- ・車がないと移動手段がないのもっと年を取ってからがとても不安
- ・交通手段が自家用車に限られて来ている。出来れば、路線バスが再活してくれれば嬉しい。いざと言う時に公衆電話を探すも数が限られているので、出来ればもっと有れば良い。
- ・交通の便が悪すぎる。バスはほとんど駅、バスターミナル拠点で運行されており、通学に使えず、結局自家用車で送迎をせざるえない。今から高齢者になったときが不安だ。
- ・バス路線に入っていない地域のため
- ・バスが通ってない
- ・交通手段が全くない。
- ・こまち一本化されていない為 乗りかえに不便を感じる
- ・交通手段がなく（バス停まで遠くて）高齢者になったら、どうしたらいいのだろう。
- ・車がないと生活（買い物、通院、通勤など）ができない。
- ・交通の便が悪い（バスや電車が少ない）
- ・横手市と言っても広すぎて、自分の住む地域を中心に考えると郵便局、徒歩 20 分農協、銀行徒歩 40 分、病院無し、若いときは不便はないが（車を運転できるので）今後、免許を返納することを思えば、住んでいられない。
- ・車が無い人にとっては非常に交通の便が悪い。（高校生も同様）若い人にとって魅力がない。
- ・主人が免許自主返納してから交通不便で
- ・交通の不便さ。高齢者にとって自由度の低さ。将来への不安。
- ・親の介護問題、交通の便も悪く、免許証の自主返納できない。
- ・子供が小さいうちは住みやすいが、高校生以上になると交通手段がなく住みにくい。親の送り迎えだけでは限界がある。

（5-4 地域拠点整備による市街地の活性化）

- ・イベント会場等の施設が充実していない。楽しめる場所がない。なぜ、アリーナ建設しないのか（ふ

るさと村に集結したらよかったのに残念です。まとまりのない街ですね)

- ・街が広がりすぎている。もう少しまとまったほうがいい。
- ・新幹線の開通。レジャー施設の充実。
- ・中心部（旧横手市）だけの開発対象みたいで、回りの旧市町村は、さびれていくばかりだと思う。
8市町村の対等合併なのに、不公平感が有るのは、いかがなものか？
- ・村や国道から離れた地域では除雪等もあまりよくない。高齢になるとスーパーや医院などのない村での生活はとても不便である。
- ・中心部まで遠い。スーパー、コンビニまで遠い。駅まで遠い。

(5-5 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理)

- ・生活ラインが整っていない。今時地下水で苦勞している。水質が悪く下水道、上水道が通っていないのでコインランドリーまで車で行って洗濯をしている。数年前から陳情しているが全く通っていない！他市に移り住みたい。
- ・下水道がきてない。

(5-6 市民がくつろげる公共空間の整備)

- ・子供達の楽しめる公共の場が少ないと思います。
- ・徒歩圏内で生活できない（買物、子どもの遊び場）、公園が汚い、整備されていない。
- ・子供と一緒に入れる店が少ない、交通が不便、雪が降ると何もできない（公園とかでソリなどで遊べたら）、子供と遊べる場所がすくない（砂場など）

(6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実)

- ・各町内会によりつらいと思う。家庭の事常により自由をゆるしてほしい。
- ・住民の高齢で意見の交換などが、ほとんど出来ない

(7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立)

- ・予算削減と言って一律削減し工夫なく、全てにおいて、不便になっている。
- ・住民サービスが悪い
- ・サービスを受けるにあたり、自分で申請しなければ受けられず今後出来なくなったらどうしたらいいのか。誰でもサービスを受けられるよう知らせてほしい。

(7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進)

- ・税金の取り立てが厳しすぎる。
- ・市民税が高い
- ・納税が高い

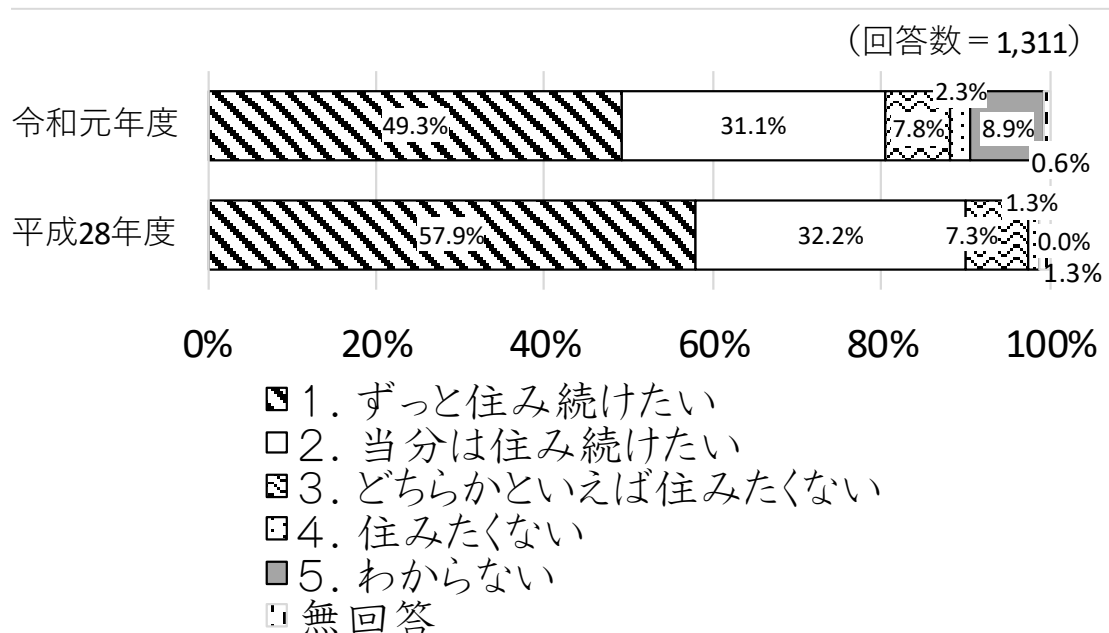
(その他)

- ・何をするにも不便
- ・他人には関係ないという意識がある

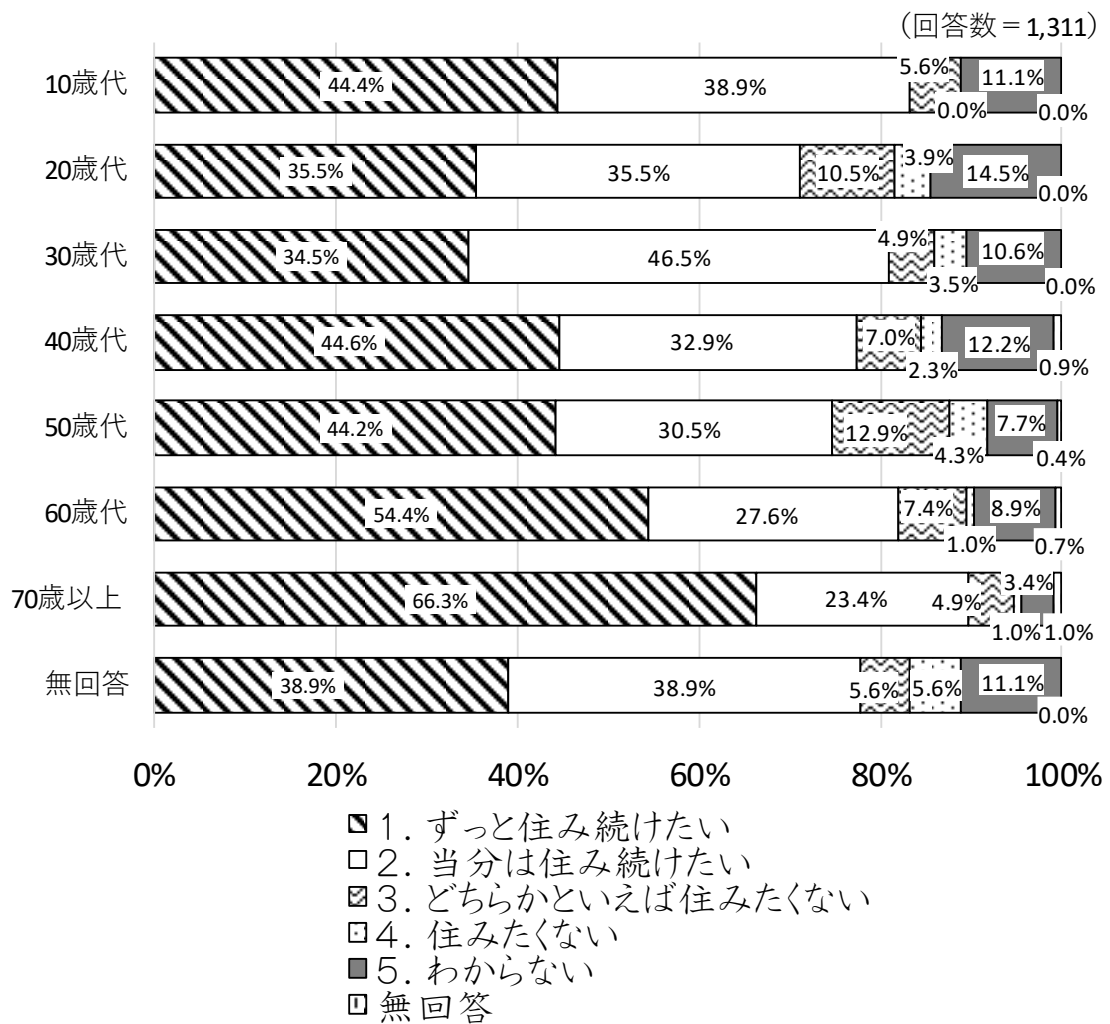
- ・何かするにも近くにない
- ・昔からの慣習なのか他人の家の陰口を言ったり成人した子にどこのだと詮索されて県外に出て行った子がいる。
- ・貧乏人しかいない、景気が悪すぎる
- ・娯楽施設が少ないから
- ・町内会費が高いので、アパートに引っ越ししたい。
- ・思いやりがないと思う。
- ・TBS系のテレビが見れない点
- ・奥羽山脈を削れ
- ・横手市郊外住んでいる（金沢）ので、お宮病院、公共施設（ふるさと村）が離れていて近隣に話が合う友人がほぼいなく、旧友とほぼ活動している。考えが古い。
- ・職場環境
- ・周りの目を気にする土地柄。仲間意識が強く、新しい物を拒否する傾向。
- ・特に旧市内、周辺地域に比べて家賃・物価が高い。
- ・県外からの移住者に冷たい。
- ・前に佐竹知事が言うように秋田県人はよそ者に対してあまりよい考えを持っておらず、こぼむ傾向があり横手市には昔から『横手根性』という言葉があるほど人と人との間には何らかのマイナス要素がついてまわる、それがなくなならない限り横手市秋田県はいずれ消滅すると思う。（大潟村は残るらしいがなぜ大潟村が最後まで残るか・・・）
- ・家賃が給与水準の割に高い。酒提供のない（メインじゃない）飲食店が少ない、偏っている。
- ・近所づきあい、親身になってくれるのはありがたいと思うが、過剰になりがちで、干渉しすぎ。うざったい。
- ・何かと問われるとはっきりと答えられないが、全体的にいろいろな物事が停滞していて変化がない。閉塞感を感じる。
- ・娯楽施設が無くパチンコ店が多い、大学や専門学校が無いいため若い人が少ない
- ・なにかをする時、前向き・建設的に考え、そして物事を進めるというより前例踏襲や足を引っ張る所が多々見られる。
- ・人とのつきあい
- ・以前、大変便利で買物も店内での品物でも豊富で、「十文字町はいいね」とか羨やましがられたものでしたが、現在は、日々の生活が不便で、このような事が、住みにくさに繋がっているのかな?と最近思うようになってきました。
- ・周りの目を気にする土地柄。仲間意識が強く、新しい物を拒否する傾向。

問18 あなたは、これからも横手市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- 前回調査に比べ、「住み続けたい(1・2)」とする割合は低下している。(※同様の設問・選択肢だった平成28年度アンケートとの比較。)
- 「1. 住み続けたい」「2. 当分は住み続けたい」と回答した人は全体の約8割である。(問17においても「1. 住みやすい」「2. どちらかといえば住みやすい」との回答が約8割である。)
- 「5. 分からない」と回答した人が8.9%いる。



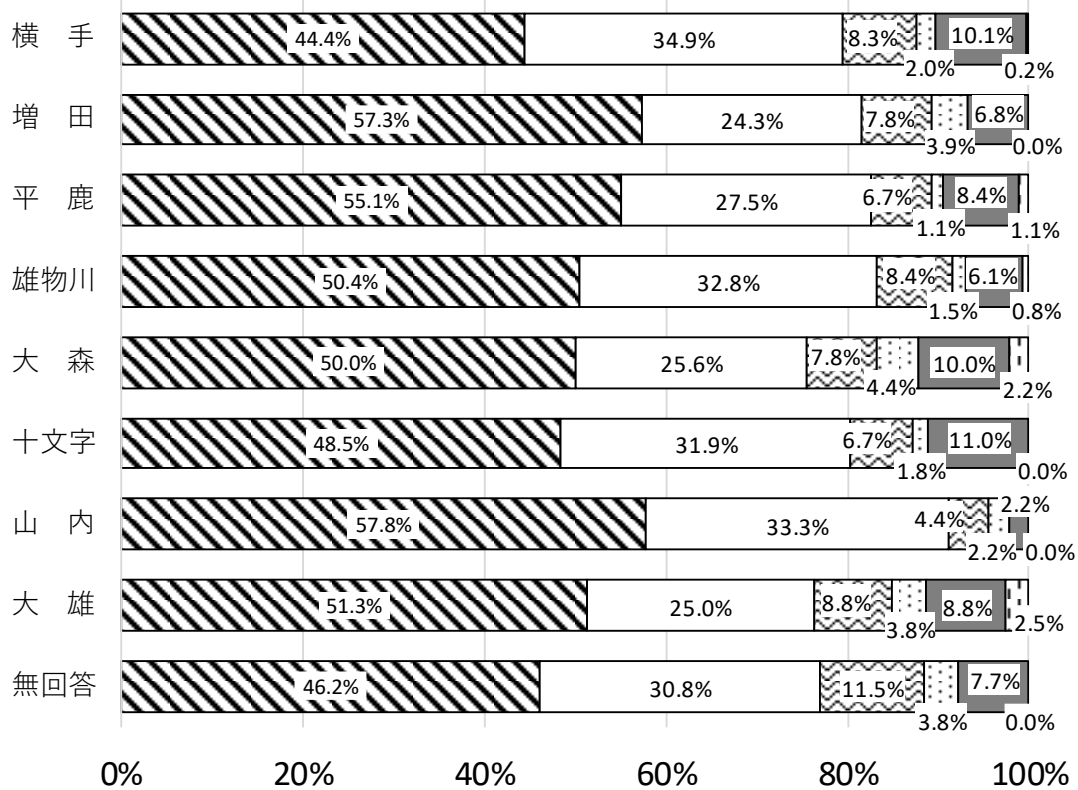
【年代別の回答の割合】



横手市まちづくりアンケート

【地域別の回答の割合】

(回答数 = 1,311)



- 1. ずっと住み続けたい
- 2. 当分は住み続けたい
- ▨ 3. どちらかといえば住みたくない
- 4. 住みたくない
- 5. わからない
- 無回答

問18		1. ずっと住み続けたい		2. 当分は住み続けたい		3. どちらかといえば住みたくない		4. 住みたくない		5. わからない		無回答		総計
性別	男性	303人	51.0%	186人	31.3%	46人	7.7%	8人	1.3%	46人	7.7%	5人	0.8%	594人
	女性	328人	47.7%	214人	31.1%	53人	7.7%	21人	3.1%	69人	10.0%	3人	0.4%	688人
	無回答	15人	51.7%	8人	27.6%	3人	10.3%	1人	3.4%	2人	6.9%	0人	0.0%	29人
	総計	646人	49.3%	408人	31.1%	102人	7.8%	30人	2.3%	117人	8.9%	8人	0.6%	1,311人
年齢	10歳代	8人	44.4%	7人	38.9%	1人	5.6%	0人	0.0%	2人	11.1%	0人	0.0%	18人
	20歳代	27人	35.5%	27人	35.5%	8人	10.5%	3人	3.9%	11人	14.5%	0人	0.0%	76人
	30歳代	49人	34.5%	66人	46.5%	7人	4.9%	5人	3.5%	15人	10.6%	0人	0.0%	142人
	40歳代	95人	44.6%	70人	32.9%	15人	7.0%	5人	2.3%	26人	12.2%	2人	0.9%	213人
	50歳代	103人	44.2%	71人	30.5%	30人	12.9%	10人	4.3%	18人	7.7%	1人	0.4%	233人
	60歳代	221人	54.4%	112人	27.6%	30人	7.4%	4人	1.0%	36人	8.9%	3人	0.7%	406人
	70歳以上	136人	66.3%	48人	23.4%	10人	4.9%	2人	1.0%	7人	3.4%	2人	1.0%	205人
	無回答	7人	38.9%	7人	38.9%	1人	5.6%	1人	5.6%	2人	11.1%	0人	0.0%	18人
総計	646人	49.3%	408人	31.1%	102人	7.8%	30人	2.3%	117人	8.9%	8人	0.6%	1,311人	
地域	横手	220人	44.4%	173人	34.9%	41人	8.3%	10人	2.0%	50人	10.1%	1人	0.2%	495人
	増田	59人	57.3%	25人	24.3%	8人	7.8%	4人	3.9%	7人	6.8%	0人	0.0%	103人
	平鹿	98人	55.1%	49人	27.5%	12人	6.7%	2人	1.1%	15人	8.4%	2人	1.1%	178人
	雄物川	66人	50.4%	43人	32.8%	11人	8.4%	2人	1.5%	8人	6.1%	1人	0.8%	131人
	大森	45人	50.0%	23人	25.6%	7人	7.8%	4人	4.4%	9人	10.0%	2人	2.2%	90人
	十文字	79人	48.5%	52人	31.9%	11人	6.7%	3人	1.8%	18人	11.0%	0人	0.0%	163人
	山内	26人	57.8%	15人	33.3%	2人	4.4%	1人	2.2%	1人	2.2%	0人	0.0%	45人
	大雄	41人	51.3%	20人	25.0%	7人	8.8%	3人	3.8%	7人	8.8%	2人	2.5%	80人
	無回答	12人	46.2%	8人	30.8%	3人	11.5%	1人	3.8%	2人	7.7%	0人	0.0%	26人
総計	646人	49.3%	408人	31.1%	102人	7.8%	30人	2.3%	117人	8.9%	8人	0.6%	1,311人	

8 各分野への「重要度」「満足度」

問19 まちづくりの各分野への「重要度」と「満足度」をお聞きします。
 （「重要度」と「満足度」それぞれに○を1つずつ）

項目	重要度					現在の満足度						
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満	
例) ○○の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
○○○の推進、○○○の支援、○○○の相談（※上の数字は各項目の点数）												

※例えば重要度で「やや重要」に○が付いていれば4点としてカウント。

例えば3人の回答が「やや重要（4）」「あまり重要でない（3）」「重要でない（2）」だったとすれば平均点は「3点」となる。

○ 設問ごとの平均点

項目	重要度	満足度	項目	重要度	満足度
1.児童福祉(子育て支援)の充実	5.18	4.05	18.商業の振興	4.60	3.60
2.保健活動・健康づくりの推進	4.93	4.09	19.工業の振興	4.69	3.69
3.高齢者福祉の充実	5.11	3.85	20.観光の振興	4.64	3.72
4.障がい者(児)福祉の充実	4.90	3.94	21.企業誘致の推進と雇用対策	5.02	3.39
5.低所得者福祉の充実	4.60	3.78	22.雪対策の充実	5.37	3.47
6.地域福祉の向上	4.67	3.89	23.道路網の整備	4.71	3.74
7.学校教育の充実	4.99	3.99	24.公共交通機関の利便性の向上	4.94	3.43
8.教育環境の整備	4.89	4.06	25.市街地等各拠点地区の整備	4.31	3.83
9.スポーツ・レクリエーションの振興	4.15	3.93	26.上水道の整備	5.01	4.05
10.生涯学習の推進	4.13	3.97	27.下水道等の整備	4.83	3.87
11.地域文化の振興	3.95	4.00	28.公園・緑地の整備	4.40	3.84
12.交通安全・防犯対策の推進	4.79	4.06	29.市民との協働・活動支援	4.26	3.83
13.自然環境と快適な生活環境の保全	4.71	3.94	30.男女共同参画社会づくりの推進	4.32	3.79
14.消防・防災体制の充実	4.92	4.18	31.広報・広聴の推進	4.34	3.94
15.環境保全政策の充実	4.84	4.24	32.他自治体等との連携・交流の推進	4.01	3.89
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	4.53	4.02	33.成果重視の行政運営の確立	4.47	3.59
17.農林業の振興	4.71	3.83	34.市職員の資質向上	4.79	3.50
			35.横手市の取り組み全般の満足度		3.73

横手市まちづくりアンケート

○ 各項目の回答数

【重要度】

項目	6.非常に重要	5.重要	4.やや重要	3.あまり重要でない	2.重要でない	1.全く重要でない	0.無回答	回答数合計	ウエイト合計	ウエイト平均
1.児童福祉(子育て支援)の充実	480	561	141	25	12	7	85	1,311	6,355	5.18
2.保健活動・健康づくりの推進	301	620	266	36	10	5	73	1,311	6,103	4.93
3.高齢者福祉の充実	427	582	207	24	6	5	60	1,311	6,389	5.11
4.障がい者(児)福祉の充実	307	547	321	38	7	4	87	1,311	5,993	4.90
5.低所得者福祉の充実	234	449	406	104	22	10	86	1,311	5,639	4.60
6.地域福祉の向上	213	527	388	79	16	5	83	1,311	5,739	4.67
7.学校教育の充実	370	553	243	50	6	6	83	1,311	6,125	4.99
8.教育環境の整備	317	557	290	58	9	4	76	1,311	6,043	4.89
9.スポーツ・レクリエーションの振興	119	306	517	251	34	13	71	1,311	5,146	4.15
10.生涯学習の推進	83	309	559	246	26	7	81	1,311	5,076	4.13
11.地域文化の振興	79	242	510	338	41	12	89	1,311	4,832	3.95
12.交通安全・防犯対策の推進	292	497	369	70	9	3	71	1,311	5,944	4.79
13.自然環境と快適な生活環境の保全	232	504	417	64	10	2	82	1,311	5,794	4.71
14.消防・防災体制の充実	322	550	318	45	4	1	71	1,311	6,098	4.92
15.環境保全政策の充実	259	586	340	49	4	1	72	1,311	6,000	4.84
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	201	425	464	130	17	3	71	1,311	5,614	4.53
17.農林業の振興	255	471	415	79	9	3	79	1,311	5,803	4.71
18.商業の振興	235	438	422	119	17	4	76	1,311	5,683	4.60
19.工業の振興	238	496	393	90	11	5	78	1,311	5,777	4.69
20.観光の振興	203	511	422	91	10	4	70	1,311	5,758	4.64
21.企業誘致の推進と雇用対策	375	562	256	39	4	1	74	1,311	6,210	5.02
22.雪対策の充実	627	501	118	16	2	2	45	1,311	6,793	5.37
23.道路網の整備	248	511	383	88	11	3	67	1,311	5,864	4.71
24.公共交通機関の利便性の向上	359	536	297	45	10	4	60	1,311	6,181	4.94
25.市街地等各拠点地区の整備	150	341	528	179	24	12	77	1,311	5,314	4.31
26.上水道の整備	395	530	284	39	2	3	58	1,311	6,280	5.01
27.下水道等の整備	301	528	342	56	11	5	68	1,311	6,009	4.83
28.公園・緑地の整備	152	392	548	140	14	8	57	1,311	5,520	4.40
29.市民との協働・活動支援	114	376	529	195	27	11	59	1,311	5,330	4.26
30.男女共同参画社会づくりの推進	134	387	506	173	24	11	76	1,311	5,341	4.32
31.広報・広聴の推進	120	398	539	160	17	8	69	1,311	5,388	4.34
32.他自治体等との連携・交流の推進	88	275	520	281	45	22	80	1,311	4,938	4.01
33.成果重視の行政運営の確立	168	432	450	136	18	7	100	1,311	5,419	4.47
34.市職員の資質向上	327	469	338	76	19	11	71	1,311	5,936	4.79

平均 4.67
最大 5.37
最小 3.95

【満足度】

項目	6.非常に満足	5.満足	4.やや満足	3.やや不満	2.不満	1.非常に不満	0.無回答	回答数合計	ウエイト合計	ウエイト平均
1.児童福祉(子育て支援)の充実	30	318	583	181	52	10	137	1,311	4,759	4.05
2.保健活動・健康づくりの推進	26	322	647	179	34	5	98	1,311	4,964	4.09
3.高齢者福祉の充実	28	226	583	296	57	19	102	1,311	4,651	3.85
4.障がい者(児)福祉の充実	34	209	661	210	49	13	135	1,311	4,634	3.94
5.低所得者福祉の充実	18	191	604	268	66	27	137	1,311	4,442	3.78
6.地域福祉の向上	22	187	681	241	39	13	128	1,311	4,605	3.89
7.学校教育の充実	31	251	638	190	53	11	137	1,311	4,680	3.99
8.教育環境の整備	31	300	618	178	42	11	131	1,311	4,787	4.06
9.スポーツ・レクリエーションの振興	22	248	636	217	51	20	117	1,311	4,689	3.93
10.生涯学習の推進	13	239	673	209	36	8	133	1,311	4,672	3.97
11.地域文化の振興	25	228	695	187	34	6	136	1,311	4,705	4.00
12.交通安全・防犯対策の推進	36	265	674	186	32	4	114	1,311	4,863	4.06
13.自然環境と快適な生活環境の保全	24	239	627	248	46	7	120	1,311	4,690	3.94
14.消防・防災体制の充実	39	344	647	136	25	5	115	1,311	5,005	4.18
15.環境保全政策の充実	59	383	603	130	30	6	100	1,311	5,137	4.24
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	25	264	665	196	33	9	119	1,311	4,793	4.02
17.農林業の振興	22	192	610	288	64	8	127	1,311	4,532	3.83
18.商業の振興	17	133	537	386	99	20	119	1,311	4,291	3.60
19.工業の振興	15	149	584	335	77	18	133	1,311	4,348	3.69
20.観光の振興	21	150	612	327	77	14	110	1,311	4,473	3.72
21.企業誘致の推進と雇用対策	12	99	466	434	149	39	112	1,311	4,070	3.39
22.雪対策の充実	37	162	452	345	180	64	71	1,311	4,299	3.47
23.道路網の整備	27	192	579	290	89	32	102	1,311	4,518	3.74
24.公共交通機関の利便性の向上	21	121	490	381	147	59	92	1,311	4,187	3.43
25.市街地等各拠点地区の整備	21	178	671	246	60	17	118	1,311	4,575	3.83
26.上水道の整備	38	303	633	172	47	19	99	1,311	4,904	4.05
27.下水道等の整備	33	248	589	241	69	32	99	1,311	4,687	3.87
28.公園・緑地の整備	18	212	623	299	49	15	95	1,311	4,670	3.84
29.市民との協働・活動支援	17	187	659	280	51	16	101	1,311	4,631	3.83
30.男女共同参画社会づくりの推進	9	140	689	280	52	7	134	1,311	4,461	3.79
31.広報・広聴の推進	22	215	686	220	37	11	120	1,311	4,696	3.94
32.他自治体等との連携・交流の推進	16	178	711	230	35	12	129	1,311	4,602	3.89
33.成果重視の行政運営の確立	10	111	588	334	104	23	141	1,311	4,200	3.59
34.市職員の資質向上	14	139	530	328	139	56	105	1,311	4,217	3.50
35.横手市の取り組み全般の満足度	19	165	651	292	80	29	75	1,311	4,608	3.73

平均 3.85
最大 4.24
最小 3.39

【定義】ウエイト平均(重要度・満足度) = 「非常に重要(満足)」×6 + 「重要(満足)」×5 + …… + 「全く重要でない(非常に不満)」×1
「無回答」を除く有効回答者数

横手市まちづくりアンケート

○ 各項目の回答数の構成割合（無回答の回答数を除く）

【重要度】

項目	6.非常に重要	5.重要	4.やや重要	3.あまり重要でない	2.重要でない	1.全く重要でない	合計	「6」「5」割合
1.児童福祉(子育て支援)の充実	39.2%	45.8%	11.5%	2.0%	1.0%	0.6%	100.0%	84.9%
2.保健活動・健康づくりの推進	24.3%	50.1%	21.5%	2.9%	0.8%	0.4%	100.0%	74.4%
3.高齢者福祉の充実	34.1%	46.5%	16.5%	1.9%	0.5%	0.4%	100.0%	80.7%
4.障がい者(児)福祉の充実	25.1%	44.7%	26.2%	3.1%	0.6%	0.3%	100.0%	69.8%
5.低所得者福祉の充実	19.1%	36.7%	33.1%	8.5%	1.8%	0.8%	100.0%	55.8%
6.地域福祉の向上	17.3%	42.9%	31.6%	6.4%	1.3%	0.4%	100.0%	60.3%
7.学校教育の充実	30.1%	45.0%	19.8%	4.1%	0.5%	0.5%	100.0%	75.2%
8.教育環境の整備	25.7%	45.1%	23.5%	4.7%	0.7%	0.3%	100.0%	70.8%
9.スポーツ・レクリエーションの振興	9.6%	24.7%	41.7%	20.2%	2.7%	1.0%	100.0%	34.3%
10.生涯学習の推進	6.7%	25.1%	45.4%	20.0%	2.1%	0.6%	100.0%	31.9%
11.地域文化の振興	6.5%	19.8%	41.7%	27.7%	3.4%	1.0%	100.0%	26.3%
12.交通安全・防犯対策の推進	23.5%	40.1%	29.8%	5.6%	0.7%	0.2%	100.0%	63.6%
13.自然環境と快適な生活環境の保全	18.9%	41.0%	33.9%	5.2%	0.8%	0.2%	100.0%	59.9%
14.消防・防災体制の充実	26.0%	44.4%	25.6%	3.6%	0.3%	0.1%	100.0%	70.3%
15.環境保全政策の充実	20.9%	47.3%	27.4%	4.0%	0.3%	0.1%	100.0%	68.2%
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	16.2%	34.3%	37.4%	10.5%	1.4%	0.2%	100.0%	50.5%
17.農林業の振興	20.7%	38.2%	33.7%	6.4%	0.7%	0.2%	100.0%	58.9%
18.商業の振興	19.0%	35.5%	34.2%	9.6%	1.4%	0.3%	100.0%	54.5%
19.工業の振興	19.3%	40.2%	31.9%	7.3%	0.9%	0.4%	100.0%	59.5%
20.観光の振興	16.4%	41.2%	34.0%	7.3%	0.8%	0.3%	100.0%	57.5%
21.企業誘致の推進と雇用対策	30.3%	45.4%	20.7%	3.2%	0.3%	0.1%	100.0%	75.7%
22.雪対策の充実	49.5%	39.6%	9.3%	1.3%	0.2%	0.2%	100.0%	89.1%
23.道路網の整備	19.9%	41.1%	30.8%	7.1%	0.9%	0.2%	100.0%	61.0%
24.公共交通機関の利便性の向上	28.7%	42.8%	23.7%	3.6%	0.8%	0.3%	100.0%	71.5%
25.市街地等各拠点地区の整備	12.2%	27.6%	42.8%	14.5%	1.9%	1.0%	100.0%	39.8%
26.上水道の整備	31.5%	42.3%	22.7%	3.1%	0.2%	0.2%	100.0%	73.8%
27.下水道等の整備	24.2%	42.5%	27.5%	4.5%	0.9%	0.4%	100.0%	66.7%
28.公園・緑地の整備	12.1%	31.3%	43.7%	11.2%	1.1%	0.6%	100.0%	43.4%
29.市民との協働・活動支援	9.1%	30.0%	42.3%	15.6%	2.2%	0.9%	100.0%	39.1%
30.男女共同参画社会づくりの推進	10.9%	31.3%	41.0%	14.0%	1.9%	0.9%	100.0%	42.2%
31.広報・広聴の推進	9.7%	32.0%	43.4%	12.9%	1.4%	0.6%	100.0%	41.7%
32.他自治体等との連携・交流の推進	7.1%	22.3%	42.2%	22.8%	3.7%	1.8%	100.0%	29.5%
33.成果重視の行政運営の確立	13.9%	35.7%	37.2%	11.2%	1.5%	0.6%	100.0%	49.5%
34.市職員の資質向上	26.4%	37.8%	27.3%	6.1%	1.5%	0.9%	100.0%	64.2%

【満足度】

項目	6.非常に満足	5.満足	4.やや満足	3.やや不満	2.不満	1.非常に不満	ウエイト合計	ウエイト平均
1.児童福祉(子育て支援)の充実	2.6%	27.1%	49.7%	15.4%	4.4%	0.9%	100.0%	29.6%
2.保健活動・健康づくりの推進	2.1%	26.5%	53.3%	14.8%	2.8%	0.4%	100.0%	28.7%
3.高齢者福祉の充実	2.3%	18.7%	48.2%	24.5%	4.7%	1.6%	100.0%	21.0%
4.障がい者(児)福祉の充実	2.9%	17.8%	56.2%	17.9%	4.2%	1.1%	100.0%	20.7%
5.低所得者福祉の充実	1.5%	16.3%	51.4%	22.8%	5.6%	2.3%	100.0%	17.8%
6.地域福祉の向上	1.9%	15.8%	57.6%	20.4%	3.3%	1.1%	100.0%	17.7%
7.学校教育の充実	2.6%	21.4%	54.3%	16.2%	4.5%	0.9%	100.0%	24.0%
8.教育環境の整備	2.6%	25.4%	52.4%	15.1%	3.6%	0.9%	100.0%	28.1%
9.スポーツ・レクリエーションの振興	1.8%	20.8%	53.3%	18.2%	4.3%	1.7%	100.0%	22.6%
10.生涯学習の推進	1.1%	20.3%	57.1%	17.7%	3.1%	0.7%	100.0%	21.4%
11.地域文化の振興	2.1%	19.4%	59.1%	15.9%	2.9%	0.5%	100.0%	21.5%
12.交通安全・防犯対策の推進	3.0%	22.1%	56.3%	15.5%	2.7%	0.3%	100.0%	25.1%
13.自然環境と快適な生活環境の保全	2.0%	20.1%	52.6%	20.8%	3.9%	0.6%	100.0%	22.1%
14.消防・防災体制の充実	3.3%	28.8%	54.1%	11.4%	2.1%	0.4%	100.0%	32.0%
15.環境保全政策の充実	4.9%	31.6%	49.8%	10.7%	2.5%	0.5%	100.0%	36.5%
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	2.1%	22.1%	55.8%	16.4%	2.8%	0.8%	100.0%	24.2%
17.農林業の振興	1.9%	16.2%	51.5%	24.3%	5.4%	0.7%	100.0%	18.1%
18.商業の振興	1.4%	11.2%	45.1%	32.4%	8.3%	1.7%	100.0%	12.6%
19.工業の振興	1.3%	12.6%	49.6%	28.4%	6.5%	1.5%	100.0%	13.9%
20.観光の振興	1.7%	12.5%	51.0%	27.2%	6.4%	1.2%	100.0%	14.2%
21.企業誘致の推進と雇用対策	1.0%	8.3%	38.9%	36.2%	12.4%	3.3%	100.0%	9.3%
22.雪対策の充実	3.0%	13.1%	36.5%	27.8%	14.5%	5.2%	100.0%	16.0%
23.道路網の整備	2.2%	15.9%	47.9%	24.0%	7.4%	2.6%	100.0%	18.1%
24.公共交通機関の利便性の向上	1.7%	9.9%	40.2%	31.3%	12.1%	4.8%	100.0%	11.6%
25.市街地等各拠点地区の整備	1.8%	14.9%	56.2%	20.6%	5.0%	1.4%	100.0%	16.7%
26.上水道の整備	3.1%	25.0%	52.2%	14.2%	3.9%	1.6%	100.0%	28.1%
27.下水道等の整備	2.7%	20.5%	48.6%	19.9%	5.7%	2.6%	100.0%	23.2%
28.公園・緑地の整備	1.5%	17.4%	51.2%	24.6%	4.0%	1.2%	100.0%	18.9%
29.市民との協働・活動支援	1.4%	15.5%	54.5%	23.1%	4.2%	1.3%	100.0%	16.9%
30.男女共同参画社会づくりの推進	0.8%	11.9%	58.5%	23.8%	4.4%	0.6%	100.0%	12.7%
31.広報・広聴の推進	1.8%	18.1%	57.6%	18.5%	3.1%	0.9%	100.0%	19.9%
32.他自治体等との連携・交流の推進	1.4%	15.1%	60.2%	19.5%	3.0%	1.0%	100.0%	16.4%
33.成果重視の行政運営の確立	0.9%	9.5%	50.3%	28.5%	8.9%	2.0%	100.0%	10.3%
34.市職員の資質向上	1.2%	11.5%	43.9%	27.2%	11.5%	4.6%	100.0%	12.7%
35.横手市の取り組み全般の満足度	1.5%	13.3%	52.7%	23.6%	6.5%	2.3%	100.0%	14.9%

【重要度】

設問を「第2次横手市総合計画」の施策に対応させ、点数の高い順に並べました。

「26 上水道整備」と「27 下水道等の整備」は、施策「5-5 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理」にまとめています。(点数は2項目の平均)

施策番号	施策名称	重要度	順位
5-1	雪国の快適な暮らしの実現	5.37	1
1-1	子育て支援の充実	5.18	2
1-3	健康でいきいきとした高齢社会の推進	5.11	3
4-5	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	5.02	4
2-1	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	4.99	5
5-3	市民が利用しやすい公共交通の充実	4.94	6
1-2	健康な心と体づくりの推進	4.93	7
5-5	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理	4.92	8
3-3	災害に強いまちづくりの推進	4.92	9
1-4	障がい者(児)福祉の充実	4.90	10
2-2	安全で安心して学べる教育環境の整備	4.89	11
3-4	循環型社会の一層の推進	4.84	12
3-1	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	4.79	13
7-3	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	4.79	14
3-2	美しい自然環境と快適な生活環境の保全	4.71	15
5-2	快適な移動空間の実現	4.71	16
4-1	魅力ある農林業の振興	4.71	17
4-3	活力ある工業の振興	4.69	18
1-6	福祉を支える人材の確保と育成	4.67	19
4-4	観光・物産資源の発掘と発信	4.64	20
1-5	低所得者福祉の充実	4.60	21
4-2	活気ある商業の振興	4.60	22
3-5	エネルギーの地産地消の推進	4.53	23
7-1	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立	4.47	24
5-6	市民がくつろげる公共空間の整備	4.40	25
6-3	情報を共有する環境の整備	4.34	26
6-2	男女が尊重しあう社会づくり	4.32	27
5-4	地域拠点整備による市街地の活性化	4.31	28
6-1	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	4.26	29
2-3	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	4.15	30
2-4	活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進	4.13	31
6-4	市内外との交流連携の推進	4.01	32
2-5	よこての伝統文化の継承と再発見	3.95	33

【満足度】

設問を「第2次横手市総合計画」の施策に対応させ、点数の低い順に並べました。

「26 上水道整備」と「27 下水道等の整備」は、施策「5-5 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理」にまとめています。(点数は2項目の平均)

施策番号	施策名称	満足度	順位
4-5	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	3.39	33
5-3	市民が利用しやすい公共交通の充実	3.43	32
5-1	雪国の快適な暮らしの実現	3.47	31
7-3	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	3.50	30
7-1	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立	3.59	29
4-2	活気ある商業の振興	3.60	28
4-3	活力ある工業の振興	3.69	27
4-4	観光・物産資源の発掘と発信	3.72	26
5-2	快適な移動空間の実現	3.74	25
1-5	低所得者福祉の充実	3.78	24
6-2	男女が尊重しあう社会づくり	3.79	23
6-1	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	3.83	22
4-1	魅力ある農林業の振興	3.83	21
5-4	地域拠点整備による市街地の活性化	3.83	20
5-6	市民がくつろげる公共空間の整備	3.84	19
1-3	健康でいきいきとした高齢社会の推進	3.85	18
1-6	福祉を支える人材の確保と育成	3.89	17
6-4	市内外との交流連携の推進	3.89	16
2-3	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	3.93	15
3-2	美しい自然環境と快適な生活環境の保全	3.94	14
1-4	障がい者(児)福祉の充実	3.94	13
6-3	情報を共有する環境の整備	3.94	12
5-5	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理	3.96	11
2-4	活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進	3.97	10
2-1	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	3.99	9
2-5	よこての伝統文化の継承と再発見	4.00	8
3-5	エネルギーの地産地消の推進	4.02	7
1-1	子育て支援の充実	4.05	6
2-2	安全で安心して学べる教育環境の整備	4.06	5
3-1	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	4.06	4
1-2	健康な心と体づくりの推進	4.09	3
3-3	災害に強いまちづくりの推進	4.18	2
3-4	循環型社会の一層の推進	4.24	1

重要度・満足度の結果を基に、第2次横手市総合計画の施策の方向性について、4つの領域に分けた散布図に落とし込みます。

低-----重要度-----高

領域Ⅲ	領域Ⅰ
領域Ⅳ	領域Ⅱ

高
|
満足度
|
低

- 領域Ⅰ・・・現状を維持しつつ、コスト削減を目指す
- 領域Ⅱ・・・重点的に満足度の向上を目指す
- 領域Ⅲ・・・満足度を維持しつつ、コスト削減を図る
- 領域Ⅳ・・・行政の関わり方も含めた見直しを
しつつ、成果の向上を目指す

(参考) 第2次横手市総合計画の施策一覧

政策1 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
【健康福祉】

- 【施策 1-1】子育て支援の充実
- 【施策 1-2】健康な心と体づくりの推進
- 【施策 1-3】健康でいきいきとした高齢社会の推進
- 【施策 1-4】障がい者（児）福祉の充実
- 【施策 1-5】低所得者福祉の充実
- 【施策 1-6】福祉を支える人材の確保と育成

政策2 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます
【教育文化】

- 【施策 2-1】横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
- 【施策 2-2】安全で安心して学べる教育環境の整備
- 【施策 2-3】元気なまちを築く生涯スポーツの促進
- 【施策 2-4】活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進
- 【施策 2-5】よこての伝統文化の継承と再発見

政策3 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
【生活環境】

- 【施策 3-1】安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
- 【施策 3-2】美しい自然環境と快適な生活環境の保全
- 【施策 3-3】災害に強いまちづくりの推進
- 【施策 3-4】循環型社会の一層の推進
- 【施策 3-5】エネルギーの地産地消の推進

政策4 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
【産業振興】

- 【施策 4-1】魅力ある農林業の振興
- 【施策 4-2】活気ある商業の振興
- 【施策 4-3】活力ある工業の振興
- 【施策 4-4】観光・物産資源の発掘と発信
- 【施策 4-5】企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

政策5 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
【建設交通】

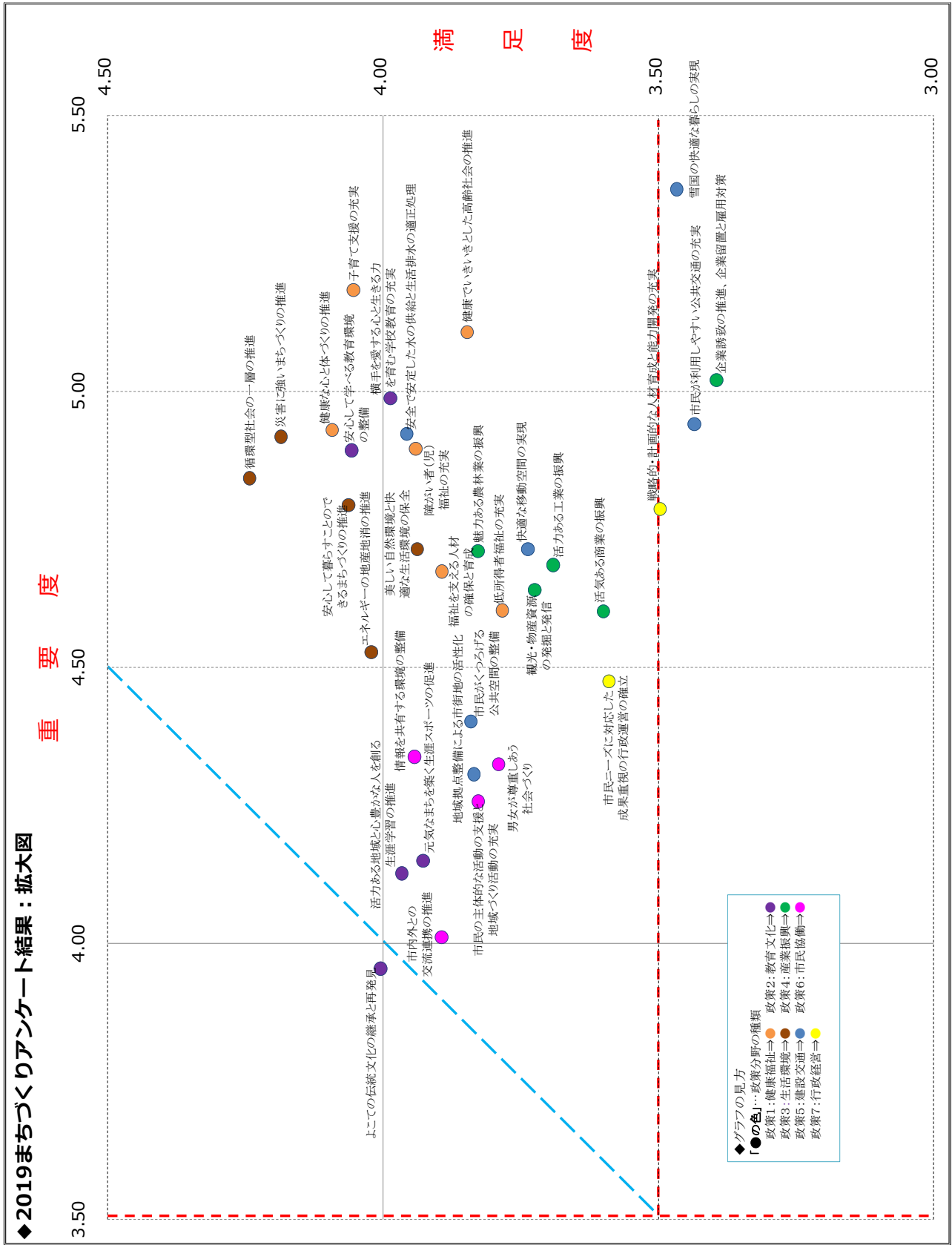
- 【施策 5-1】雪国の快適な暮らしの実現
- 【施策 5-2】快適な移動空間の実現
- 【施策 5-3】市民が利用しやすい公共交通の充実
- 【施策 5-4】地域拠点整備による市街地の活性化
- 【施策 5-5】安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
- 【施策 5-6】市民がくつろげる公共空間の整備

政策6 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
【市民協働】

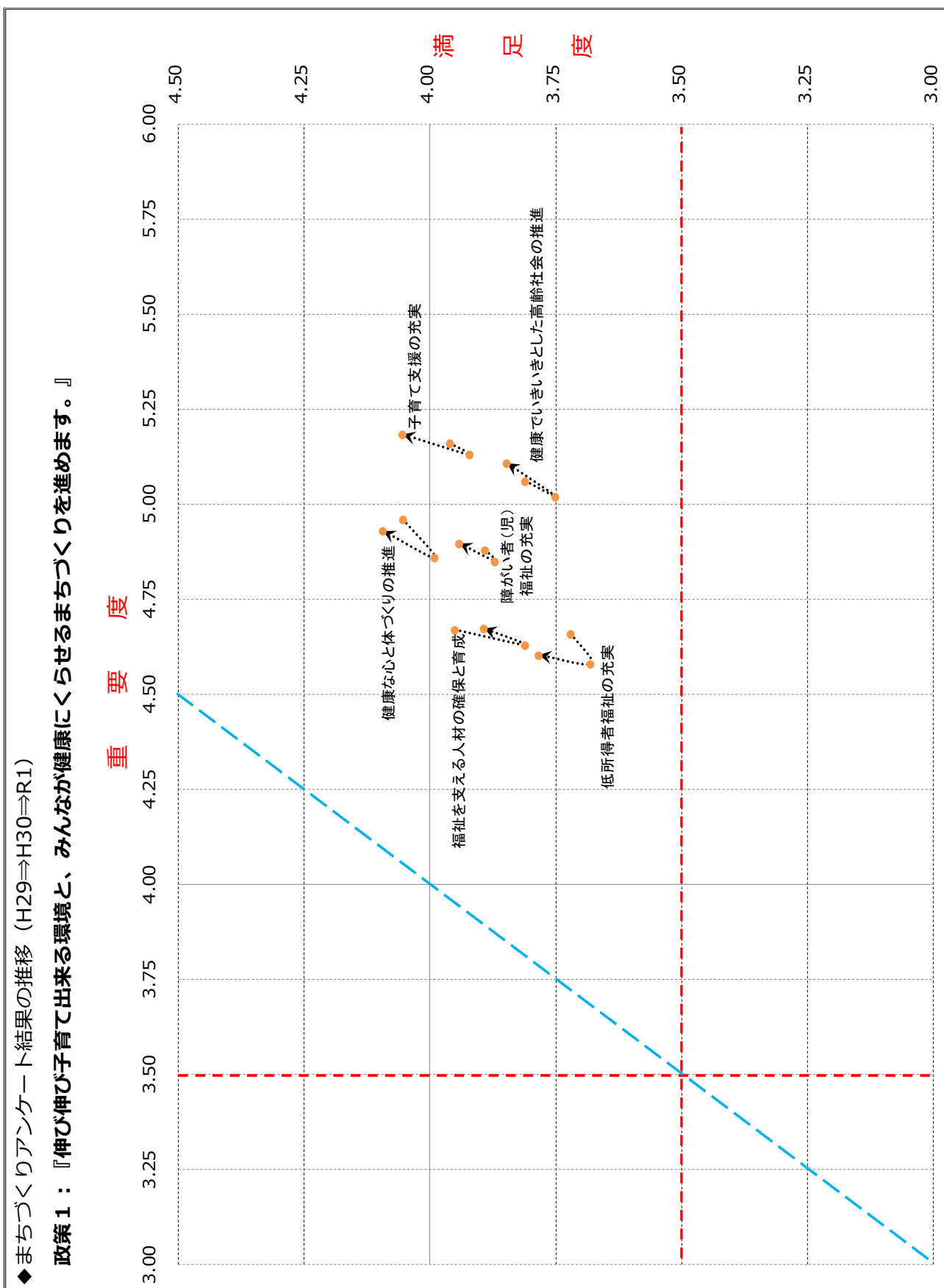
- 【施策 6-1】市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
- 【施策 6-2】男女が尊重しあう社会づくり
- 【施策 6-3】情報を共有する環境の整備
- 【施策 6-4】市内外との交流連携の推進

政策7 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
【行政経営】

- 【施策 7-1】市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立
- 【施策 7-2】財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
- 【施策 7-3】戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実

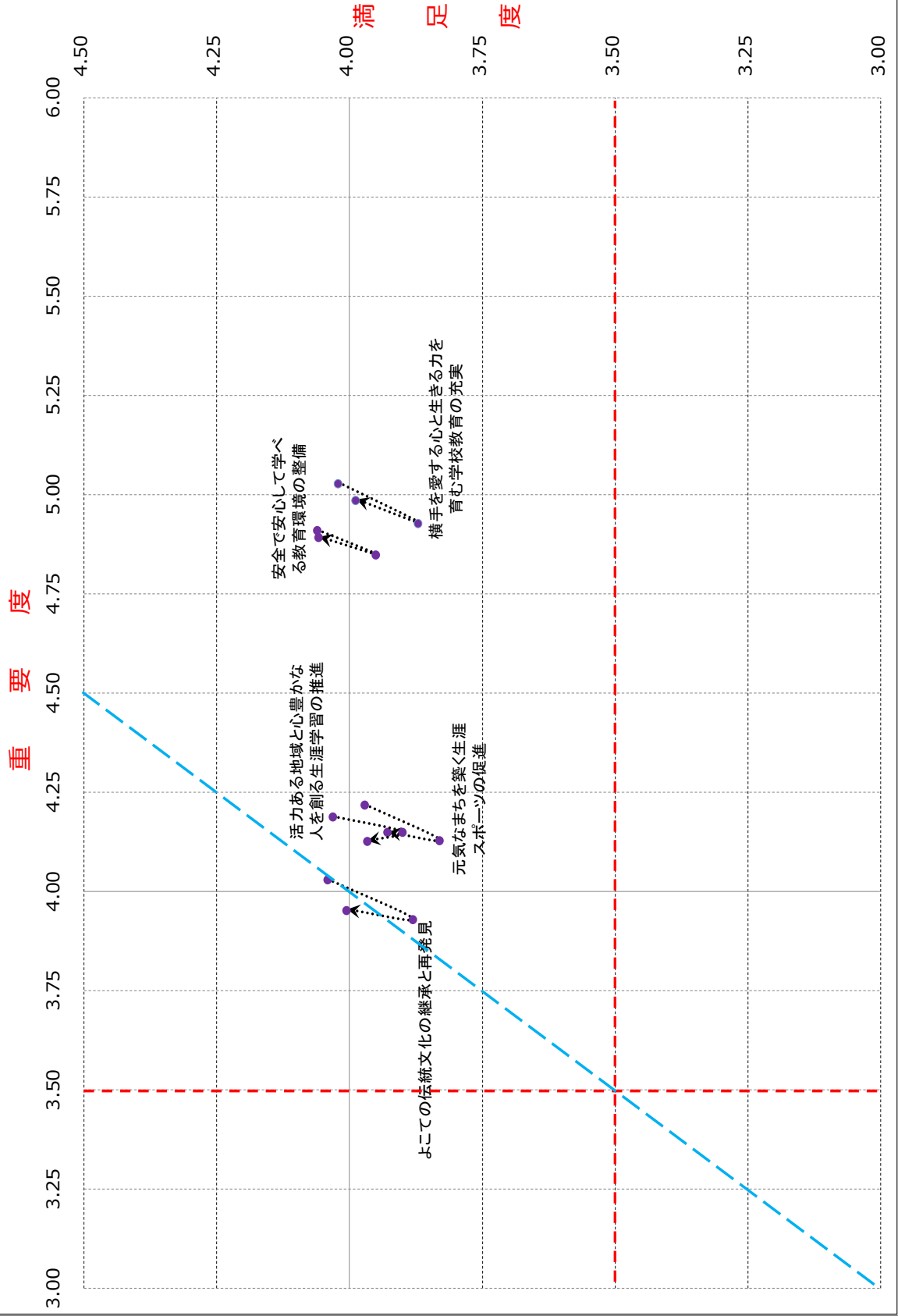


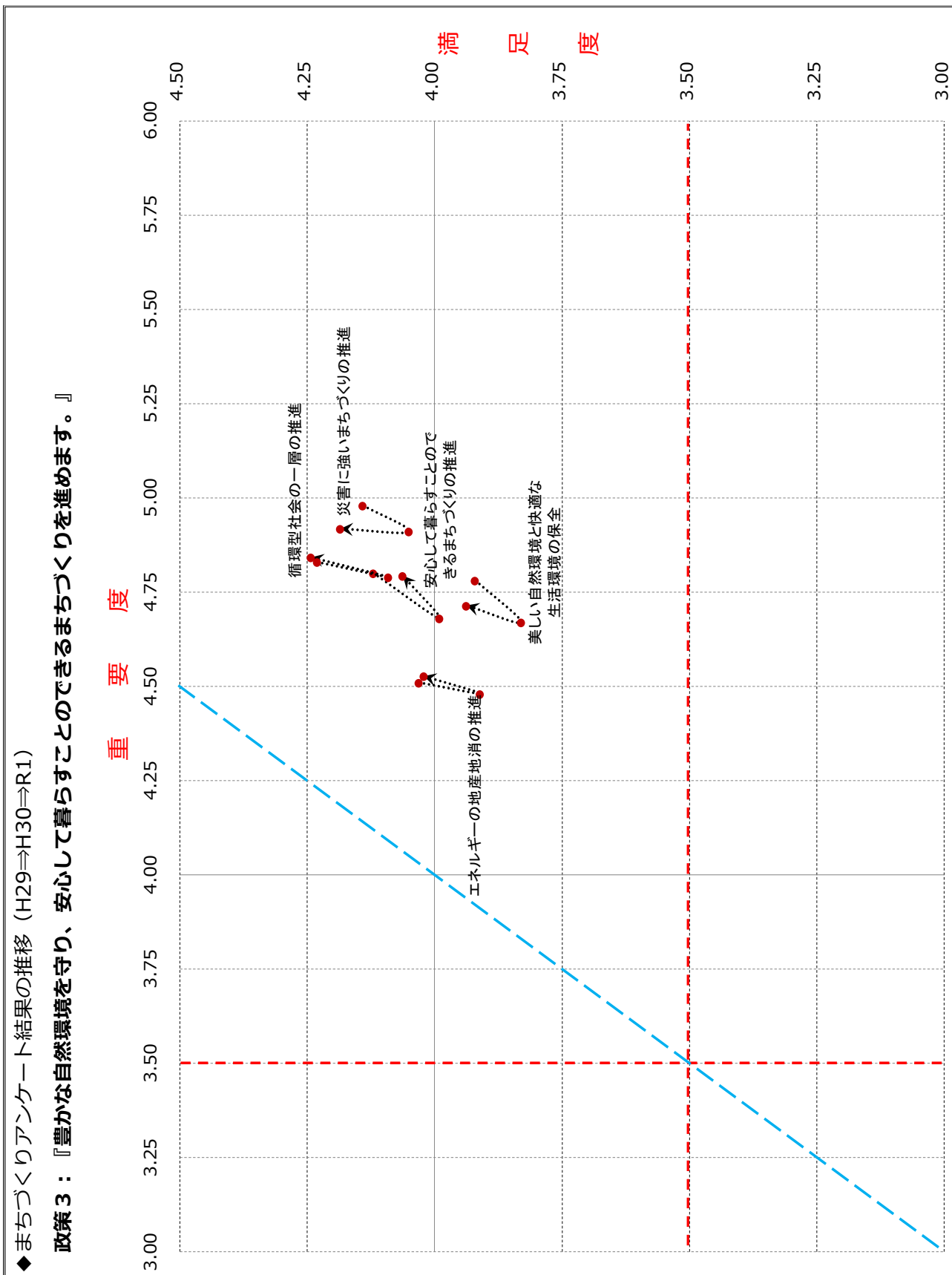
※「領域Ⅲ」と「領域Ⅳ」に該当する施策はありません。

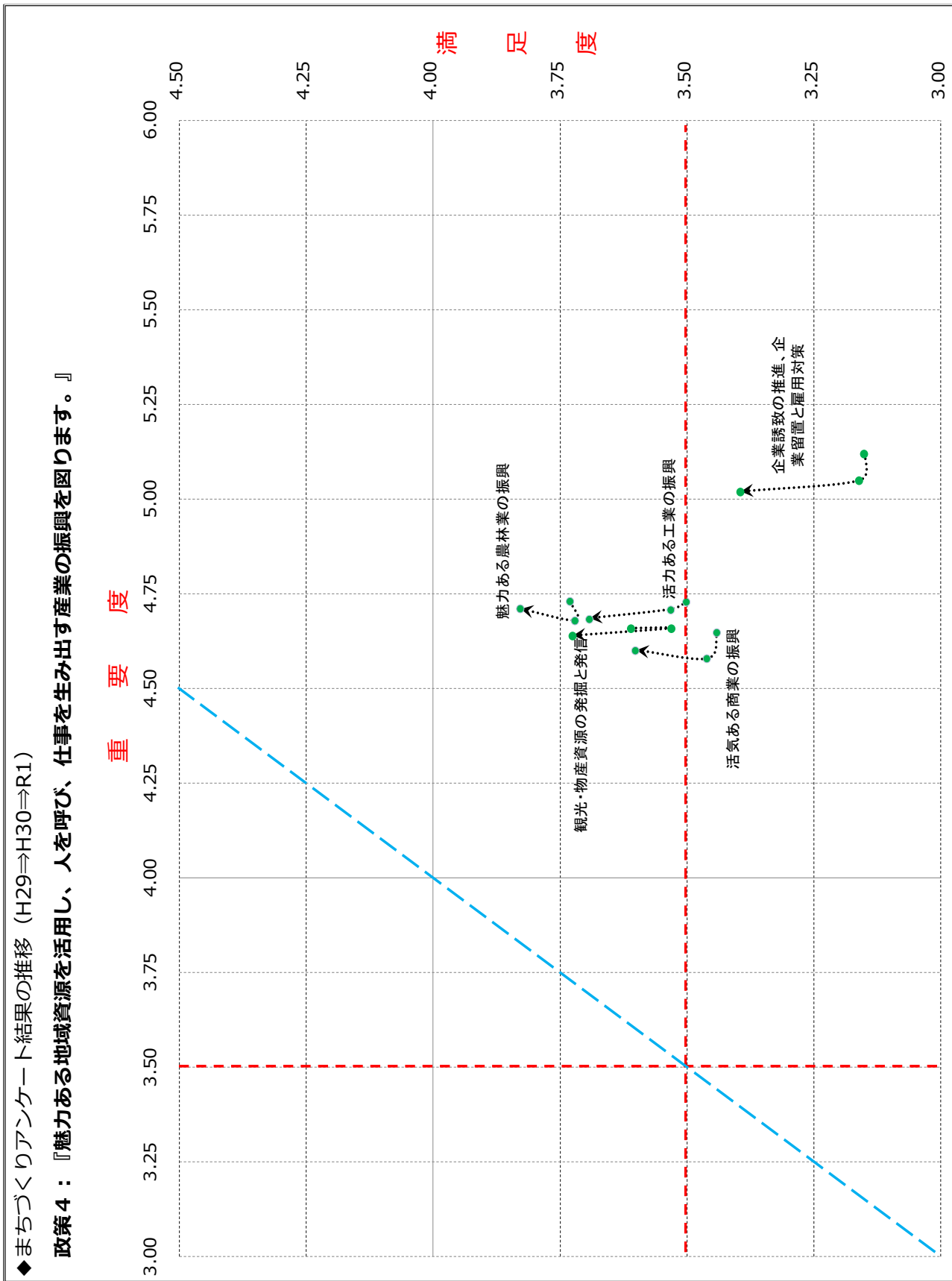


◆まちづくりアンケート結果の推移 (H29⇒H30⇒R1)

政策2：『学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます。』

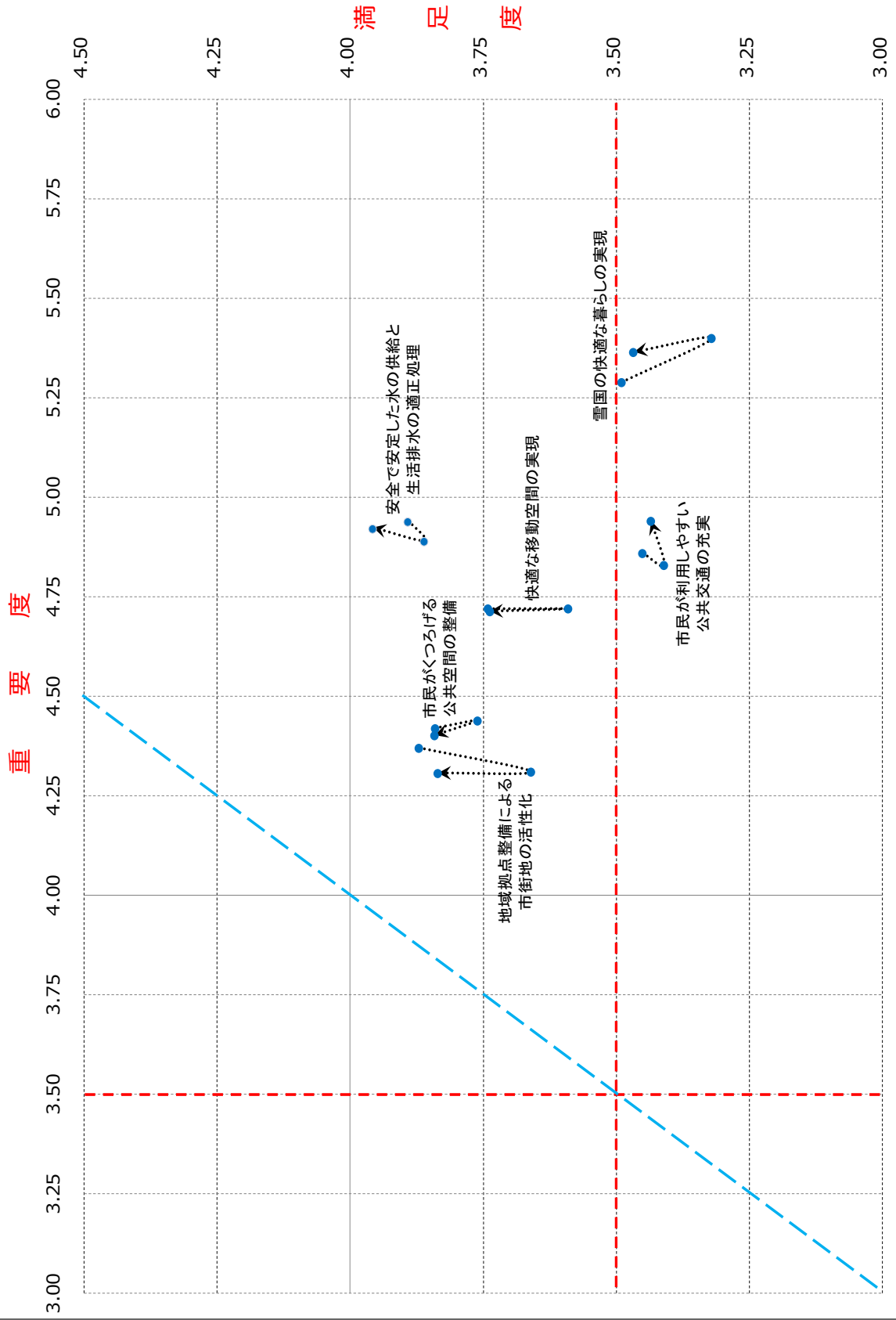






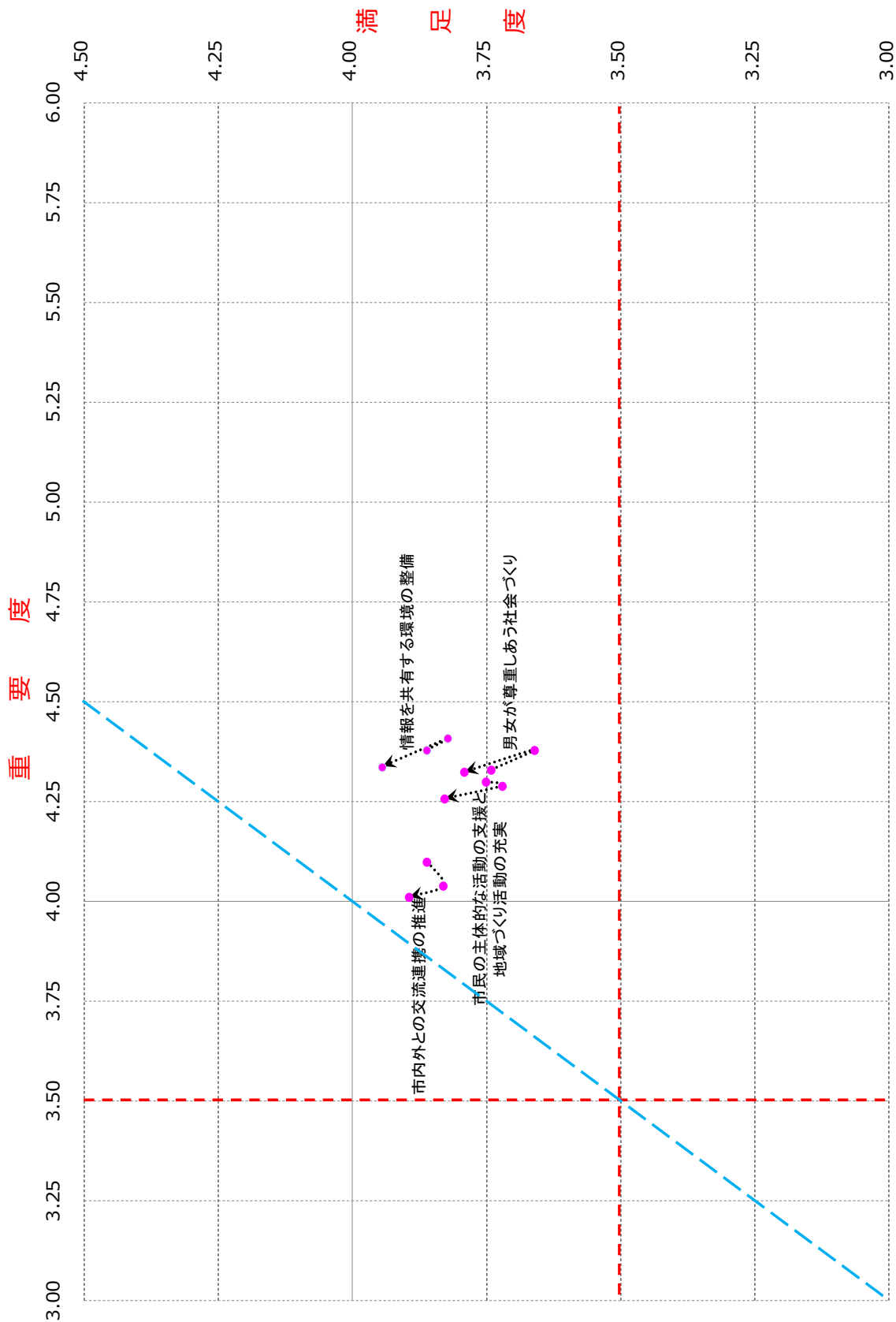
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H29⇒H30⇒R1)

政策5：『暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます。』



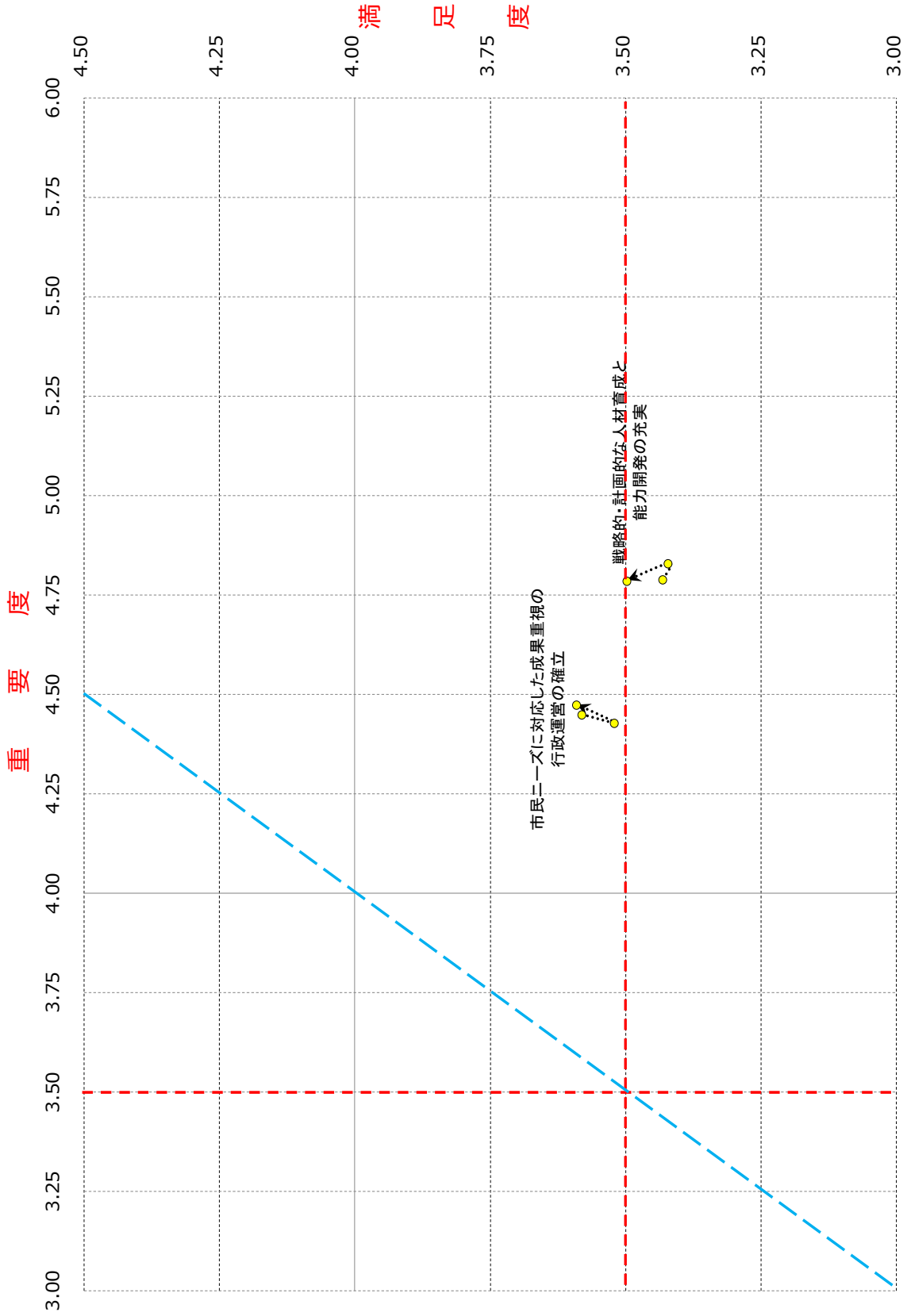
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H29⇒H30⇒R1)

政策6：『やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます。』



◆まちづくりアンケート結果の推移 (H29⇒H30⇒R1)

政策7：『横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます。』



9 自由記載欄で寄せられたご意見等

372人の方から、延べ458件のご意見等を頂戴しました。第2次横手市総合計画の関連施策別に大まかに分類して、原文のまま記載しています。（ご意見のない施策分野もあります。）

また、特定の個人や団体を誹謗中傷するものや判読が難しいもの、誤解を与える可能性があると思われるものなどについては公開を控えております。

（1-1 子育て支援の充実）

○ 保育料の無償化は大変助かりますが、保育士不足で預ける親としては、不安もあります。民営化と移行するのは良いのですが、市として保育園、こども園の園児をよく見て頂けると安心です。幼い子どもの命が危険にさらされないような市の取り組みがなされると嬉しいです。

（女性・30歳代・大雄）

○ 保育所について。10月に子供を産んで、一年育休を取るつもりで保育園を探したが、保育園の予約はできないと言われた。一年の育休が取れるのに、保育園に入れないから4月で育休を切り上げる人も多いらしいです。秋田市などは予約できるらしいが・・・途中入園が難しいから「2人目」を考えたときに兄弟揃って同じ保育園に入れないと困るから、4月に産まないのだなあ・・・とか色々考えます。

（女性・20歳代・横手）

○ 子育て支援にもっと力を入れてほしい。少子化が問題になってますが、2人目を考えたときに子育てのサービスが充実していれば…と思います。特に、産後の家事代行サービス（有料でいいので）あれば安心して、2人目も考えられますが、核家族なので、産後のことがとても不安です。支援センターなど各地域で充実していてとてもいいですが、産後とにかく大変だったので、そのようなサービスを作ってもらえれば、少子化対策になるのではと思います。

（男性・30歳代・地域無回答）

○ 少子高齢化といわれ続けてますが、子供を生める女性は、一人生むと二人目、三人目がほしくても勤め先に休みを取る事を申し訳なく感じる為にあきらめるそうです。会社側もぎりぎりの人員でやっている為に従業員の方が気をつかうようです。そこで提案ですが市の方で横手市の全事業所と話し合っって横手市に元気な子供がたくさん誕生する働きをして協力していただいたらどうでしょうか、気をつかう事なく産前産後ゆっくり休めるように、そして児童福祉（子育て支援）の充実につながるように。

（男性・70歳代・横手）

- 児童福祉や教育、ひとり親でも十分な教育が受けられる等のサービスを充実させてほしい。
(男性・40歳代・横手)
- もうすこし妊活・子育てしやすい環境、企業改善が必要かと思う。
(女性・20歳代・大雄)
- 若者、子育て世代への支援の充実を希望します。支援があっても、それを知らない市民も多く、市民への周知も含め充実が必要。高齢者の支援に関しても同様のことが言えるが、今後自分の親世代が介護が必要になった時にその程度の支援を受けられるかが心配。
(女性・30歳代・大森)
- 子育てが楽しいまちづくりをしてほしい。子供と遊べる場所（室内が少ない）、子供と一緒に食事できる場所が少ない。木のおもちゃ美術館みたいな、のびのびとゆっくり遊べる施設が横手市にもほしい。
(男性・20歳代・大森)
- 少子化の中で現在1人が成人し2人の子育てをしています。中学までは「マル福」ありますが、やはり高校までの必要性を強く感じます！
(女性・50歳代・平鹿)
- 乳児・幼児が利用できる施設が少なすぎると思う。
(女性・40歳代・横手)
- 子育て世代が生活のしやすい環境にして欲しい。旧校舎の体育館を貸し出したり、安心して家族で遊べる巨大なアスレチック場など、出掛ける場所も限られていて横手で過ごす時間が少ないように感じます。
(女性・30歳代・横手)
- 将来横手で結婚して子供を育てたいと若者が思う、思えるような横手市にしてほしい。
(男性・20歳代・横手)
- 子供が大きくなるにつれて、かかる費用は増えるのに、高校になったらマル福も児童手当も一気に受け取れなくなるのはとても負担が大きい。出来れば高校生にも何かしら補助がほしい。
(女性・30歳代・横手)
- 大仙のように高校生まで医療費あるといいな。
(女性・40歳代・十文字)

- 第3子、保育料無料だと思っていたのに実際は違う。(所得にもよると思うが、負担が大きくなり、まあ仕方のない事だが、そうだと思い計画を立てたのだが少しがっかり。) 小学校のスクールバス、空席が目立つ。それだったらもっとバス対象を広げて良いのでは。予防接種の助成は助かっている。乳がん検診の助成、30才~にはできないのか。
(女性・30歳代・雄物川)
- 横手市は住やすい市だと思います。市職員の方々も、横手市の事をとてもよく考え、発展に貢献してくださっていると思います。安全で、あまり変な人もいません。安心して子育ても出来ています。
(女性・30歳代・十文字)
- 昨年、第一子が生まれました。市の子育て支援には非常に助けられています。今後も、さらに充実させていただきたいと思います。
(男性・30歳代・山内)
- 保育料無償化によって浮いた予算(子育てにかかる予算)を給食費にまわして保護者負担軽減をしてほしい。もしくは紹介してくれれば嬉しい。
(女性・20歳代・横手)
- 市内の私立保育所に保育士として10年以上勤務しています。少子化と言われる横手市ですが、保育園の需要はとても高く、うちの園でも子育て支援のために…と保護者のニーズに応じて休日保育から延長保育、お盆、お正月の保育とほぼ年中無休で保育していますが常に職員不足、休みがとれないなどの問題がたくさんあります。お給料のことなども今問題になっている通りですが、それでも続けられているのは子どもたちのかわいい笑顔を守りたいからです。各保育園に色々求める気持ちはわかりますがもっと市の方で休日保育、病児保育、あずかり保育などを行う場を作ったり、公立保育所が先立ってやってくれたらという思いもあります。横手市の大切な宝物の子どもを守るための支援をこれからもよろしくお願いします。
(女性・30歳代・大雄)
- これからの時代を担う若者や、子育て世代、横手市への移住を考えている人たちへの支援をもっと手厚くしてほしい。高齢者福祉の充実なども大事だとは思いますが。
(男性・20歳代・平鹿)
- 不妊治療に対する説明会や助成等を手厚くしてほしい(他の市町村の方が手厚く感じるため、不安が大きい)。
(女性・20歳代・十文字)
- 天童市のように子育てしやすいよう天童イオンモール周辺のように分譲地をハウスメーカーと一緒に作ったり、新築物件を建てる際に補助金を出してほしいです。親と同居するパターン

は私の周りにほとんどいないので、以前市で出していた3世代近くに住むように家を建てる補助金を出す、だと使えなくて非常に困ります。定住する気持ちはとても強いので、是非ご検討願います。併せて「げんきっず」のような施設もあるととても良いではないかと思います。

(女性・30歳代・平鹿)

- 子育て支援施設の充実、遊び場の充実。

(女性・30歳代・平鹿)

- 20～40代に住んでいるメリットがありません。子育て支援しかありません。子供がいない若い世代は税金取られてるだけです。

(女性・20歳代・十文字)

(1-2 健康な心と体づくりの推進)

- 「ゆとりおん大雄」は地域にとって非常に大事なものです。単に採算のみ考えず福祉健康づくり施設として存続させてください。

(女性・70歳代・大雄)

- 市の特定健診等では余りにも時間がかかりすぎる。もう少し、スムーズに早くできないものでしょうか。

(女性・70歳代・雄物川)

- 8050問題。知っている限り数名います。横手市職員の皆さん、いつも観張って下さってありがとうございます！

(女性・30歳代・平鹿)

(1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進)

- 福祉に対する取り組みが多く素晴らしい事だと感じる。

(女性・30歳代・増田)

- 現在は家族が皆運転できて、買い物、病院などが不便を感じませんが、先には返納などで不自由にならないように健康寿命を延ばすように気をつけて生活しています。

(男性・70歳代・十文字)

- 65歳以上への温泉無料券の配布願いたい。

(男性・60歳代・雄物川)

- 高齢者福祉施設を・・・平鹿社協デイサービスがなくなり、代替りの施設があれば良い。あつ

たとしても交通手段がない。一人暮らしの家庭へ訪問相談回数を増やしてほしい。社協の方、民生委員、保健師さん他たよりにしています。

(女性・60歳代・平鹿)

- もっと老人ホームを（安く入れる）沢山市で作ってほしい。

(女性・50歳代・十文字)

- お年寄りの方が生きがいをもって暮らしていけるようなお年寄りにやさしい、そんな日本一の横手市をつくっていただけたらこの上ないよろこびです。皆で頑張りましょう！

(男性・60歳代・平鹿)

- 今までの横手市を作り上げたお年寄りにも寄り添った政策をとっていただくようお願いしたいです。

(女性・50歳代・横手)

- 高齢者に対する雪対策もっと考えて欲しい

(女性・70歳代・山内)

- 市に対するお願いです。低所得者で高齢者の雪降ろしは無料にしてほしいです。1回降ろしてもらえば3万円かかります。3万円あれば一ヶ月のおかずがかえます。貧乏な横手市民のお願いです。

(女性・70歳代・横手)

- いろいろ横手では、公共施設や高齢者対策など取り組みなど力を入れていると思います。これがいつも市民の暮らしやすい街づくりにしていって欲しいと思います。

(女性・40歳代・雄物川)

- 高齢化対策については、昨今問題となっている運転免許返納等の際し、きめ細やかな交共の移動手段や、雪下ろしについてフォローがあると安心して住めるかと思えます。

(女性・40歳代・横手)

- 横手市は今どの方向に行きたいのかわからない。福祉（高齢者対策）医療の充実、新しい建物はいらぬ。

(男性・50歳代・横手)

- 高齢者世帯、独居老人に対する目配り・気配り・メンタル面でのケア、市民全体で取り組む課題だと思えます。

(女性・60歳代・横手)

- 敬老会の時 88 才になった人に記念品として商品券がくばられているようですが、車の運転が出来ない、又は知らないお店の名前があったり、必要でない物のお店があったりして使わないでしまったと言う話を聞きました。記念品を別の物（みんなが必要とする物）を考えられないのでしょうか

(女性・70 歳代・横手)

- これから高齢化が進んで行く横手市で、除排雪の問題や高齢者が免許返納した場合の交通の便など不安な事がたくさんあります。これから 10 年後の横手市はどうなっているのでしょうか。すこしでも住みやすい横手市になっていて欲しいと思います。

(女性・50 歳代・大雄)

- 1 人暮らしの家が多くなっています。冬の除雪に難儀している様です。年に何回かでも市の方で訪問しながら聞き取り調査等してはいかががでしょうか。旧市内や他地区の中心地区の再開発等に力を入れて欲しいものです。

(男性・60 歳代・横手)

- 特に高齢者福祉の充実と低所得者福祉の充実。地域福祉の向上、年金で入居できる福祉老人ホームを増やしてほしい。それから空き家の利用とかに利用できないか。

(男性・60 歳代・大雄)

(1-4 障がい者（児）福祉の充実)

- 障害者の理解と就労の機会の充実が必要。高齢化が進む横手市で働き手と税収の確保のため、上記 2 つは必要だと考える。

(男性・40 歳代・横手)

- 障がい者のため皆さんお世話になってます。これからもよろしく願います。(代人家族)

(男性・40 歳代・増田)

- 近年、子どもの発達遅滞、でこぼこ等の（診断等で）指摘や診断が増えてきていると聞きます。私の親族にもそのような者がいて、就学前は市内の発達支援施設にて療育訓練を受けておりました。有難くも良い方向に改善しており、現在充実した学校生活を送っているようですが、そのような施設が当時横手市内には 1 か所しかなく、通園したいお子さんは増えるものの、職員が少なく難儀しているようでした。これから超小規模でもいいので、そのような施設が市内の各所にできればいいのではないかなと思います。

(女性・40 歳代・平鹿)

- 子供、障害者（児）、お年寄りなど困っている人にはあたたかい手を差し伸べてほしい。

(女性・40 歳代・十文字)

(1-5 低所得者福祉の充実)

- 若者たちの働く給料の低さ、みんな都会へと行ってしまいます。秋田県内の給料では親すら養っていきません。親の年金すら、施設にさえ入れません。県南で働いても、先々不安でなりません。自分の給料で親を養うのは困難です。民間の会社で働いてきた親たちも、年金から月々年間、諸々と差引かれれば自由にできる金はほとんど残りません。本音を言えば、生活保護をもらって生活している人の方が良い生活をしているように見えます。

(女性・60歳代・雄物川)

- ひとり親で親と同居していると「生計を同じくしている」になります。実際は親のお金なんてあてにできません。親にも自分の病院や薬代や一杯一杯です。かといって高齢の親を残し、子供と2人で暮らすのは現実のお金の面でも難しいです。共倒れになります。昨年所得をともにするのもおかしいです。今はもっと苦しいんです。今の状況で考慮していただけたらとおもいます。特に教育委員会の審査はおかしいです。親と私たちに死ねと言っているのでしょうか。

(女性・40歳代・平鹿)

- 【問 19-5：生活保護制度】 その金でパチンコしてる人が多すぎ。

(男性・20歳代・横手)

- 消費税増税対策の商品券。一部の人しかメリットがない。時間的、金銭的に買えない。

(男性・50歳代・雄物川)

- 生活保護を受けている人が自立で頑張って生活している人より裕福に暮らしている人が多い。保護認定の時にもっとよく調査してそんなことがないようにしてもらいたい。本当に生活困難者に保護相談にのってあげてほしい。

(女性・60歳代・十文字)

- これからどんどん人口が減っていくので、支援を厚くするのではなく、自立を促す取り組みも重要と思います。相談窓口はあったほうが良いと思いますが、金銭的な支援や支給は本当に必要な方（生活困窮な方）にだけ行えば良いのではと思います。

(女性・30歳代・横手)

- 外国人の生活保護をやめてください。母国にも同様の保護はあります。在日も同様。住民自治基本条例の破棄。外国人の市民が増えれば、住民投票の結果に影響します。破棄又は改正し住民投票等の行政についてのすべての権利は日本人のみに限定すべきです。近年大みそかに除夜の鐘が聞こえません。日本の伝統文化を大切に。

(男性・50歳代・横手)

- 住民税が高すぎる！！母子家庭でもなく、障害児もなく、低所得者でもないけれど、周りの話を聞くと、何のサービス、補助も受けず、出費は多い気がしてならない。私の周りの母子家庭の人は色々な補助を受け、(母子手当、保育化助成など) 余裕ある生活のひとがいる。全て当たり前前に払い、払えないわけではないけれどギリギリで生活している人もいる。所得があっても出ていく額が多い気がしてならない…

(女性・30歳代・十文字)

(1-6 福祉を支える人材の確保と育成)

- 専門実践教育給付金、対象施設への新規指定を求めます。数年前関東からUターンで移住した際、妻(専門職)の求人は比較的ありましたが、夫(営業職)の求人がほとんどなく夫はなかなか仕事が決まらず、最終的に看護師を志し専門学校へ入学を検討しました。その際専門実践教育訓練給付金を知り、全国的には看護の分野において250か所以上指定されているにも関わらず秋田県内には指定校が1つもなく学費や生活費を全額自費でカバーするしかありませんでした。現在は妻の収入で夫の学費・2人の子供の生活費(保育料)を払っていますが、上記給付金の対象校が1つでもあればもう少しゆとりのある子育てが出来ます。まずは県内唯一の県立校である看護衛生学院が先駆けて指定を受け、Uターン及びキャリアチェンジで看護・福祉の分野を目指す人材の後押しとなればと思います。

(女性・20歳代・大雄)

- 一人暮らしの老人についてですが民生委員の方々がおりますがもう少し忙しいとは思いますが安否確認ではなくもう少し家庭の(老人の)状況等をくわしく把握して接してもらいたいと思います。それと、老人問題について相談に行ってもありきたりの返事しか返ってきません。困っている(世話)のに何の相談にも良い思いで帰ってきたことは一度もなしです。もう少し親身になり聞いてほしいし老人にも話し合う機会を持つなどの行動を起こしてほしいです。無理なのはわかっていますが！

(女性・60歳代・横手)

- 地域で助け合うと言っても個人情報保護等で民生委員等が地域の情報を得ることができず相談できずに悩んでいる人もいるのではないのでしょうか。また地域に協力する人を置きたくても(安心バトン等)近所に頼れる人もいない時は結局、自分の身は自分で守る事しかできないと思ってしまう。公助・共助等言っても結局何も頼りどころがないのが現状です。

(女性・60歳代・横手)

- 私の住んでいる地域には、長年地域の方々のためにボランティア活動をしているおじいちゃんがあります。このような方の活動が広く市民の方々に紹介され、ボランティア活動が活発になる横手市になって欲しいと思っています。

(男性・60歳代・大森)

- 介護職員の給料をもっと上げてほしいです。

(女性・20歳代・横手)

(2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実)

- 何を置いても、一番大切なことは、未来を背負う子ども達の政策であると思う。教育、いじめ、生活困窮、交通、災害等、子ども達をとりまくいろいろな問題に日々大人の責任として、市民一体となって取り組んでもらいたい。

(男性・60歳代・横手)

- 教育に不安を感じています。子供から先生の不満を聞くことがある。自分がしたことを親に言うなどを授業中に言われたりするとの事。学校に話しても対応なしです。

(女性・40歳代・横手)

- 朝の登校姿を見ていると、頭を上げて「今日も楽しみだ」と歩いている姿は見られますが、高学年になると頭をたれていて、元気がありません。もっと生きる目的をもって喜びにあふれて歩めるようにしてあげたいものだと思います。町が生き生きするために！

(女性・60歳代・十文字)

- 母(父)子家庭の大学進学時の給付型奨学金を検討してほしい。通うことが可能な大学は秋田大学くらいしかなく、高校卒業で児童扶養手当もなくなる為、相当選択肢が狭い。可能性を広げる能力を伸ばすためにも給付型奨学金制度をぜひ。

(女性・40歳代・横手)

- 進学して学力の高い人が県外に流れ続けると思い、色々な意味で危機感を感じます。

(女性・40歳代・横手)

(2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備)

- 体育館、駐車場が道路狭み危険。体育館の夏場の空調もなし。小中高へのエアコンの設置して欲しい(美郷町は設置準備している)

(女性・40歳代・横手)

- 市職員の姿勢(教育委員会)子供達の安全、通学路の整備してますでしょうか。学童保育についても同様です。もう少し真剣に向きあって考えていただきたい。横手市を盛り上げてくれるのも子供達です。クラブ活動の方面にも力を入れて下さい。町づくりもやらなければいけないことですが、その前にもう少し今やらなければいけないこととしてほしいです。

(女性・60歳代・横手)

- 子供に関する事件や事故が全国でニュースになっていますが、登下校時の安全確保は、最重要課題だと思います。学校から1 km程度であれば徒歩通学でも分かりますが、事故だけでなく、不審者や熱中症、雪道等も考えると、スクールバスで全員が安全に通えるとありがたいです。低学年は特に心配です。ガラガラのスクールバスが家の前を通過していくたびに、うらやましく感じます。
- (女性・30歳代・平鹿)
- 教育に関し、教師の健全育成が必要だと痛感している。
- (男性・60歳代・横手)
- 雪さえなければ、特に市内はとても住みやすく、教育環境にも恵まれていると思います。
- (女性・40歳代・横手)
- 学校の統廃合が進んでいるが、新校舎ばかりにお金をかけ、もともとある南小や南中の拡充が二の次になっている。南小のトイレは古く臭く、1年生の女子はかわいそう。南中は山内中と統合になったが、人数が増えたのに体育館での部活動を行うのに足りているとは言い難い。テニスコートも北中や明峰中とぜひ比べていただきたいほどひどい。市内の体育館はどこも古く狭い。他地域のチームを招いて大会など恥ずかしい。
- (女性・40歳代・横手)
- 専門学校（介護・理容・保育）を設置。
- (男性・50歳代・平鹿)
- 子供が小学校や学童に通い始めて感じたが、学校から学童への移動は基本的に徒歩であることについては良いと思うが、地域やその学童がある場所も考慮した対応をすべきであると思う。（市で統一して、学童保育へ向かう手段としてバスを使うかの基準があると聞いた）大森は熊の出没の危険があるので、教育委員会の方でルールを明確にすべきと思う。また、朝登校のスクールバスのバス停についても、実際にそれぞれの場所を視察した上で決定か疑問に感じている。子供の足だったらこの距離はどのくらい時間がかかるか、危険はないか、子供目線で&自分の子供だったらという目線で考えてほしい。自宅前をスクールバスが通るのに、隣の地区まで車が少ないわけでもない安全と言えない道路を約0.8km程歩くことに疑問を感じませんか？市民の声としてぜひ教育委員会の方へ伝えてください。
- (女性・30歳代・大森)
- スクールバスについての意見です。大雄に住んでいる孫は家の前から学校に行っています。しかし市内に住んでいる娘の子供（孫）はバスや自家用車で通っています。せめてバス賃の補助等があればと不公平差を感じます。娘の家庭は夫が病死をしたため母子家庭になり、その点に関しても補助などがいろいろな面であれば良いと思う。市役所の人の説明も、人によりまち

まちな事を言ったりと困っている人に寄り添っていないと感じる。役所の人の教育も必要とすぐ感じる。

(男性・60歳代・大雄)

- これからを担う子供の教育や生活環境の充実をはかって頂きたいと思います。

(女性・50歳代・横手)

- スポーツ振興、すい進（特に子供達）の為に横手南中に「第2体育館」を建設してもらいたい。新しい中学校（例えば北中、明峰中）にはある。

(男性・40歳代・横手)

- 通学路の安全確保!!

(女性・30歳代・平鹿)

- 十文字小学校の統合の用地は疑問がある。市長の地元で距離的に問題がある場所をなぜ選択したのか睦合・植田地区の通学においてはかなり不便を強いる事になる。睦合の一部は雄物川小へ通学させたいから、このような場所を選択したのか、中学校との特殊教室の相互利用はあるのかどうか。私にはわからないので情報開示をお願いします。市議会も大政翼賛会的になった感じがする。

(男性・60歳代・平鹿)

(2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進)

- バラ園、大鳥プール、再開しないのか？スキー場もなくなり、何もない街。市民屋内プールが旧横手市内にあったらいいと思う（冬場の健康づくり特に）

(女性・40歳代・横手)

- パークゴルフ場を作ってください

(男性・70歳代・大森)

- アウトドア施設が欲しい（市が運営）温泉施設の近くにあるとなお良い。

(男性・30歳代・大森)

- スポーツ観戦が好きで様々な大会を観に行っています。横手市で大会（特に室内競技）があれば会場が分散され、移動に時間がかかってしまいます。また、駐車場が狭い為、車が停められません。ナイスアリーナのような施設が横手市にも建てて欲しいです。

(男性・30歳代・横手)

- スポーツ大会、イベントなどがありますが駐車場、会場が狭く他市町村からの来場者の人が多

い、特に駐車場に関しては路上駐車場を見られる等、整備が必要であるアリーナの建設は何回も議題に挙げられてると思うが再検討をお願いします。

(男性・50歳代・雄物川)

- 天下森スキー場はスキー場そばの登り道がせますぎる。市内のプールが廃止や休止ばかり。。。美郷町のような屋外でもいいのでジャブジャブ遊べる場所があるといいな。夏場に丘とかでそりあそびできるところってありますか？

(女性・40歳代・十文字)

- 以前 大きな体育館をつくる話が会議で承認されなかったことが非常に残念でなりませんでした。他の市町村に先を越されたのもう横手に大きな体育館は必要性がなくなってしまうました。活用次第で大きな可能性を秘めていたのに…と、今でも思っています。

(女性・40歳代・増田)

- 室内スケート (スケボー) パークを作ってほしいです。もっと横手に行ってみようと思うような施設、名物を全国に発信したらいいと思います。ナイスアリーナのような施設を作って、有名なアーティストを呼び込めば人が集まり、お金がまわると思います。

(男性・30歳代・横手)

- 「スポーツ立市」を掲げているのに、スポーツイベントが少ない。又、認知活動も、どこをどの様にしていいのか分からない感じ。以前「アリーナ建設について」あったと思うが、総合的に色んな事ができると思うし、観光や集客につながると考えるのですが……。長期的な事で (例えば●年くらい) 検討しては。他市町村から嫁いできて思うのは、横手に暮らしていて、本当に何も無いと感じます。人口流出がすごく多いと思いますし、政府を当てにしても始まらない。横手市独自の取り組みをして、逆発信していければと思います。

(女性・40歳代・横手)

- 横手アリーナ (体育館) があった方が良く思う。

(男性・50歳代・平鹿)

- スポーツ立市と言っているわりに、スポーツ施設の新設には消極的であったり、維持管理ができておらず残念。対外的な面 (市外県外向け) ばかりでなく、住民が居心地が良いと思えるように (新しく) 住みたいではなく (これからも) 住み続けたいと思える横手になってほしいですね。

(女性・30歳代・横手)

- 横手市でのサイクリングロードの整備等してほしい

(男性・30歳代・平鹿)

- スポーツ立市とか言っておきながら、まともな（すべてちゅうと半端）体育館やグラウンドがない。
(男性・20歳代・横手)
- プールがあれば良い。健康のために。
(女性・50歳代・横手)
- スポーツアリーナの計画が中止されたのは非常に不満
(男性・40歳代・横手)
- 3年前に全日本男子バレーが合宿に来ましたが、今度はいつか全日本女子バレーに合宿に来てほしいです。
(男性・30歳代・横手)
- アリーナ計画、残念でした。ですがいつの日かまた市内にサッカー場、陸上競技場などの総合運動場があったら嬉しいです。幅広い年代の市民が利用でき、コンサートなどのイベントやプロの誘致ができれば。子供達に沢山の本物を見せたい。笑顔がみたい。
(女性・40歳代・横手)
- 若者定着に向けた政策が見えない。スポーツ等人が集まるイベントを積極的に誘致・開催してもらいたい。
(男性・20歳代・横手)
- チャレンジデーの参加人数など、本当の実態ではないように思います。各自治体で様々な工夫をされている事は素晴らしい事と思いますが、人数を競う事の重要性にはあまり賛成できない様に思います。
(女性・60歳代・平鹿)
- 体を動かせる施設がもっとほしい。
(女性・30歳代・横手)

(2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進)

- 夏休み中の十文字子ども教室ですが、とてもよい企画で参加させてあげたいのですが定員が30名というのは少なすぎて残念です。学びたい気持ちのある子供たちにもう少しチャンスを与えて頂けませんか。これからも子供・高齢者に優しい市でありますように。
(女性・30歳代・十文字)
- 市民参加のレクリエーションがもう少しあったらと思います。交通もお年寄りがもう少し動

けたら、楽しみが増えるように思います。公民館等のみなさんよく頑張っていて、いろんな企画をしてくださって大変楽しみにしております。ありがとうございます御座いました。

(女性・60歳代・横手)

- いつもお世話になり、ありがとうございます。増田の住民です。町での文化祭での場所が体育館になり、出演できない部門があり、残念です。と言うのは、体育館にはピアノがなく、まんが美術館にはありますが、移動には経費がかかり無理なのだそうです。年一回ですが、ふれプラの時にはできていた歌唱ができなくなり残念です。これは市ではなく町の問題でしょうが、何とかならないかな、と書きました。出演者だけでなく、聞く事を楽しみにしてくれている方もいらっしやると思います。

(女性・60歳代・増田)

(2-5 よこての伝統文化の継承と再発見)

- 歴史を保存するというのなら、地域に根付いた神社仏閣を活用すべきだ。戦前まで神社や寺というのは、その地域の集会の場だった。占領軍によってその伝統は破壊され、町内会館や公民館ができた。問19の11と29の質問は、その点において矛盾している。学校教育での神社仏閣の活用も考えるべきだ。知識として、それらを中心とした歴史を学ぶことも重要だと思う。

(男性・20歳代・横手)

(3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進)

- 空き家問題に対する補助がもう少しあれば良いと思う。

(女性・60歳代・雄物川)

- 道路の白線が消えているところが多く、非常に危険。

(女性・40歳代・横手)

- 町内会等活動補助金の活用をできるだけ認定してくださいませようお願いします。対象外との返事で地域として大変残念に思っています。又、一人暮らし、空き家解体の補助等も厳しい、老朽化していないと断られました。そうすると何十年もこのままほったらかして老朽化するのを待つばかり。地域としては大変困る。なんとかしてほしい。

(男性・70歳代・十文字)

- 他の町に行くと古い家屋等、リノベーションしてセンスの良い店舗になっていることがよくあり、観光や用事の流れて立ち寄ったり、消費することが多々ある。住むだけでなく空き家活用、街の活性化になる流れが生まれたらと思う。

(男性・30歳代・横手)

- 隣近所が空き家がだんだんに多くなり寂しい限りです。
(女性・60歳代・雄物川)
- 古くなって薄くなった看板（避難場所の看板）や壊れたバス停などをみかける事があり、しばらくそのままです。管理やチェックなどはどのようになっているのでしょうか。また、どこに知らせるべきなのかわかりません。
(女性・30歳代・横手)
- 空家がたくさんあるので、それを市民のコミュニティづくりに活用出来る制度をつくってほしい。
(女性・60歳代・横手)
- 最近、空き家や更地が多く見かけるが、市として何らかの対策をしてほしい。
(男性・60歳代・横手)
- 何でもきれいにすることはよいことですが、古い家などいろいろ手をかけてその家を利用することはどうでしょうか？古さにも良さがあります。リフォーム（市で）して他県から人を呼ぶことも案としてやってみてはいかがでしょう。すべての人が新しいものを好きではないと思います。古いものを利用することは楽しく生きていけると思うのですが。
(女性・60歳代・横手)
- ここ数年、空き家が増えてきた。放置するのは危険だし景観も悪いので早急な対策を望む。横手駅西口が開発されず殺風景だ。市の出入り口としてイメージが悪い。
(男性・40歳代・大雄)
- 今、空き家がどんどん増えております。解体するにも、お金がなく環境にもよくありません。行政の援助が必要と思われます。また空き家だけでなく、農業施設も同様です。是非検討願いたい。
(男性・60歳代・大森)
- 必要な人にそれぞれ有益な情報が届く様、発信の努力をしてほしい。空き家等多くなり、草地に生えた大木の管理を適正にお願いしたい（枝が家屋に延び迷惑している）横手市の活性化のため非常に努力されていると思います。有難うございます。
(女性・60歳代・十文字)
- 一人ごと（散歩していてきづいた事）。なんと空家の多いこと。（サッシが壊れ勝手に出入りするんじゃないか、心配。）
(女性・60歳代・横手)

- 全体的に暮らしやすい生活が出来ますように私達も努力しますから安全、安心の出来る市にしてもらいたいと思います。

(女性・60歳代・平鹿)

- 今以上に人口が減ってきている中でなんの努力もなく、何もせずにいるような気がします。あちこちの道路であっても施設であっても工事が進まず、空き家状態でいる施設とかはなにかのイベントで利用するとか、中身を改装して宿泊施設とかに利用するというのもひとつだと考えます。ずっと過ごしてきたからこそなくなってほしくない母校もあると思います。なにかの助けになるのであれば、壊すだけではなくこれから大きくなる子どもたちに少しでも残してあげられる豊かな市でいてほしいです。

(女性・40歳代・平鹿)

(3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全)

- 美化運動は花植えだけではない。道路わきの雑草刈りも必要。募金運動のための戸別訪問はやめてほしい。

(男性・60歳代・十文字)

- 雄物川高校の近くの沼は夏場など特に虫が大量発生するし、危険。うめ立てて公園にしてほしい。

(女性・30歳代・雄物川)

- グリーンスタジアムの手前道路に以前は芝桜がきれいに咲いていましたが、今では雑草が一面になっていました。野球の応援などで市外・県外からも来ているのでどうにか整備出来ないものでしょうか。早急にしてもらいたいです。

(女性・60歳代・横手)

- 部落でアメシロ消毒など行ってほしい。

(女性・70歳代・平鹿)

(3-3 災害に強いまちづくりの推進)

- いつもありがとうございます。おかげ様で安心して生活する事ができていますが、水害に弱く、雨の時期は毎年浸水被害に怯えています。予算面など、いろいろ難しいことも多いかと思いますが、防災体制の充実を今後もよろしく願いいたします。

(女性・50歳代・横手)

- 排水路の整備、洪水対策として排水路を多くし、水が溢れないようにしてほしい

(男性・60歳代・大雄)

- 横手市防災ラジオを購入したいが、どこで販売しているのかよく分からない。65歳以上は無料貸出というのは知っているが、まだならないので、前に Y2 プラザで飾り、値段もついていたように思ったがいまはどうなのか？購入方法を広報に載せてください。65歳にならない人たちもほしい人がいると思う。

(男性・60歳代・雄物川)

- 災害時の避難場所で、ペットと一緒に避難できる場所の指定がないので、つくって欲しい。

(女性・40歳代・平鹿)

- アンケートの中に防災と雪対策の項目がありましたが、日頃思っていることがあります。それは、公園等が災害時の避難場所になっていますが、冬は除雪されないなので、その機能を果たせないことです。これは横手市に限ったことではありませんが、大雪の時期に地震や火災があった時に、どうすれば良いか迷います。難しいとは思いますが、ご一考下さい。

(男性・60歳代・十文字)

- 自衛隊との協力もより密にすべきだ。

(男性・20歳代・横手)

- 十文字地区住民の健康と安全を考え、役場・学校跡地を公園と市民会館等の施設にして、公園散策による健康増進と災害時等の避難場所の確保を検討して欲しい。(新庁舎と道の駅だけでは不十分である。)

(男性・60歳代・十文字)

(3-4 循環型社会の一層の推進)

- クリープラザとして1ヵ所に廃棄物処理場が集約されたのだから(かなり不便)、地域局は全て廃止して1ヵ所にすれば人件費削減になるだろう。それがいやなら廃棄物処理場を元通りに増やす。ゴミ問題は最重要です。

(男性・60歳代・増田)

- 青森(弘前)ではスーパー公営等のDIY店等に毎日持ち込みできる分別ゴミ収集場所があり、レジ袋の有料化は進んでいるが、ゴミ袋が安い(処理費用無料?)。横手市でも通常のゴミ処理以外でもそういった取り組みをしていただけるとありがたい。

(男性・60歳代・平鹿)

- 大雄のたいひ処理場が夜中にすさまじい臭いがすると友達が言っていた。

(男性・20歳代・横手)

(4-1 魅力ある農林業の振興)

- 農業の大規模化を進めているようですが、それだけでは先細り（問題の先送りにすぎないと思います）です。6次産業化に次ぐ4次産業化（費用のかかる2次を外注するなど）の推進や、特産品づくり（いぶりガッコはだいこん、にんじんだけでなく、ウリやネギなども製品化できないか？）、横手産品をいぶそうプロジェクト等おもしろい活動を中高生のアイデアを利用しながら、できないでしょうか。彼らのやわらかい頭脳は、利用しなければ損だと思います。いぶりネギガッコなんて大人の頭では考えつかないアイデアだと思います。

(男性・50歳代・平鹿)

- このままだと農業衰退が急激に進まるのが目に見えている。若者をもっと農業に目を向けてくれるようにしてほしい。(アフターファイブの活用。多数でやることを目的に趣味感覚をもってもらう等、きっかけはなんでも良いと思う) よりよい町・横手をずっと残していく為、私も努力します。

(女性・20歳代・大雄)

- 色々な物が大事だと思うが、今がなければ未来はない。今現在で頑張ってお守ろうとしている農家に支援があれば農業を続けて、バトンタッチができるのでは、ないでしょうか。

(男性・60歳代・十文字)

- 農薬を使わない農作物作りを増やして頂きたい。

(男性・10歳代・横手)

- 果樹農家に嫁いできました。夫は会社員ですが、週末や繁忙期は有休を使い手伝っています。義父は後を継いでほしいと思っているようですが、今の両親の大変さを目の当たりにしては、快く勤めを辞める決断は出来ません。仲は悪いわけではありませんが親にしたがう、自分たちの思うように出来ない、昔の朝から晩まで雨の日も雪の日も休まない働き方を求められると、同じように果樹で働いていく自信がありません。家族間の事です担い手というなら息子や孫が継いでみたいという姿を親が見せることも重要なのでは？会社もどこでも上司がいっぱいいっぱいでいたらあんな風に自分もなりたいたいと思うわけがないと思います。

(女性・40歳代・増田)

- いつもご難儀おかけしています。先日、6次産業化施設の見学に伺いました。大変立派なものでした。農産物の生産者だけでなく、加工のスキルを持ちながら主婦業の方達など、例えば食品衛生の資格があって子育て中の方など、が横手市の農産物を使用したものを開発考案できる場になればいいなと思いました。特許取得の助成などがあれば開発意欲が湧くのでは？と思ったりしました。

(女性・40歳代・大雄)

- 先日、ある会で横手市園芸振興拠点センターを見学させて頂きました。出来上がった金額が7億円と聞きびっくりしました。6次産業施設棟に関心があったので見学させて頂きましたが、使用料金が1時間単位でこの料金では高いと思い残念に思っています。

(女性・60歳代・横手)

(4-2 活気ある商業の振興)

- 若い人達が住みやすい横手をつくって下さい。県外に出た人達が戻ってきたいと思う様な横手にする。出たくない様な横手にする商業施設や、今ある温泉施設等を生かしつつ、そういう横手にしてもらいたい。新しい施設等も考えてもらいたい。横手の祭りなども、もっとピーアールしてもらいたい。横手の企業などに参加するようになど促してもらいたい。楽しい横手にしてもらえ事を期待します。

(男性・20歳代・横手)

- もう少し若者向けのショッピングセンターなどを増やしてほしい。

(女性・20歳代・平鹿)

- 自営の仕事をスタートする人への補助金があったら嬉しいです。

(女性・40歳代・横手)

(4-4 観光・物産資源の発掘と発信)

- このアンケート自体回答できずにすみません、私には難しかったです。申し訳ないです。もう少し具体的にしてほしいです。今年30年ぶりで横手のかまくらに行ってきました。私の想像していた昔の「かまくら」とはあまりにも違ってグローバル化した観客、接客おもてなしに感動しました。もっともっとみんなに知ってもらいたいです。横手ってすごいなあ〜と実感して「すてたもんじゃないなあ〜横手」と思いました。これからも頑張ってください。協力したいです。

(女性・60歳代・十文字)

- 横手市を盛り上げるイベントをやって下さい。 ※4〜5年前より少なくなっている気がします。

(男性・60歳代・横手)

- 横手市はいいものや、重要なものがたくさんあって、自信持って全国にアピールしていいと思うが、アピールの仕方や、観光者に対してももっと、優しくそして、リピーターが増える取り組みを期待しています。他県、他国から来る方が増える事はうれしい事であり、もっと胸をはってアピールが、少し下手な気がします。もったいない。残していかなければいけないものもやり方一つで大きく変わると！

(女性・50歳代・十文字)

- 人口減少と並行して地域活性化も見られるようになったがこれは横手市外からの集客が多くなってきている現象と考えます。横手市ならではのイベント活動をもっと横手市外へ発信し、魅力ある横手にしていくことで人口減を抑える事ができるのではないのでしょうか？
(男性・40歳代・大雄)
- 横手市の祭りをもっと盛り上げてほしい。
(女性・20歳代・横手)
- 県外の人達からも横手に遊びに来たいと思えるような観光を充実させて下さい。(アピールへた) お金のかけかたを考えたほうが…。
(女性・40歳代・横手)
- 横手市のいい所をどんどん発信する活動などをしてほしい。地元の食材や観光名所をたくさんの方に知っていただき、それを手助けするお仕事をしてみたいと思います。
(女性・40歳代・横手)
- かまくら行事は観光促進の点から休日に行うほうが良いと思います。また、梵天コンクールは平日に行い、参加梵天チームが各企業から「お祝い」をもらえるように配慮する必要があると思います。(各企業の職員が梵天に接するので祭りが盛り上がるので)
(性別無回答・年代無回答・地域無回答)
- 増田の蔵は大変趣があり、帰省客やちょっと案内したいときに素晴らしい地域だなと思います。蔵の案内も家主の方がわかりやすく説明し、ちょっと休みたいときに「くらを」があり、食事したいときに佐藤養助のうどんと、秋田(横手)のいいところが詰まっていたいいなと思います。このように歩いて回れる観光地を増やして欲しい。
(女性・40歳代・横手)
- 横手の食をもっと力を入れて宣伝すべき!!作ってる人にイベントなどできるよう作るだけじゃなく、楽しさなど教えてやるべき!!観光にも力を入れて、他の県からお客様を呼んで活性化させてほしい。横手は地味です。
(女性・20歳代・平鹿)
- 駅(東口)に温泉ホテルとレジャー施設をあわせた人が集まる場所があってもいいと思います。せっかく駅前に温泉がでるので、市とタッグをくんでみんなが集まるレジャー施設で市を盛り上げてほしいのでは?老人の方も大切ですが、若者が集まる所があってもいいと思います。映画館(小さくても)、ボウリング、スリーポイントバスケットなど駅前に降りたとき、その町のにぎわいがわかりますから。
(男性・60歳代・横手)

- 横手の特産物のアピールもイベント等もっと沢山やってもいいと思います。
(女性・30歳代・横手)
- 横手市は活気がありとてもいい市である演奏会も充実していて素晴らしい、文化の面、芸術の面にも力を入れていきたい。他県に行く観光客の為にサービスが充実している。横手市でも例えば、レンタサイクルとか、様々な事業をしたらどうだろう。
(女性・50歳代・横手)
- 超高齢社会になっているので、地元の魅力を商品として外部に紹介するだけではなく、観光客を呼んだり常に人が流動して動く仕組みが必要ではないかと思います。結果としてそれが街の活性化につながると思います。
(男性・30歳代・横手)
- 若者や外国人がもっと集まるような取り組みがもう少しあれば良いと思います。まんが美術館のリニューアルオープンを兼ねて、日本の文化である漫画の魅力を SNS で発信するなどすれば、海外の人も来やすくなると思います。そこから、横手の伝統的な祭り・グルメなど他の魅力にも興味を持ってくれる人たちが増えれば、横手はもっと活気のある街になると思います。
(女性・20歳代・横手)
- 横手市には、横手やきそばや増田まんが美術館など、全国にPRできる、素晴らしいものがたくさんあると思うので、上手く発信してほしいと思います。
(男性・30歳代・山内)
- 十文字道の駅・増田地区への補助が多いのではないかと？各旧町村でイベントがあるが、補助に格差があるのではないかと？
(男性・40歳代・雄物川)
- 増田のまんが美術館の屋外でのイベントを定期的にやる（アニメイベント）、フリーマーケット等
(男性・50歳代・平鹿)
- 市をあげての特産物のイベントがあったらおもしろいと思う。例えば、湯沢のうどんのイベントの様にも他県も呼んでのイベントとか…。ふるさと村などを使って食べ物系（大館の肉・秋田は食のまつりなど…）のイベントだと集客力があると思う。（秋頃にやるのがいいと思う）横手だと焼きそばになるとは思いますが、ラーメンとか麺フェスとかそれと一緒に農産物や加工品の販売などもやるといいと思う。
(女性・40歳代・横手)
- 飲食店は昔よりも増えておいしい物を食べられる場所が多くなっていいと思いますが、子供達

や若い人たちが遊べる場所や楽しめる場所が少ないと思います。ふるさと村などは、期間ごとにいろんなイベントや秋田県のおいしい物が食べられたり子供達が遊べる公園などがあって他県の友人が来たときや小さい子供と遊ぶときはよく利用しています。しかしそこしかなくそういう施設がもっとあればいいなと思います。子供達が遊べる大きな公園や映画館などがあつたら嬉しいです。あとお菓子やケーキのお店ももっとあればいいなと思います。増田まんが美術館は小さい頃から好きで入館料が無料のうえたくさんのマンガが自由に読めるのがすばらしいと思います。リニューアルし、飲食が出来る場所や昔よりもたくさんのマンガが読めるのはよいと思います。マンガだけでなく子供が読める絵本などをもっと置いてほしいなと感じました。

(女性・20歳代・横手)

- 音楽、コンサート等、コント、まんざいなど、芸能関係のイベントが行なわれる会場をもっと企画して市民を盛りあげてほしい。

(男性・40歳代・増田)

- 最近、横手市をとりあげた番組をたて続けに見た。秋田出身の芸能人もPRしてくれているこの機会に、横手市を大々的に宣伝した方がいいと思う。横手市は食べ物も飲み物も他よりおいしい、景色も良い、住んでいる人はあたり前になってしまっていて気づいていないだけだと思うので、他所の人の力をかりてでもPRしてほしい。

(女性・50歳代・十文字)

- 雪を活用して、雪の無い国へセールスマンを送り、横手市に滞在旅行者を呼び込みたい。

(性別無回答・年代無回答・地域無回答)

- まんが美術館で大規模なコスプレイベント・同人イベントを開催して全国の若者を集客すれば、より活性化されまんが美術館が全国に知れ渡り観光客も増加されるはず。

(性別無回答・年代無回答・地域無回答)

- 観光資源は沢山あるのでどんどん売りこんで経済の活性化を！こんなに素晴らしい横手をピーアール下手で終わらせるのはもったいない!!

(女性・30歳代・平鹿)

(4-5 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策)

- 若者が働ける環境、求人をもっと増やしていただきたい。自然、食材、人の温かさは十分である為、それをもっと生かした町づくりをしてほしい。

(男性・50歳代・増田)

- 秋田県の内でも、横手市は重要な市になっていると思う。道路整備、企業誘致等外からの経済

力をどんどん取り入れるべきだと思う。旧横手市内の人々や商工会などの既得権益で反対される事が多いと思うが、県内、県外とわず、とにかく働ける場所、企業を横手につれてくる仕組がつくれる市政をやってもらって、横手をもりあげてもらいたい。市長にはずっと期待している。

(男性・30歳代・横手)

- 横手市ではなく秋田県全体賃金が安い、魅力がなく若い人がどんどんいなくなっているの、もう少し高くし、相応の仕事量にしてほしい。飲食業で人手不足にもなってなかなか募集してもこない。

(男性・20歳代・横手)

- 最低賃金をあげてほしい。

(男性・20歳代・横手)

- わかい人たちは学校を卒業すると都会に出て行き高齢者だけが残るのが不安でたまりません。わかい人たちが働ける会社があればいいのになあ・・・！！

(女性・60歳代・雄物川)

- 企業・工場の誘致、農業への取り組み等は評価できると思います。

(女性・60歳代・雄物川)

- 要望をP10に記入致しました。子育てがしやすい環境づくりがさらに必要であると感じております。企業誘致や正規職員雇用推奨など。市民が潤うことにより税収が増え、もっと良いサービスの提供ができるのではないかと考えております。上記の理由により、問19は辛口の評価です。市役所の職員の方も頑張っていることと思いますが、市民の目線になって課題を解決するよう努力して欲しいと思います。

(男性・30歳代・十文字)

- 若者が続けて仕事がしたいと思える会社が少ない。低収入のため将来のことを考えにくく、自立出来ずに家にいる人が多いと思う。だから、結婚、子供の数がふえないんだと思うし、少子化だからといって学校の統合は、親の迎え等負担が大きく仕事の時間とのバランスなど考えると、やりづらいです。まずは働く場所を誘致してほしい。他の東北の県を見習ってほしい。

(女性・40歳代・雄物川)

- 若い人達が県外に出て就職して行っているのが現実です。この横手に就職してもらいたいものです。賃金もあると思うのですが、我が子も横手で働きたいと思っているのですが、どうなるかわかりません。横手で生まれ、横手で働きたいと思っている人は、どんどん採用してもらいたいと思います。働く場所がない、採用もないとなれば、県外にしかいかざるをえないかと、市でも、もう少し若い人のことも、考えないと、大変に、なるのではないのでしょうか？

(女性・50歳代・横手)

- 県外の大学卒業の人たちに地元就職の会社があれば良い感じですか。
(女性・70歳代・大森)
- 立ち消えになった、ドーム施設を再検討してもらいたい。メーカー企業の誘致の取り組み推進による雇用 up を期待します。
(男性・50歳代・横手)
- 高卒等の若い人たちの雇用を増やして欲しい(働ける企業)
(女性・60歳代・大森)
- 高校を卒業するとほとんどの人が県外に流出している。大学を卒業しても就職できる企業を用意してほしい。全国との賃金格差を少なくできるよう努力してほしい。
(女性・50歳代・大森)
- 法人税納入会社をピックアップし取引関係会社を訪問し、横手市の良さをPRし、企業誘致出来る様な取り組みをして見ては、どうかと思います。(会社の大小にかかわらず)
(男性・60歳代・平鹿)
- 若者が秋田にとどまっていいて思える早急な対策が必要だと感じます。ネットの有効活用、企業をよびこむなど、ぜひ頑張ってください!
(男性・30歳代・平鹿)
- デザイナー職や特殊な仕事など横手市で働けず、Uターンをしても技術が腐っていくだけになる。少し特殊な技術、資格を持って働ける企業が増えると良いと思う。
(女性・20歳代・横手)
- 若者が横手市と接触する機会をもっと沢山作ってほしい。良い街だが大学卒以上の学歴を持った人がその経験を活かせる職場が少ないと感じる。
(女性・20歳代・横手)
- 若い人たちが横手市(秋田県)で暮らしたいと思えるまちづくりと、仕事する場所が必要だと思います。
(性別無回答・70歳代・山内)

(5-1 雪国の快適な暮らしの実現)

- 高齢化にともない、冬の除雪に対し今後どのように対応していくのか。(老人夫婦の暮らし。)
(男性・60歳代・山内)

- 除雪をもっときちんとしてほしいです。毎年毎年降ると分かっていると思いますが、きちんとされている道路、全くされていない道路、地区で差がありすぎます。同じ税金を払っているのですから、きちんと対応をして頂きましたです。
- (女性・30歳代・大雄)
- 冬場の道路の狭さ。
- (男性・60歳代・平鹿)
- 住宅密集地におり、冬の雪寄せが大変である。そのために軽トラを所有している状態である。下水より、流雪溝が欲しい。
- (男性・50歳代・横手)
- 市民が安全に安心して生活ができる様、冬道の除雪は、丁寧にやってもらいたい。他県や他地域から来た人も、横手は雪が多くても除雪が良いと言ってもらえると、ここに住んでいる者も安心する。
- (女性・50歳代・平鹿)
- 冬の道路の除雪を考えてほしい。塀のまわりの前の雪は、除雪が必要だと思う。車のすれ違い時にとっても不便です。
- (女性・50歳代・平鹿)
- 排雪場所を増やすなどの除雪対策をより充実させたらいいのではないかな。
- (男性・20歳代・横手)
- 十文字の除雪が毎年なっていない。すごく危険に感じる。事故につながる。通学路も危ない。
- (男性・40歳代・十文字)
- 吹雪で道路がわかりにくい時も多いので、風雪を避ける柵をもっと増やして欲しいです。
- (女性・50歳代・大森)
- 今さらですが、県道からの脇道に自宅がある場合、市役所職員さんの住まいの時は早々に舗装工事され冬期も除雪が入る、この一軒のためにしていると聞いています。当方は、この道のように使う家々が3軒あるのに数年前やっと舗装されましたが、冬期の除雪は知らん顔。「やれるうちは、やれば」って思ってるでしょ！何が防災だ！火事になれば消防車も入れない！それでいいんでしょ！
- (女性・50歳代・大雄)
- これから高齢化が進んで行く横手市で、除排雪の問題や高齢者が免許返納した場合の交通の便

など不安な事がたくさんあります。これから 10 年後の横手市はどうなっているのでしょうか。すこしでも住みやすい横手市になっていて欲しいと思います。

(女性・50 歳代・大雄)

- 雪が降ると歩道がありません。道巾がないので無理なのかも？

(女性・70 歳代・十文字)

- 西上町 3 班道路、雪消しについて考えてほしいです。除雪車では道路幅が狭くなり、大変です。

(女性・70 歳代・十文字)

- 冬の除雪車が雪をどっさりおいてあるので高齢なので一番の悩み。足も腰も悪いので大変です (夫婦ともに)。

(性別無回答・60 歳代・平鹿)

- 老人向けマンションとか (もう雪かきも出来なくなるし)

(女性・50 歳代・十文字)

- 横手市の課題は雪対策です。雪下ろし、玄関前の除排雪は加齢とともに非常に労力を使います。これさえ軽減されると他から転入する人も増えるのではないかと思います。

(女性・60 歳代・横手)

- 除雪について、大雪でなくても道路がガタガタ・シャリシャリしない程度に除雪してほしいです。

(女性・40 歳代・横手)

- 横手市役所の職員は皆様とても親切でありがたいです。私の様なおばあちゃんでもやさしく教えてください。本当にありがたいことです。冬の除雪はなんでこんなに粗末でしょうか？市役所の職員はこんなにやさしいのにと毎年思っています。本当にひどい物ですよ！

(女性・60 歳代・横手)

- 福祉関係の方と話す機会があり、様々な領域で色々な方々に支えられて暮らしているんだなど感謝しています。公共施設・農産物・企業誘致など大切な取り組みでしょう。私達身近な問題として、高齢者の一人暮らし、高齢者の二人暮らしの多い横手市、前項にも書きましたが、玄関先へ「置かれた雪」をどうか親身になって考え、具体的な対策、実行をよろしくお願い致します。

(女性・70 歳代・横手)

- 冬の除雪について市内が積雪 10cm 以下でも山間部では 20cm 以上の積雪になって道路がわだちになって走行しにくいのに除雪車が出動してくれない時が時々あり、困っています。

(男性・60 歳代・山内)

- 冬期間の除雪をきめ細かくお願いします。

(女性・60歳代・横手)
- 毎年除雪していただくのは、ありがたいですが、日中、大量の雪をおかれると車で出入りする
のが難しい時が大変多くあります。ぜひ県にも、伝えて下さい。お願いします。

(女性・50歳代・大雄)
- 流雪・融雪の対策をお願いしたい。

(女性・50歳代・横手)
- 雪国でありながら、雪に対する対策が遅れていると感じます。高齢者は住めません。

(女性・60歳代・雄物川)
- 冬になると雪下しの事で不安になります。市の各地域局内に雪下し対策を課の中に電話申し込
みを設けてもらいたいです。AM、PM、30分の休憩有り。流雪溝を利用する為、増田在住の方2名
雪下しをお願いしたいです。

(女性・70歳代・増田)
- 流雪溝の利用開始時間が遅く、勤務時間に間に合わなくなります。冬道なので余裕を持って出
社したいのですが…。又、住宅地のため流雪溝以外に雪捨て場がないのですが、夜流れないので
他地区のように夜も利用できるようにしてほしいです。

(女性・30歳代・横手)
- 合併になってからは、冬の除雪などが回数が少なくなり、私たち年寄りには外に出るのがだん
だん少なくなるようになります。もう二年くらいは流雪溝が使えない状態なので大変です。

(女性・70歳代・増田)
- 子育ても終わり夫婦二人の生活でこの横手市はいいところだけど雪があるから大変で若い時
は何でもないことでも先が見えるこの年代になると歩くことも外出することも大変です。最近で
は近所の方々から助けていただいて暮らしております。

(女性・60歳代・山内)
- 歩車道の除排雪をもう少し、まめにやってもらいたいです。

(女性・60歳代・横手)
- 除雪車が入れない場所に住んでいます。老人二人暮らし、道路は穴がいっぱい。役所でも確認
に来ない。あり得ません！！市長さん、なんとかしてください。

(男性・60歳代・横手)

- 幹線道路から少し入った脇道の除雪がいき届いてなくて車の出入りが大変です。家の周辺は、何件かが集まって協力して自主的に除雪をしていますが、皆様の年齢が7～80代の人が多くなりこの先が心配です。市の方で除雪できるようにしていただけないでしょうか。今は、市の方から補助をいただいて作業しています。

(女性・60歳代・横手)

- これからも頑張ってください(除雪に関してはもう少し力を入れてほしい)。

(女性・30歳代・十文字)

(5-2 快適な移動空間の実現)

- 横手市も道路が整備されているところが増え、生活しやすくなってはいるが、他県で高齢者の運転事故が増えていて横手市も人ごとではないなと感じる。

(女性・20歳代・横手)

- 平成高校入口、道路の白線が消えている、事故が起きる前に早めに白線を引いてほしい！！まず、道路に白線を引いてほしい。夕暮れ時など、又、雨が降っている時など、すごく道路巾がわかりづらくとても危険です。十文字町、等色々あると思いますが、早めをお願いしたいです。

(性別無回答・年代無回答・地域無回答)

- 横手北中学校と角間川線の交差点に信号をつけてほしい。横手北小学校からローソン上境店までの歩道を早く完成させてほしい。

(男性・30歳代・横手)

- 町内は十文字古内ですが、子供達の通学路が消えてしまってます。朝会社などの交通量の多い時間に子供達が通学ですのでどうか、横断歩道の白線お願いします。それに、ラッキーとマックスバリューの入り口もキケンです。マックスバリューの入り口には本当に、何とかしてもらいたいと思っています。よろしくたのみます。

(女性・70歳代・十文字)

- 市内の道が渋滞・狭いと感じる場所があります。たいよう薬局のところの十字路・ささき歯科の十字路が混みがち。ささき歯科の十字路から北小へ向かう道が狭いので広げてほしい。

(女性・40歳代・横手)

- 市役所前の信号が朝や夕方の通勤ラッシュで曲がる信号もなく、直線の車が多く曲がる車線の車で渋滞するからなんとかして欲しいです。

(男性・20歳代・横手)

- 生活に必要な道路を作って欲しいと要望したが、市が作ってくれない。
(男性・50歳代・大雄)
- 道路の補修工事を行っていたりするが、ずっと同じ場所ばかり行っていたりする。これはどうして同じ場所しか行わないのか？
(女性・40歳代・横手)
- 横手市内の道路がデコボコ・穴ボコで他県から来た人たちに対して恥ずかしい。
(男性・50歳代・平鹿)
- 子供達の通学路の整備。補助のない狭い道路で、車がビュンビュン走っているところを子供達がスミを歩いている。
(男性・60歳代・横手)
- 文化センター通りの道が雨が降ると溝になり車が通る度歩行者がしぶきで汚れます。補修して戴きたい
(女性・70歳代・十文字)
- 道路の凸凹を直してほしい。車での走行は問題ありませんが、自転車で走行すると穴、凸凹がかなりあります。それと春にいつも白線をひいているようですが、少し早めに塗装してほしいです。財源もありむずかしいと思いますが、安全の為にもよろしくお願い致します。
(男性・60歳代・十文字)
- 市道の道路新整備したのに村の人々にとっては、唯一の道路です。数年破壊されつつ多発しております。6月、つい最近修理されたがでこぼこで歩行に悪い。
(女性・70歳代・雄物川)
- 道路がいたんでいて、つまづき、ころびそうになる。(財源の減少は、わかりつつも、ブツブツいいたくもなります。)
(女性・60歳代・横手)
- 横手インターから国道107号線に抜ける道路が新しくなりました。とても狭い交差点でしたのでその点はよかったのですが、せっかく新しく道路を作ったのに大きなカーブになっていて残念です。もっとカーブせずにできたのではないかと思います。せっかく税金を使って作る道路もっと市民に喜んでもらえるようにしていただきたいかったです。
(女性・60歳代・横手)
- 緑地帯の草伸びすぎて車が来るのがみえない。草刈りしてください。消毒もしてください。
(男性・50歳代・横手)

- 道路の白線をもっと早く、事故がない前に行ってほしい。
(女性・70歳代・横手)
- 駐車場のオレンジのさびをなんとかしてほしい。高齢者の運転講習をもっとやるべき。あぶない場面を何度か目撃している。
(女性・30歳代・横手)
- 街灯が少ない。
(男性・40歳代・十文字)
- 旭小学校の近くのT字路の所に信号がほしいと思います。
(女性・10歳代・雄物川)
- 市道の中でも主要となる幹線道路の整備。人口減少や空き家が今後、一段と加速化されていくと考えられるが、だからこそ交通網はしっかりやらなければ町の発展にならないと思う。
(男性・60歳代・横手)
- とにかく街灯が少なくこわい
(女性・60歳代・大森)
- お願いします。富士見大橋の地下道の件です。自転車は押して通る事になっておりますが上りはわかります、下りは難しいです。自転車に乗るのは自由で良いと思います(自己責任として)それから三枚橋の踏切。なぜ人が通れない様にしたか意味がわかりません。お考え宜しくお願い致します。
(女性・70歳代・地域無回答)
- 街灯、冬になると消えるので消えないようにしてほしいです。
(女性・60歳代・山内)
- 上真山踏切前に住んでいますが、歩行者、特に高齢者が歩くのにとっても困難です。車の数が多いのもその理由ですが、それと同時に、側溝の上の石がところどころ欠けていて、下ばかり見ながら歩かないと、いつつまずくか、気が気ではありません。60歳を過ぎたばかりの私ですらそうなのですから、70代80代に至っては、どんなに大変なことか、早急の対応をお願いします。
(女性・60歳代・横手)
- 街灯のLED化するなら、もう少し明るい街だと好きになれる。哀愁漂ってます。
(女性・20歳代・横手)

- 東京方面に向かうのに、いまだに北海道に向って走っていますが、横手新幹線のことを煮詰めてほしい。

(性別無回答・年代無回答・地域無回答)

(5-3 市民が利用しやすい公共交通の充実)

- 今後、中心部以外の郊外の交通の充実を促進して貰いたい。高齢者の免許証返納がしづらい状況です。私も極力交通機関を利用したいのですが・・・。

(女性・30歳代・横手)

- バス停に椅子等があると、お年寄りが助かると思います。

(女性・70歳代・横手)

- 75歳以上の高齢者の免許について何かしら安全に運転できるような手立てがあつての免許更新となれば良いと考えます。

(女性・30歳代・大雄)

- 高齢ドライバー対策

(女性・30歳代・平鹿)

- 高齢者が車を使わなくても買い物などができる手段を構築できればいいと思っています。

(女性・50歳代・大森)

- 運転免許返納するには交通に不便な場所なので小型バスでも通ればいいなと思っています。

(女性・60歳代・大雄)

- 車がないとどこへ行くのも不便であるから免許返納する人は少ないと思う。自主返納サポート制度もこのアンケートで初めて知った。免許更新講習などでみんなが必ず行くところなどで大々的に教えて欲しい。しかしサポート制度があつても免許返納することにメリットを感じない高齢者が多いと思う。あと家からバス停までは遠いから利用もなかなか・・・。免許返納にメリットを感じる&免許なくても生活しやすい横手市を考えていきたいですね。

(女性・20歳代・横手)

- 私は、現在地元を離れ他県で一人暮らしをしています。一年に数回帰省するのですがやはり、都心部と比べて交通機関で不便を感じてしまいます。本数が少なく、とても不便です。ご検討のほど、よろしく願います。

(男性・10歳代・雄物川)

- 旧横手市内に住んでいるが、郊外であり、スーパーもなく、高齢者の買い物が不便でならない。80才過ぎの方も車を運転し、スーパーに行っている状態である。バスの便も少なく、身動き取れない状態だと思う。
- (男性・50歳代・横手)
- 補助事業（デマンドタクシー）市内（横手）に病院が多いのに圏外はおかしい、デマンドの負担をタクシードライバーがするのも、おかしい中途半端な事業だと思う。
- (男性・60歳代・十文字)
- 私は利用していませんが、循環バスの1回200円は高いと思います。買い物に行くにしろ、必ず往復があるわけですから、1日200円とか…、1回100円とか。
- (女性・60歳代・横手)
- デマンド交通は知り合いのおばあさんが重宝しているので、これからも高齢の方や運転のしない方のために続けてほしいです。
- (女性・30歳代・横手)
- 高齢者による交通事故が多発している昨今、運転免許証を返納する事を容易に考えられる様に、循環バスのようなものを出して頂けたらと思います。（せめて通院と買い物だけでも・・・）
- (女性・60歳代・雄物川)
- 路線バスの時間を元にもどしてほしい。「14:00」バスがなくなって2時間まちぼうけで大変です。
- (女性・20歳代・増田)
- 高齢者の移動手段について、もう少しきめ細やかな手段が必要だと思う。バス停まで遠く、歩くことはできるが、離れている為に使わない。もう少し何か高齢者が気軽に使える交通手段があれば、もっとお出かけすることも増え、気分転換にもなり、明るい老人（？）が増えるかもしれない。（デマンドもあるが、わずかな年金生活している人には少し高いかもしれない）
- (女性・50歳代・十文字)
- 旧横手市内は路線バスもあり、さらに循環バスもあり、恵まれていると思う。本当にほしい場所は、路線バスも通らない国道から、中に入った、集落の人たち（高齢）だと思われる。
- (女性・50歳代・横手)
- 免許のある大人は自家用車があれば、交通手段にさほど不便は感じませんが、中高生や年配の方にとっては、外出が容易ではないように感じます。気軽に出かけられるような交通網があればもっと住みやすいのになあと思います。
- (女性・40歳代・平鹿)

- 運転免許を返納したくも交通の便が無く、返納できない人が沢山いると思います。図書券の他に、何か得策がないでしょうか。(スクールバスを上手に活用するとか)
(女性・50歳代・平鹿)
- 交通の便が悪い為車が不可欠な地域でありながら、高齢者の運転免許の返納に対しての策が甘すぎる。
(女性・40歳代・平鹿)
- 免許返納後の交通手段は、地域、地域ごとで全部違います。オンデマンド等の恩恵を受けているのは一部の地域だけ。旧横手市内は合併して十分恩恵を受けていると思うが、郡部は車がなければとても不便で生活していけない。夫婦二人世帯なので同居家族の力も当てにできない。どうすれば、住み続けられますか！
(女性・60歳代・雄物川)
- 運転免許証自主返納後の12,000円分の公共交通回数券、使い行ったら終わりではなく、生涯使用できる(超高齢になって、バス、タクシーを使う人はいない)「生涯パスポート」を発行してはどうか。先日、テレビで四国のある地方の免許自主返納とその後のフォローについてやってみました。生涯無料乗車券の便利さについて住民は喜んでいました。予算の都合もあると思うが、節約できるものがもっとあるはず。期待しています。
(男性・70歳代・横手)
- バス・タクシー共に旧横手市は充実しているが、その他人口の少ない場所はやはり自家用車が必要な状況が続いている。高齢者の移動が不便になってくるのではないかと。
(女性・40歳代・大雄)
- 主人が免許証自主返納してから外出がすくなくなり家にこもりきりになり病院や買物も大変です。秋田市では65才以上になるとワンコインバスで御所野から土崎のセリオンの方まで100円で行けるそうです。横手市でも増田・大森・雄物川・山内から横手駅、平鹿病院、横手病院に300円ぐらいで行ける様に市で補助出来ないものでしょうか。老人には大変たすかります。
(女性・70歳代・増田)
- 羽後交通路線バスについて。朝、学生利用も少ないが、日中はほぼ乗車している人がいない状態で空バスを走らせているのを良く見ます。運転手さんもやりがいがないのではないのでしょうか？高齢者でバスを利用したいと考えている方も多はずです。しかし料金の高さがなかなかバスを利用するという気にしないのも確かかと思います。高齢者を1路線1回100円でバスを気軽に利用できるようにしてはいかがでしょうか？
(男性・50歳代・平鹿)

(5-4 地域拠点整備による市街地の活性化)

- 将来を見据え、コンパクトシティを押し進めてほしい。若者定住を重要視してほしい。
(男性・50歳代・横手)
- 横手市を買い物していると、20~30歳の人をあまり見ない。横手市に住んで8年目になるが、駅前を充実して欲しいのが本音。(ユニオンの跡地に何か商業施設を作って欲しい)
(男性・20歳代・横手)
- 横手駅前の無人デパート？(下にパチンコ屋)をみると観光客も駅を利用している住人も暗い気持ちなるのでは……。Y2プラザはとてもよい雰囲気です。便利だし活気があるので花丸。駅から一番近くいい場所にあるので早急になんとかした方が良く思う。一等地なのに、もったいない。(前にTVでみた伊豆？熱海？の廃墟ホテルが観光客をがっかりさせていることがやっていたのだが、それと同じ。金銭面で難しいのかもしれないが……。
(女性・40歳代・横手)
- あまりにも増田推しで十文字が踏み台になっているようで不快に感じることもある。市民会館も文化センターもかなり老朽化が進んでいて建て直しの時期にきていると思うのが各所にチマツとした建物よりも色んなイベントも呼べる様なアリーナは出来ないのだろうか
(女性・40歳代・十文字)
- このアンケートを総合的にみても、コンパクトシティがのぞまれます。魅力ある。こんな分野での充実した町、便利な楽しい町にしてほしいです。図書館も市民会館ホールもすぐそばにあれば文化的にグレードも上がる気がします。是非共コンパクトな充実した町づくりをお願いします。
(女性・60歳代・横手)
- 横手地域の範囲が広いので、重点的に開発発展する事がむずかしく、どの地域も中途半端になるのが不安です。
(男性・60歳代・横手)
- 横手駅前(東口)を若い人達が集まる場所にしてもらいたい。カラオケ・本屋とか。
(男性・50歳代・平鹿)
- 横手駅西口周辺の開発にもっと力を入れてもらいたい。人々の集まる施設・商業施設等。
(男性・70歳代・横手)
- 横手西口の空き地をもっと活用できれば、若年層も喜ぶ楽しい場所になりませんか？
(男性・40歳代・大雄)

- 横手市は広域なため中心部だけの発展は望まない。全域の住民が平等に暮らしやすい社会を造れるようにしてほしい。

(女性・50歳代・大森)

- 若者が楽しめる施設が全くない。

(男性・20歳代・横手)

- 重点地区に力を注ぐのは必要であるが、全体の地区のバランスをもっと考えてほしい。ボーダーラインの箇所がいつも置きざりにされないよう願います。

(女性・70歳代・大雄)

(5-5 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理)

- 上水道がないため地下水を使用しているが、災害時に停電すると水がでない。安心安全な飲料水のためにも上水道の整備してほしい。

(女性・40歳代・横手)

- 偏ったサービス支援ではなくもっと市、町全体に行き渡るようにしてほしい。特に伝統的街並みの保存や整備以前に市民の生活（特に上下水道の）目を向けて欲しい。このままでは地区から出ていく若者もいなくなり、いずれ限界集落となり消失してしまうでしょう。一刻も早い、上下水道工事に取りかかってほしいです。よろしく願います。

(女性・50歳代・増田)

- 全ての地域の下水整備

(男性・50歳代・横手)

- 横手市、道路、下水道、排水路等の整備遅れている地域も有り、もっと地域の話し場をもってもらいたい。

(男性・70歳代・大森)

- 上水道がないのに驚いた。井戸が出なくなり大金がかかった。高齢になったら、掘る事も大変。どうしたら良いか考えてしまう。又、市の職員の皆様が頑張っていると思うが、市民に対する対応や話し方…とても威圧的に感じる時があり、町民、市民として悲しい気持ちになった事があります。

(女性・50歳代・平鹿)

(5-6 市民がくつろげる公共空間の整備)

- 大森の多目的広場によく行って散歩したりするのですが、歩道がでこぼこだったり危険なところもあります。せっかくいい公園なので、整備をして、ウォーキングなど、安心してできるようにしてほしいです。

(女性・50歳代・大森)

- 横手公園やいこいの森が前よりきれいになったように感じる。あるものを一層魅力的にする取り組みを行って欲しい。

(男性・30歳代・横手)

- 子ども達が公園で遊んでいる光景があまり見られない。原因に遊具の老朽化があるのでないか。子どもと一緒にしてみると危険テープや使用禁止が目立つ。そのため休日でも行きたいと思わないので、整備してほしいし、ボルダリングやスケボーなど今の時代にあった施設もあればうれしい。

(男性・40歳代・増田)

- 横手公園、牛沼のバラの花を見学に行ってきた。面積の割にバラの花が、ポツ、ポツと小さな花が見え何か寂しい感じがします。これまでの花の植えられた経緯は分かりませんが、あの場所にどれだけの人が花を見に訪れるでしょうか、このままの状況がつづけばバラの花が自然になくなってしまいます。出来れば今、残っているバラをかき集めて浅舞公園での再生、復活して見てはどうでしょうか。浅舞公園はすでに数本のバラがあり日当たりが良く、吹きさらしにもなりません。管理が大変素晴らしい公園です。旧横手の方は寂しがるかもしれませんが、あるバラを生かす為に、ご検討をよろしくお願い申し上げます。

(女性・60歳代・雄物川)

- 子供達が遊べる場所（公園の充実）をつくって欲しい。住みよい町づくりをお願いします。

(女性・40歳代・横手)

- 子どもが遊べる公園も少なくなっているように感じます。

(女性・40歳代・平鹿)

- 問 19-28 に、宝竜公園のすべり台が壊れたまま。

(女性・40歳代・十文字)

- 横手駅前に足湯があるといいなあと思います。子供達が集まる、憩いの広場、子供プール。

(女性・50歳代・横手)

(6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実)

- 市では地域づくり活動を重要課題として推進しておりますが、聞くところによりますと、補助金や助成金等に対する規制が多すぎて使いづらいとのこと。ある程度の規制は必要ですが、あれもダメ、これもダメというのではなく、もう少し自由に使えるようにして頂きたいです。そうする事により、地域づくり活動がもっと活発化すると思いますし、成果も期待できる事と思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(男性・60歳代・増田)

- 女性センターにWiFiのフリースポットをお願いします。もしくはわいわいぷらざにあるような開放パソコンを置いて下さい。女性センターというわりには、まったく女性に優しくありません。わいわいぷらざは遠くてなかなか行けません。

(女性・50歳代・横手)

- 地域活動への支援についてお願いします。私の地域での「いきいきサロン」の活動の事ですが私達の「いきいきサロン」は4部落が一緒になって活動しています。毎回参加人数は23人ほどですが、多いときは25人ほどになったりします。市の方から年6万円の活動費を頂いているとの事。他の地域では8人位で6万円と同じ金額と聞きました。私はこれには納得いきませんか？宜しくお願いします。

(女性・60歳代・横手)

- 各種募金やアンケート、町内の問題など地域局から「自治会で対応して下さい。」と言われることが多いと感じます。

(男性・50歳代・増田)

- 横手市の良さを国内外にもっとPR出来る策を市民から募集する等市民参加型の行政を目指してほしい。

(女性・60歳代・横手)

- 目的を果たしたと思われる補助事業等は止める勇気も必要と考える～各種の祭やイベントにダラダラと補助金を流すのはいかなものか。

(男性・70歳代・横手)

(6-2 男女が尊重しあう社会づくり)

- 女性が住みたくなる街づくりをしてほしい。人口対策は女性から。

(男性・40歳代・雄物川)

(6-3 情報を共有する環境の整備)

- 市報は月1回がいい。

(男性・60歳代・横手)
- ホームページなどを見られない市民にも、充実した情報をしっかり発信していただけたらと思います。

(女性・60歳代・横手)
- 市報は、他にないくらい充実していると思います。

(女性・60歳代・横手)
- 横手市民だけでなく、隣接する市にも周知、アピールできると魅力のアップ、人の集まる市となれると感じる。広報をしっかりと見る若者はいないと思うのでSNSを利用したわかりやすいとつきやすい行政をアピールしてほしい。

(女性・30歳代・増田)
- 市報について、親しみがわからない。内容が固すぎる・・・。

(女性・60歳代・十文字)
- 人口減少、高齢化等、問題は山積みだと思いますが、今現在住んでいる人が「より住みやすい横手」を発信していくことが1番だと思います。

(男性・50歳代・平鹿)
- 市報は月一回で良い、配布するのがたいへん。

(女性・60歳代・雄物川)
- 時代の流れとともにホームページが普及されてきているが、高齢化社会が進んでいる中ではホームページだけの情報伝達では、若い世代はいいとしても、それに対応できない世代がいることを認識してほしい。高学歴の市職員が多くなり、話することが難しくなって聞こえがちに感じる事が多く、やっていることは、昔とそんなに違ってない気がするのが不思議です。

(男性・60歳代・大雄)
- 各窓口にツイッターアカウントひとつあればホームページいらない。もうパソコンの時代ではないので、かといって、スマホのない人もたくさんいます。

(男性・40歳代・十文字)
- 市報よこでの発行は月一回で良いと思います。

(女性・70歳代・平鹿)

- もっと市の取組みをテレビや新聞にのせてみてはどうでしょうか。わかりやすい方法で横手を明るい街にしてください。
(男性・40歳代・平鹿)
- 市長さんへ 回覧板について、遠く運ぶ人の事を考えてください。税金の無駄も考えて下さい。高齢化や人口減少になって来、今回回覧板は無くして欲しいと思う。近い人は良いかもしれないが、遠い人は大変困る。家を何件か越えて持っていかなければいけない。もしも家族が入院したり、施設に入ったりすると、回覧板が止まる。次の人が困るので昔は皆声をかけたからよかったかもしれないが、今は誰も知らないフリなので、昔ながらの回覧板は、無しにしてもらいたい。
(女性・60歳代・大雄)
- 市報月一回にしたらどうですか。温泉は（ゆとりおん）続けてほしい
(男性・60歳代・大雄)
- 市政の事に興味があるけど知る方法がよくわからない。インターネット・ホームページなどできかないものにはどうしようもない。
(女性・60歳代・平鹿)
- 市報が前から比べると、物足りない様に感じています。
(女性・60歳代・横手)
- 市広報・回覧板を配布する体制を集落や地域に委託してやっている現在体制はやめて郵便等にしてほしい。自営業なので仕事の合間にやっているが時間がない、又、集落の当番制にしてもやる気のない人がいて、4月の広報がこなくて困った。以前と異なり共同生活体としての意識がなくなっているの旧来方式は困るし、家族や仕事によってはすごく負担となっている。
(男性・60歳代・平鹿)
- 横手市報を1か月に2回を1回にお願いします。班長さんが持って来てくれるんですが、このご時世に
(男性・70歳代・横手)
- なかなか出来ない事だと思うが新しい発想でおもいきったやり方をしないと、お金がかかるだけで先がない。広報をりっぱにして何回も配っても見ているヒマもないし、ゴミを増やすだけ。もっとお金をかけないでやってほしい。お金のかからないやり方で、どんどん何かをはじめないと先がない。問 19-3 に今までのやり方ではムリがあると思う。問 19-5 に福祉ではなく仕事がある事！問 19-6 に新しい考え方が必要。問 19-11 に守る文化ではなく新しいものを作る文化に力を入れる。
(女性・70歳代・十文字)

- 高齢者は若者とちがいパソコンやアドレス、インターネット等の最新の技術や操作が出来ないので丁寧な文言で（一般的）解りやすく説明して下さいればほんとうに助かります。今流の言語で書かれても解りません。

（男性・70歳代・横手）

- 市報の見やすさ改善（予算内で大変でしょうが）パソコンがないので市報だけがたよりです。カラー印刷、レイアウト、おくやみ欄（個人情報）は無理ですが、新聞購読していない家庭では知らないで失礼してしまう場合があるので！

（女性・60歳代・平鹿）

- 市報を読み、楽しみながら拝見しております。字体もやさしく分かりやすい文章で構成されているので、あきずに最後まで読み通しております。ありがとうございます。

（男性・40歳代・平鹿）

- 市の回覧の配布物ですが、無駄が多過ぎると思います。

（女性・60歳代・雄物川）

- 市報等の配布物の頻度が多すぎる（月4回）月2回等にできないか。仕事をしている人だと負担になる。本当に必要なものだけ配布するようにしてほしい。

（女性・60歳代・雄物川）

- 旧8市町村の均衡のとれた振興、支援政策を望む。市報の発行は月1回でいいと思う。

（男性・60歳代・山内）

- 毎月の印刷物が多いように思います。回覧でも良い物もあると思います。削減・縮小まとめてはと思います。

（男性・60歳代・横手）

- 市で行っていること、市で発行しているもの、統一性がなさすぎると思います。

（女性・20歳代・十文字）

（7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立）

- よその同じ（似たような）発想。施策で行政が試される・・・責任逃れは容易だが、トータル成果は得られまい。もっと広く豊かに深く、異見を排除しない（許容心も必要、特にトップも含めて上級管理職者）頭を使える、人々を育成、確保して、事にあたらなければ、他所並（良くて）か縮少し埋没し、どんどん魅力のない町になるだろう。

（男性・70歳代・横手）

- 一般に社会的弱者といわれている方々（自分も仲間入りとなる）が、ストレスをあまり感じなくても生活できる市であって欲しい。市民一人一人に掛かるコストは少しかさむことにはなるかもしれないが、共通の利益の確保のために、出費の増は理解が得られると思う。施策では蔭で受益を見込める業者が透けて見えるような昔ながらの、短期的なローカルなものではないものを望みます。

(男性・60歳代・横手)

- 地域局長にある程度予算と権限を与え、機動的に地域の課題に対処できる体制にしてほしい。

(女性・70歳代・大雄)

- 他の市に比べて、斬新な企画というものがなく、マネ事のように見える物ばかり。地域局に相談してもそこで終わり、本部に上がっていかない事もある。予算がなくて通らないと分かる物でも問題提起だけでもしてもらいたい。

(女性・40歳代・大森)

- 横手市や増田・十文字方面等のかたよった市の取り組みが多いように見うけられます。全町村に平均した行政の取り組みになっているのでしょうか？

(男性・70歳代・大森)

- 既成概念にとらわれない改革と新しい政策を期待します。その為にももっと市当局と議会との深い議論をお願いします。

(男性・50歳代・平鹿)

- 除籍謄本をもらいに行ったらコピーしてもらっただけなのに750円もかかった。職員さんの時給等に考えてみて以上に高い。市民サービスならコピー代のみでいいでしょう。

(男性・60歳代・増田)

- 庁舎関係の主要な施設は主に横手地域に集中している様に思われます。他の地域等にも分離させ市民の動線が各地域に振り分けられる様活性化されれば市としても人口減少に併なって少しでも役に立つのではないかと思われるのですが…！ひとつの案として記させて頂きました。

(男性・60歳代・増田)

(7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進)

- 補助金特例債頼りの工事を止める。何にしろ借金に変わらない。将来にツケをまわすだけだ。三セクと市役所直営事業の住み分けをはっきりさせる。変に後出しみたいな補助は止める。当局の発想には思いやりがないようにみられる。

(男性・70歳代・増田)

- 税金の使い道の優先度の区切りをしっかりとって欲しい。合併 10 年の総括などを明確に示して欲しい。

(男性・70 歳代・増田)

- 体調不良に依り見てなかった。判断が難しい。記入漏れ有。遅くなり申し訳ない。市に限らず国も県も財政赤字なら、議員始め全て賞与を減ずるべきでないでしょうか。一般の会社並みに。

(女性・50 歳代・横手)

(7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実)

- スピード感が無い (クレーム対応)

(男性・50 歳代・増田)

- 職員の資質向上 (スキルアップ) をはかるためにも各職域において仕事上に必要な研修を実施していただきたい。そして、研修で得たものを活用してなおかつ、職員 (同職) にも共有してほしいものです。最新情報の提供を！！

(女性・60 歳代・大雄)

- 市役所の受付業務など、情報が共有できていない。

(女性・40 歳代・平鹿)

- 横手市が県から移管されている業務についてお伺いしたい。県では、移管されている業務について、市レベルでの決定でなく確定されることか我々横手市民には、見解を示してくれない。であれば、市は県庁なみの技術と知識が必要である。特に高齢ふれあい課については、スキル不足を大いに感じる。

(女性・50 歳代・横手)

- 臨時職員について見直しがされる事はないでしょうか？

(女性・60 歳代・十文字)

- 各地域局により、窓口の対応が異なりすぎる。上から目線の対応は如何なものか。対応が良い離れた地域局へ行かざるを得ない場合がある。工作中にもスマホなどの操作をされている職員を目にした時はがっかりする。そんな職員が横手の中心にいるとは。残念だ。

(男性・40 歳代・十文字)

- 相手の立場になって物事考えサービス提供してほしい。

(男性・60 歳代・横手)

- 3日間仙台市内を回ったが横手市は20～30年も遅れている感じがする 議員の質も低い 若者の少ないのは当たり前 全てをリセットして原点に帰るべき 人が集まる地域は女性が多い、働く場所、所得の高さなど企業が考えなければならない点が多い反面、人を含め市の職員の生産性など考えたらまだまだ改善点多過ぎる マニュアルでしか動けない人間は大事でも不要 いかがですか？

(男性・60歳代・横手)

- 市役所、市立病院を含め対応が非常にまずい職員がいる。言葉や対応については、研修をおこなうなどが必要なレベルの職員が多く残念。上から目線で話したりなど、配慮に欠ける。改善を求める。

(女性・40歳代・平鹿)

- 公共施設における職員教育の充実 横手駅西口開発(駐車場等の確保) ※10年後～20年後を見据えた市行政の運営

(男性・60歳代・横手)

- 市町村合併の効果として市職員の削減はどうなっているのか。

(女性・60歳代・横手)

- 役所に行くとき暇そうな人をよく見かけます。職員数が多過ぎるのでは？訳のわからない職員がいます。もっと勉強をしてください。上から目線の対応はダメです。

(女性・60歳代・雄物川)

- 市職員の資質の向上に努めてもらいたい。部署によって違いが大きい。

(男性・60歳代・山内)

- 市役所に他町村の者が行くと目線が冷たく感じる。もう少し笑顔で対応してもらえたらと思う。

(性別無回答・60歳代・平鹿)

- 市職員の資質向上についてと思いますが、職員の研修の充実？です。何をするのか？いつまで研修？市職員の方も市民ですか？考えると今一番大切なこと見えていると思いますが(若い職員さんキタイ大です)若い人に横手市に居たいと思ってほしいですネ。仕事が有ってお金、夢が有って生活できるよう宜しくお願い致します。

(女性・50歳代・十文字)

- 「人は石垣、人は城」横手市職員の資質の向上が一番に求められる。全職員に研修の機会を与え日本一の市にしてほしい。

(男性・70歳代・横手)

- 市長さんを始め、職員の方々の日々の市への取り組みの姿勢に感謝します。が、一部の職員には勤務時間を平穩に一日過ごすことに終始しているような姿がみうけられることがあります。又、庁舎の近辺ですれちがっても挨拶することなく平然と通りすぎる事があり、とても嫌な思いをすることがありました。せめて、挨拶ぐらいは笑顔でできる職員であってほしいと思います。

(女性・50歳代・十文字)

- 秋田県民(横手市民)決断力が弱い。もっと人材を育成すべきだと思います。

(男性・60歳代・横手)

- 市職員の仕事に対する熱意が感じられない。イベント(他県への出店など)全ての取り組みで感じられる。ただやり過ぎれば良いと思っている感がある。何事に対しての反省それを生かして次につなげているのでしょうか?熱意があるんでしたらただの空回りでしかありません。他県の人取り組み方、考え方を勉強してほしい。

(性別無回答・年代無回答・地域無回答)

- 以前いなくても、まったく困らなかった公民館に職員が常駐しているのは、どうかと思います。一日何の仕事をしているのですか?人件費もかかっているのですよね?

(女性・40歳代・雄物川)

- 気概をもって行政に当る職員をふやしながらもっと活気のある街づくりを期待したい。将来への投資のできる事業を考え心豊かに健やかに人材を育成できる街へと変貌させて欲しい。このままでは街がなくなってしまう。この街が好きだこの町に住みたいという街づくりを推進して欲しいと強く思います。

(男性・50歳代・平鹿)

- 問19-34の市職員の資質向上について、一部の市職員の方だと思いたいのですが、電話で相談してもわからない内容なのか次々と変わり結局わからずじまい。仕事に対してもっと真摯に取りくんで頂きたい。窓口に行った時、友達なのか知りませんが、笑顔対応してましたが他の人と態度がちがい市民に平等に接していくのが、職員だと思います。

(女性・50歳代・横手)

- 一昔前までは、市役所に用事で行くことが不安でしたが、今は職員の皆様が、親切で大変良いです。私みたいな年寄りに丁寧に対応してくれてありがとうございます。

(女性・70歳代・横手)

- 市職員の態度の悪さ、平鹿地域局は全然だめです。

(女性・50歳代・平鹿)

- 図書館をよく利用しますが、同じ作者の絵本を調べて取り寄せていただいております、丁寧に対応して頂けて大変助かっています。

(女性・30歳代・十文字)

- 市の施設、病院などで、ボランティアの方々に活躍していただくのはどうでしょうか。市の職員の方の仕事量を減らしてはどうでしょうか。市民のために働いて頂き、ありがとうございます。

(女性・40歳代・十文字)

- 市役所職員については、仕事を理解していない者もいるのでは？他人まかせにしている。他人のせいにする、すりかえ等、臨時職員も入れ替えるべきだ。

(男性・40歳代・雄物川)

- 町内の側溝が人の手では取り切れないほど泥が溜まっていた為、役場に連絡し機械等で除去をして欲しいとお願いをしました。しかし、対応は「側溝は町民が掃除管理してもらうことになっている。市が対応するには自治会で予算の要望を出してもらわなければ対応できない。自治会長に要望を上げてもらって下さい。自治会長には役場からも連絡しておきます。」との返答。しかし役場からは自治会長には連絡しておらず、自治会長が直接役場に問い合わせると、その側溝は市が管理していて何年も管理を怠っていた模様。結局は後日市が掃除するとのことですが、これを書いている6月下旬現在1ヶ月経っていますが、未だに側溝掃除は行われていません。市民からの問い合わせに現地確認せず、電話で即答し、適当にやり過ごそうという姿勢は職務怠慢かと思えます。

(男性・30歳代・十文字)

- 職員の市民に対する押し付けが、かなりある。地域局の上役が、多い。

(男性・70歳代・雄物川)

- 市民に対して対応が悪い。また、やる事がおそい。

(性別無回答・40歳代・増田)

- 市職員になるにはある程度コネが必要ですか。同等の学力であれば2次面接は親・家族が市職員だと有利になる等ありますか。知り合いがコネがないから無理だと市職員をあきらめていました。そういう事が無いよう祈ります。

(男性・30歳代・横手)

- 市の職員が多すぎる。人が多すぎる。

(女性・60歳代・横手)

- いつもお世話になりありがとうございます。市職員の方々の対応が個人によって、とてもわかりにくかったり、職員の方々によって説明がことなることがありとても困ったことがありました。私も、もっと勉強をしなければいけません、わからないことを聞きに行った時、一回説明で帰され、後日うかがった時「なんでこんなめんどろなことをしたの、と言われた時はビックリした。あいた口がふさがりませんでした。

(男性・40歳代・横手)

- 若い市職員は、上から目線で話しをすり替えたり聞かない。親身に聞かない。ものを知らない。たまに、あおり運転してる相談をしに行っても「え？そんな事を聞きに来たの？」って顔をやる。とにかく、これを書いているだけでイライラする。最低の横手市十文字町です。

(男性・40歳代・十文字)

- 数年前からの市役所の人事異動が一般企業では考えられないような配置替えを繰り返し、行なっているようですね。短期間での移動、得意、不得意の関係なく人員配置、短期間での移動が多いため、一部では、引き継ぎも悪く、各部署の過去からの積み重ね、経験が生かされていない。これらにより、民間に発注した仕事等、市役所職員より出入り民間企業の方が過去からの積み重ねにより内容に詳しい、役所内部の横のつながりをしない、酷い事を通り越して、職員がかわいそうに見えてきました。一般社会の解っていない方が設定し経験者の中途採用者の募集、市役所内部で公的資格を取得しても待遇はそのまま（これでは民間経験者中途採用に応募するわけない）など、一般企業から見たら、良い人材が育ちにくい悪い環境に見えます。

（同じ部署に長いと、悪い事をするからと言いう方がいますが、そういう人間を採用したのも育てたのも、監理してたもの今も役所でしょ）政治的判断、行政事務の判断のバランスが取れていない（何方もどっちだが）ので、10年先のビジョンが不明

(男性・50歳代・横手)

(横手市の取り組み全般について)

- 民間ではできない行政には期待しています。私は東京から横手に帰省し、本当によかったと感じております。しかし、徐々に活気や人口が減っていることも事実です。横手は渋谷や新宿のようになる必要は全くありませんし、そうなったら住みにくい街になってしまいますが、若い子育て世代や高齢者が安心して、楽しく生活できる取組みに期待しています。

(男性・40歳代・平鹿)

- 訪れる人が幸せになる町づくり 住んでる人が笑顔でいられる街づくり 横手市はあたたかい所だと誰もが言ってもらえるような地域になれるよう、住民の一人として私も協力していきたいと思います。いつもお忙しい職員の皆様、今後共よろしくお願ひします。様々な問題があると思いますが、無理と諦めずにすすめていってください。市長の行動力に期待しています。

(女性・50歳代・大森)

- 温泉は地域の宝だと思う。なくさないで下さい。雪国として、雪遊びできる場所、雪を利用した事業を広げて欲しい。

(女性・50歳代・横手)

- アリーナがNOになっている現状を若者層は非常に不満に思っている。若者がいたい町、来たい町にしないと未来はないでしょう。それから住み生活をしていく若者の意見を聞けない鈍感な市議の方々では若者が離れていくばかりで切なくなります。市長さんの頑張りに期待しております。

(男性・40歳代・平鹿)

- 少子高齢化の中、市政運営ご苦労様です。若者が都会へ出ることなく地元で目標を持って暮らせるまち。

(女性・50歳代・大森)

- 全体的に活気不足かと思えます。そのため世代交代が必要だと思います。昔の考えを捨て、昔のよきところは残し今にあった市政をしていただきたいです。古くさいところに他からくる若者は少ないと思えます。これからの期待しています

(女性・30歳代・横手)

- 各地域ごとの細かい取り組みは素晴らしいものもあるが大きくなった行政のメリットが何も見えてこないと思えます。安全で安心な横手市をもっとアピールする題材をみんなで考えてほしい。わたしは高齢者ですが、嫁いできた頃の「山と川のある町」から受けた清楚な街並みが忘れられません。

(女性・70歳代・平鹿)

- 保育園の月々の料金を市が間違い、家にお金を支払ってほしいと来る。たかが1万円かもしれないが、いきなりの出費は困る。そもそも間違いを1年も気づかないのはどうだろう。下水料金も支払ったのに払えと言われ、二重に支払いさせられた時もある。

(女性・30歳代・雄物川)

- 子供が今、大学生です。もっと若者目線で、暮らしやすく、交通面、良い病院、(質の高い)等、帰ってきてもいい環境だと良いです。仕事も(自分の今までの学習を生かせるような)選べると、若者も、この横手で、家族と暮らせると、明るい町になると・・・。人口減少をどうにかしてほしい。さみしい町になる。活気がなく、歩いている人が少なく、静かな所だ。

(女性・40歳代・横手)

- もう若い人たちは大学進学をしてそのまま横手をでていってしまう。

(女性・50歳代・十文字)

- 家を建てる際に補助等もあればいいと思います。
(男性・20歳代・横手)
- 旧横手市内、大町・四日町・田中町を昔の町内の活気に戻れたら良いと思います。就業改善センターは何を改善しているのですか。高齢者センターは使用されていますか。武道館の隣の駐車場の夜間のライトアップは無意味。電気代がもったいない。平鹿病院の明るさで十分です。
(男性・60歳代・横手)
- 旧平鹿地域局の跡地の有効利用。旧消防署の有効利用を早期にお願い致します。
(女性・60歳代・平鹿)
- 公共施設、思い切って整理してください。そして体育館の新設など。新しい町づくりを進めてください。住む人の心が活性化しないと横手も活性化しないと思います。目に見える変化を感じる町づくりに期待します。
(男性・60歳代・平鹿)
- 人口減少が大問題であり、若い家族や子供を安心して育てられる、市・まちづくりであってほしい。老人福祉関連は充実していると思う。(限界点もあるが)未来をささえる若い世代のために、環境、制度、福祉の充実等にもっと力を入れてほしい。そういう中で、私達世代が、サポートできる様なシステム、情報があれば良いと思う。問19に関しては、答えにくい。利用していない項目もかなりあるため。
(男性・60歳代・十文字)
- 人が流出しないような横手市にしてください。
(男性・50歳代・十文字)
- 市民が毎日明るく希望を持って暮らして行けるような社会環境を育んで行ける施設がほしい。
(女性・60歳代・横手)
- 県外に若い人達がどんどん出ていってしまい、横手市に限らずですが、秋田県は、活気が無いように感じます。何かしら魅力的なものが、横手市にあれば…と願っております。
(女性・50歳代・大森)
- 旧横手市民として、ひと言意見させて頂きたいと思います。昔に比べまして、今は、秋田ふるさと村が中心のように感じます。横手公園に近い私としては、とても寂しく感じています。何のイベントもあまりなく、閑散としているのが本当に残念です。スキー場も閉鎖されているようなので、有料の「わらび」採り場にしたらいかがでしょうか(山内の方にあるみたいなので)
(女性・60歳代・横手)

- 子供・老人・他（働き盛りの人）が損をしないように、平等に手当があればいいと思いました。非課税でなければ何ももらえないのではなく、平等にみなさんが受け取ればいいと思います。非課税でないため何ももらえない物が沢山あります。見直してほしいです。横手市、頑張ってほしいです。
- (女性・70歳代・雄物川)
- 秋田出身（出身じゃなくても可）の有名人のトークショーやサイン会、握手会などのイベントをやってほしい。（まんが美術館でやったようなやつ）
- (男性・10歳代・横手)
- 行政のみな様には大変お世話になっております。若いみなさんには笑顔で接していただけるので元気をいただいております。今後の活躍を期待しております。
- (女性・50歳代・大森)
- 高校卒業後、進学で転出した人たちが地元に戻ってきたくるようなまちづくりをしてほしいです。戻ってくる人が少ない理由は何か原因と対策を検討してほしいです。
- (女性・30歳代・横手)
- 県外に出た人が戻ってきたいと思えるような横手市であってほしい。
- (男性・20歳代・増田)
- 平成の大合併はある意味成功とは言えないのでは？キメ細かさに欠けてきたと思われませんが。市職員はもっと減らせるはずだったのに各支所はかなり苦勞している様に見えるが、本所の人員を減らすべきと思う。遊んでる人が多いですね！！各支所はフルに働いている姿が見受けられるが・・・。市役所の負担を減らす為に市職員の削減を希望します。
- (男性・60歳代・横手)
- 婚活の場が少ない。市役所の近くの結婚支援センターを利用したが、職員が足りていないのではないかと、週2日休みで利用しづらい。連絡もフリーダイヤルではないし、人口増加に取り組んでいるとは思えない。
- (男性・30歳代・横手)
- 多目的屋内競技施設の早期建設。福祉協力員の配置強制化（義務化）、一人暮らし、高齢夫婦の増加に対応できない。民生児童委員の活動に差がありすぎるのでは？臨時職員採用の透明化。公僕としての自覚。横手南小の集団登校は不可能か？
- (男性・70歳代・横手)
- 旧市町村でかたよりがある（様々な面において）
- (男性・10歳代・十文字)

- 若者が安心して定住できる環境と老人にやさしい町になる様に市政を見直してほしい
(女性・60歳代・平鹿)
- 市の貸出機械、アメシロ防除機などはやめて、利用者に払い下げして、市としては所有をやめた方がよい。故障が多く担当者の負担が大きい。機械類や車など所有物は少なくし、リース契約の方向がよい(メンテナンス付)と思ふ。これから外国人が多数住民となる地域もあると思うが、インドネシアなど、イスラム教に対してどうするか、食事、礼拝場などなど、市でその知識があり言葉を理解出来る人がいるのだろうか？異国の人を受け入れる体制はかなり不十分であり。
(男性・60歳代・平鹿)
- 東成瀬のように住民票の自販機があると便利。(合併前の庁舎ごとにあるといいな)
(女性・40歳代・十文字)
- この先10年20年後のビジョンが見えない。つまらん目先でごまかしている。今の市政にはいい期待しないと思ってしまう。やはり大きな横手市は、まちが良かったと思う。大曲(大仙市)には勝てない！！・・・と私の夫は言ってました。
(性別無回答・年代無回答・地域無回答)
- 新しい体育館を作れず、横手市民会館も手狭で、エンタテイメント的な物が少なく残念です。若い人たちが”横手っていいところだよ”と言ってもらえる横手であってほしいと思います。いろいろと反対意見が多いと思いますが、『変革』していただきたいです。
(女性・50歳代・横手)
- 老若男女問わず誰もが住みやすい市になってほしい。また都会や秋田県以外で生活している横手出身者がいつでも帰ってこれるような(再び横手で生活が営める)環境整備をしてほしい。
(女性・20歳代・横手)
- 温泉が楽しみです。お金がないからなくすと言ってます。泊まり客(子供達)もよろこんでます。そろそろ、発想を変えるべき時が来てる気がします。本当の豊かさとは何か？私にもわかりませんがすべて金とは、さみしすぎます。我々も、もっと謙虚に生きるべきかもしれませんね！
(男性・60歳代・大雄)
- 旧大森地区にとって唯一の休養施設であるさくら荘は是非存続して欲しいと思います。
(女性・70歳代・大森)
- 年々地域から活力がなくなっている事を実感します。その主な原因は子どもが少ないことだと思います。少子化対策に重点的に取り組んでいただきたい。
(男性・60歳代・増田)

- 以前アンケートに回答してから、地域の情報イベントによく目を通すようになりました。しかしながら何かが変化したという実感はなく依然として「不便で住みにくい街」という印象を受けます。

(男性・20歳代・大雄)

- 県外からの移住者に対して優しくない。地域のお店で使えるクーポンを渡したり、困った事、聞きたい事があった時に相談できる所があったり、初めての冬の除雪を手伝うとかしないと移住者どころか、出て行く一方なのでは？

(女性・40歳代・横手)

- 人口減少が不安に思います。若者が定着できる地域づくりに期待したいです。

(女性・60歳代・山内)

- 学校を卒業機に若者が県外に流出しています。多くの若者を地元で、早急に対策を考え横手市独自の取り組みを出し実行して下さい。

(男性・50歳代・横手)

- 「少子高齢化」「人口減少」これらを問題にしている内は、横手の発展はないと思う。市町村合併による人員削減を危惧する役人達の詭弁にすぎないのではないかと。保身にひた走る役人達では横手はますます廃れていってしまう。

(男性・20歳代・横手)

- 若者が少ないのは知っていますが、出掛けるのは大曲又は秋田市にどうしても行きがちです。横手市内にも、パチンコやカラオケ以外で若者（高校生や20代、30代）が遊べる施設があればいいと思います。子供が未就学児の時は、保育園から子の体調不良等で連絡が入った場合にはすぐに帰宅できるような職場環境を整えてほしいです。秋田新幹線、横手まで引っ張ってこられませんか…？

(女性・30歳代・平鹿)

- 市北南庁舎通りの桜並木のメンテナンスをお願いします。冬の除雪作業等で毎年かかれていく木もあり、かわいそうです。ラジオの受信状態が市域全般に悪いと思います。高齢者はテレビよりラジオの方を好むのではないかと思います。「木を植えてます」だけでは、自然は喜ばないので、イオンにも植える分の予算の一部整備に使用するようお伝えください。

(男性・60歳代・横手)

- もう一度、総合防災センター体育館の設置建築について検討。市民の声（若者の声）を聞いてください。

(性別無回答・年代無回答・地域無回答)

- なにかに対処する時、まずこれまではどうしていたのか等の前例にとられる発想から脱却し、当該事案の背景や、行政がどのように関与するのがあるべき姿なのか（もちろん費用対効果の側面は活かしながら考えてほしい）（まあまあ主義はごめんです）

（男性・70歳代・横手）

- 私の家でもそうですが、結婚しない男女が多すぎます。何とか機会や場所など提供していただきたく、年1回だけでなく、例えば図書館だったら誰でも足を運べる様なお金のかからないそんな場所を作っただけだと思っと思っています。考えがおおざっぱですけど、試行錯誤して色々な事を考えてもらいたいです。遅れてすみません。

（女性・60歳代・十文字）

（アンケートについて）

- 問19の町づくりの重要度と満足度に関しては、ほとんどの項目が重要だとは思いますが、現在どのくらいの活動をされているのか把握できておらず、満足度が書けませんでした。

（女性・30歳代・横手）

- アンケートをいかして下さい。

（女性・40歳代・横手）

- 無作為に選ばれる市に対するアンケートに答えられたことに感謝いたします。経済力、学力のあるなしにかかわらず一応一市民として意見を言える開かれた市政であってほしいと切に希望いたします。

（女性・70歳代・横手）

- 問19に関しては、正直「わからない」と回答したい。項目が多数あります。それだけ、市にかかわりを持っていないのが現状です。

（女性・30歳代・横手）

- 以前の横手市に比べると市の体制や職員の待遇など市報を通してわかりやすくなったとは思いますが、ただ、市として今何を目的として何をすべきで、何に取り組んでいきたいのか、正直あまりよくわかりません。私は子育てまっただ中なので、子育て支援や医療福祉の充実、教育環境の整備に重点を置いています、市民の声や意見は職員（要望や意見を伝えても、その人で止まっているので、声は届いていませんよね。）や議員を通してのものはあまり参考にはならないと思います。アンケートももう少し具体的なものが良いのではと勝手ながら思いました。アンケートはあまり細かすぎると集まりにくいかわれると思いますが、意外と意見を書いてくれる人はいると思いますよ。

（女性・40歳代・平鹿）

- (問 19-9 の現在の満足度に) 自分でするもの! (問 19-10 の現在の満足度に) 自分でするもの! (問 19-34 に) これにお金を使うんですか。
(男性・70 歳代・山内)
- こういった内容は、本来市長はじめ市議会議員が常々から地域を廻って情報を収集しておくべきものと思います。(いつからか議員など見たことないですが・・・) 人任せ、無責任な市政にはなんの関心もありません。こういったアンケートなど金のムダ使いはやめて、もっと的を得た仕事をして下さい。
(男性・50 歳代・雄物川)
- たまたまなのか、結構な確率でアンケートが当たりますが、図書カードとかボールペン 1 本位のお礼があってもいいのでは…。(わりと暇だれです。) 市長さんはじめ、職員の人方には難儀だと思いますが、市民の元気とりもどして下さい。
(男性・50 歳代・雄物川)
- 問 19 は答え方がよくわからなかった。
(女性・60 歳代・横手)
- いろいろな事が紙面上と違いますか、形だけに思えることが多いです。意見など、ほんとうに反映されているのでしょうか? アンケートを集め結果を集計したということだけに終わらせないでほしいと思います。
(女性・60 歳代・横手)
- 家族や友人など「人」がいるから住み続けたいと思える。「横手だから」住み続けたいわけではない。結婚したら、秋田市に家建て家族も一緒に引っ越しても良いと思っている。特有の魅力は、若い世代としては思いつかない。免許のことを考えても祖父母がかわいそうだ。調査の仕方について、「分からない」等の項目も入れるべきだと思う。
(女性・10 歳代・横手)
- 何回もアンケート来るので夫には 1 度もこない。いつも同じ人にアンケートしているのでしょうか?
(女性・50 歳代・十文字)
- 問 19 の「満足度」については、実施内容がよくわからないので評価のしようがないのが多かった。
(男性・60 歳代・横手)
- このアンケートが何に生かされて市政の効率が高まるのだろうか。今後、何を捨てるのか、具

体的に問うことが必要と考えます。横手市職員は覚悟を持って市民と向き合って下さい。

(男性・60歳代・横手)

- このようなアンケートを何度か答えていますが、全く答えた事がない方もおられました。このアンケートはどのようにして人選されているのですか？

(女性・40歳代・横手)

- アンケートの提出率を市報(8/1号)で知りたい。

(男性・50歳代・横手)

- アンケートを取ることも大事ですが、集計するだけで何かが進展しているわけでもない感じがします。

(女性・50歳代・横手)

- このアンケート用紙の「現在の満足度」で【わからない】があればよかった。～の支援など、やっているのかいないのか実際分からないので○付けるのに困った。

(女性・40歳代・雄物川)

- このアンケート結果を今後の市政に是非とも反映させて頂きたい。意味のないアンケートにならない様に。期待しております。

(男性・40歳代・平鹿)

- この度のアンケート記入で、改めて自分が住んでいる横手市のことを意識することが出来ました。

(女性・60歳代・横手)

- アンケートの取り方がこれでいいのか、回答しにくいと思いました。せっかく実施しているのですから回答者の考えがもっと反映されるようなものを作っていただければと思います。

(女性・40歳代・横手)

- アンケートについてですが...問19の選択肢に”どちらともいえない”や”普通”がほしかったです。あえて加えなかったかもしれませんが、自分の生活と直結していないと感じる問題については“満足”とも”不満”とも答えにくいと感じました。

(女性・30歳代・横手)

- ただアンケートを取るのにこれだけの経費をかけるのは、費用対効果が悪いと思う。アンケート効果が反映されているとも思えない。

(男性・50歳代・雄物川)

- アンケート等を通じ、意見や提案を集約することが、単に事務方のアリバイ作りにならないように願いたい。

(男性・70歳代・横手)

- 若者の意見も取り入れるならば、このようなアンケートなどもペーパーレスでスマートフォン等で回答できるようにすれば返答率も上がるかと思います。アンケートにかかる経費も削減できると思うのですが検討されてはいかがでしょうか？

(男性・30歳代・十文字)

- アンケートの設問が難しすぎる。もっと簡単にしてほしい。

(女性・60歳代・地域無回答)

(その他)

- 市役所の雰囲気は暗く感じます。雰囲気の暗さ＝市の雰囲気の暗さという個人的考えがあります。

(女性・30歳代・横手)

- 市役所職員の駐車場がたくさんありますが、有料なのでしょうかね？すごく安い値段とも聞いています。市民が近くの駐車場借り代は7～8千円します。こんな問題出しても、誰もきっと踏み込めないのでしょうか。市民では問題ですよ！！

(男性・50歳代・横手)

- いつの時代もですが各地域から選ばれた議員は本当に横手市全体の事を思って議論し仕事を真剣にしている人は何人いるのでしょうか？かつて父も町会議員をしていた時、各町民は自分の町内や部落を良くして欲しいと毎日訪問者が来ていました。次回も当選したいがために、その地域の事だけに力を注ぐ議員が何人いたのでしょうか。働きが足りなかったり、自分達の生活が豊かにならないと次回は落選するという。こんな選挙意味ありますか？せめて横手市の市民及び市役所はガラス張りになりませんか？よく2期やると恩給が出るとか……。その為にやっている人も多いらしいですよ？！問19にかかわった事のない質問が多いので多分そうなんだろうなという解答しかできなかった。

(女性・60歳代・十文字)

- 市会議員、市職員の人数が多すぎると思う。人がへってるならそれらの人数もへらすべきだと思う！

(女性・50歳代・十文字)

- 以前雄物川地区で道の駅ができる、と聞きました。その際場所が現在の「えがおの丘」だったと思います。この話はもう無くなったかと思いますが、もしも道の駅ができるのであれば「三国レ

ストラン」のあたりが良いと思います。

(女性・30歳代・雄物川)

- 保険者証。他の市にくらべ見づらい。フォントを変えて太い文字にするか、字を大きくしてほしい。

(男性・50歳代・雄物川)

- イオン横手駅前店を建ててもらいたい。

(女性・50歳代・横手)

- 昨年民間に無償譲渡された旧公共温泉施設の事です。どの様な経緯を経て譲渡されたのかわかりませんが地元の者としては今の評判を聞くと全く残念でなりません。民間に渡ったので市としては関係なくなっただけかもしれませんが、接客がダメ、サービスもダメ、料理も今いち、今迄は受け入れていた色々なお祝事や同級会、会合、等々対応が出来ておりません。せっかくの良い温泉施設の魅力を生かしきれておりません。非常に残念です。

(女性・70歳代・山内)

- 横手市は、日本という成熟した資本主義国家(消え入ろうとしている、ロウソクの灯。)の1地方都市です。経済的な優位は求めず、おだやかな空気が流れる人間的な街を作ってもらいたい。有機体としてのDNAが、生まれてから死を迎えるまで、ずっと横手にいたいと思えるような街並みとそこで暮らす人々の人情。内的な満足を優先したい。No.1にならなくていい。もともと特別な Only one

(男性・30歳代・増田)

- 市長をはじめ、市職員の方々の頑張りには敬意を表します。これからの横手の更なる発展のため御尽力下さる事をお願い致します。

(女性・70歳代・増田)

- 横手市長の存在感がなさすぎる。

(男性・20歳代・横手)

- 大変御苦勞様です。益々住みやすい横手市を願っています。

(女性・60歳代・大森)

- 市長さんが頑張って下さい。体に気つけてこれからも

(女性・70歳代・横手)

- 横手市民会館でもっと歌手たちをつれてきて歌謡ショーやってほしいです。お願いします。

(女性・60歳代・平鹿)

- 公開天文台の設置、運営

(男性・50歳代・増田)

- 県南の中心的な横手市から法務局、職業訓練校が大仙市に移転したことは通勤者の利便性が良くなっただけで利用者はまことに不便で不愉快です。

(性別無回答・年代無回答・地域無回答)

- 横手市でもテレビの「TBS」がみれるように努力してほしい。娯楽施設の乏しい横手で、何が楽しみかといえばTVしかないと思う。2020年には五輪もあります。由利本荘の市長は毎年東京のTBS本社に挨拶をしに行っているそうなので、横手市長も同じ努力をしてほしい。低賃金、低所得、冬は雪が多すぎて外にも出れない。TVは最高の楽しみだと思う。よろしくお願いします。

(女性・30歳代・増田)

- 何事ももっとガラス張りにするべき。

(男性・60歳代・十文字)

III 巻末資料

1 アンケート調査票

2019 年度（令和元年度）

横手市まちづくりアンケート

～ ご協力をお願いします ～

返信用封筒に入れ **7月1日（月）までポストに投函**（切手不要）

日頃より、市政の運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
横手市では、まちづくりの指針を定めた「第2次横手市総合計画」に基づき様々な施策を実施しております。

このアンケートは、市の取り組みや課題に対するみなさまのご意見を総合計画の事後点検や個別計画等に反映させるべく毎年実施しているものです。

設問数も多く大変お手数をおかけしますが、今後のまちづくりの方向性を検討するための大切な調査となりますので、ご協力をお願いいたします。

令和元年6月

横手市長 高橋 大

アンケートのご記入にあたって

- ① この調査票は、横手市にお住まいの18歳以上の方から無作為に抽出した3,000人にお送りしています。
- ② 封筒のあて名にあるご本人についてお答えください。（代筆も可）
- ③ このアンケートは無記名で、回答は統計的な数値として処理いたします。

アンケートに関するお問い合わせ

横手市総務企画部 **経営企画課**

電話番号：0182-35-2164

受付日時：月～金 8：30～17：15
（土・日・祝日を除く）

はじめに、性別や年齢等をお尋ねします

次の質問項目ごとに、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

(ただし、質問項目「ク」は3つまで)

質問項目	選択肢
ア. 性別	1. 男性 2. 女性
イ. 年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上
ウ. お住まいの地域	1. 横手 2. 増田 3. 平鹿 4. 雄物川 5. 大森 6. 十文字 7. 山内 8. 大雄
エ. 職業	1. 農林業 2. 自営業（商工業、サービス業など） 3. 会社員（常勤） 4. 会社員（パート・アルバイトなど） 5. 専業主婦（夫） 6. 公務員、団体職員 7. 学生 8. 無職 9. その他（ ）
オ. 家族構成 ※子の年齢は問いません	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居（親と同居） 4. 二世帯同居（子と同居） 5. 三世帯同居 6. その他（ ）
カ. 同居家族に高校生以下の子どもは	1. いる 2. いない
キ. 同居家族（自身を含む）に65歳以上の方は	1. いる 2. いない
ク. 市の情報を主にどこから得ていますか (主なもの3つまで)	1. 市報よこて 2. 市のホームページ 3. 市議会議員や市職員など市政運営に関わりのある人 4. 市発行のチラシ（お知らせ）や回覧 5. 横手かまくらFM（ラジオ） 6. 市のフェイスブック 7. その他（ ）

市の施策に関連した意識や行動などについて

【公共施設の利用等について】

問1 日本では、昭和40年代から50年代にかけて、道路や橋を含めた公共施設が一斉に整備されました。現在、これらの老朽化が進んでいますが、高齢化や人口減少が進む中で、すべての公共施設を維持することは難しくなります。

このことは「公共施設の更新問題（老朽化問題）」と言われていますが、あなたはこのことをご存知でしたか。（〇は1つ）

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問2 横手市では、公共施設の老朽化や将来の人口減少、財源の減少を見据え、「横手市財産経営推進計画」により、公共施設の再配置等を行っています。あなたは、このことをご存知でしたか。（〇は1つ）

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問3 今後、個別施設ごとの計画作成の参考とするため、市民の皆様の公共施設利用状況についておたずねします。

昨年1年間（平成30年1月1日～平成30年12月31日）を目安に、皆様が利用した市内の公共施設（立ち寄ったことがある施設含む）について教えてください。（あてはまるものすべてに○、1つも該当がなければ空欄のまま）

該当するものに○	施設の種類	参考（施設例）
	集会施設	公民館、Y ² びらざ、就業改善センター 等
	文化系施設	横手市民会館、十文字文化センター 等
	図書館	横手図書館、雄物川図書館、十文字図書館 等
	スポーツ施設	体育館、野球場、陸上競技場、テニスコート 等
	博物館等	石坂洋次郎文学記念館、雄物川郷土資料館 等
	レクリエーション・観光施設	道の駅十文字、大森バーベキュー広場 等
	保養施設	さくら荘、ゆっぴる、ゆとりおん大雄
	学校	小学校、中学校（地域開放の体育館等）
	保健施設	横手保健センター、雄物川保健センター
	幼児・児童施設	保育所、児童館
	高齢福祉施設	白寿園、老健おおもり、ひらか荘 等
	産業系施設	水稻育苗センター、大雄堆肥センター 等
	医療施設	横手病院、大森病院
	市立公園	横手公園、真人公園、浅舞公園 等
	ごみ処理施設	クリーンプラザよこて

【横手産の農産物について】

問4 普段から「地産地消（※）」を意識した生活を送っていますか。（○は1つ）

1. かなり意識している
2. やや意識している
3. あまり意識していない
4. まったく意識していない

※地産地消 … 地元で生産された農林水産物を
地元で消費する取り組み

問5 横手産の農産物は、市外・県外の方へ自信を持っておすすめできるものだと思いますか。（○は1つ）

1. はい
2. いいえ

→ 「はい」とお答えの方にお聞きします。

あなたが自信を持っておすすめできると思う横手の農産物はどんなものですか。（○はいくつでも）

1. アスパラガス
2. きゅうり
3. すいか
4. トマト
5. りんご
6. ぶどう
7. お米
8. その他（ ）

【スポーツ振興について】

問6 普段の生活においてどのくらいの頻度で運動やスポーツ活動をしていますか。
 (ジョギングや散歩、体操などの運動を含みます。) (〇は1つ)

1. 週2回以上している
2. 週1回程度している
3. 月1回程度している
4. していない(数ヶ月に1回程度を含む)

問7 普段よく見るスポーツ(テレビ、観戦)やよく実施するスポーツ、興味のあるスポーツについて選んでください。(〇はそれぞれいくつでも)

競技名	よく見る	見てみたい	よく実施する	やってみたい
バスケットボール				
サッカー				
テニス				
ゴルフ				
野球				
バレーボール				
卓球				
ハンドボール				
バドミントン				
水泳				
スキー・スノーボード				
マラソン・陸上競技				
その他()				

【災害時の避難について】

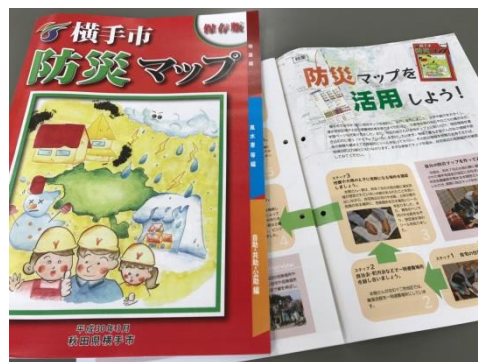
問8 横手市では平成30年（2018年）3月に「防災マップ」を改訂しました。市報とあわせて全世帯に配布しましたが、その活用状況についておたずねします。
（〇は1つ）

1. 詳しく見た
2. 簡単に目を通した
3. 手元にはあるが、まだ見ていない
4. 配布されていることを知らない

事業所またはお手元に届いていない世帯におかれましては、以下までお問い合わせ願います。

※市HPからも防災マップを確認、ダウンロードすることが可能です。

◆問合せ／市総務企画部危機管理課
TEL 35-2195



市報 2018/5/1 号では改訂した防災マップの活用についての特集記事を掲載しています。

問9 災害時にどこに避難すれば良いか知っていますか。（〇は1つ）

1. 知っている
2. 知らない

問10 避難する場所や方法について、ご近所や町内会等で話し合っていますか。
（〇は1つ）

1. 話し合っている
2. 話し合っていない

【男女共同参画について】

問11 ご自身の実感として、横手市が性別に関係なくみんなが活躍できる「男女共同参画社会」になってきていると思いますか。(〇は1つ)

1. 思う
2. やや思う
3. あまり思わない
4. 思わない

「3」または「4」と回答された方にお聞きします。

どのような場面でそう感じますか。(〇はいくつでも)

1. 家庭生活
2. 職場
3. 地域活動
4. その他 ()

【移動・公共交通について】

問12 日常生活を送る上で、移動に不便を感じていますか。
(〇は1つ)

1. かなり不便を感じている
2. やや不便を感じている
3. あまり不便を感じていない
4. まったく不便を感じていない

問13 自動車の運転免許を持っていますか。(〇は1つ)

1. 持っている
2. 持っていたが更新をしなかった
3. 持っていたが自主返納した
4. もともと持っていない

「2」または「3」と回答された方にお聞きします。

「免許の更新をやめよう」または「自主返納しよう」と思ったのはどんなときですか。(〇はいくつでも)

1. 交通事故をおこしたとき
2. 運転していてヒヤリとしたことなどがあったとき
3. 運転に自信がなくなったように感じたとき
4. 家族等に勧められたとき
5. 講習予備検査(※)等で記憶力や判断力の低下が認められたとき
(※75歳以上の方が免許更新等の際に受ける認知機能の検査)
6. その他()

【運転免許証 自主返納サポート制度】



運転免許証を自主返納された方に、市内の公共交通(バスやタクシー)で利用できる1万2千円分の回数券を支給しています。(支給は1回限り)

- ◆ 対象 平成30年4月1日以降に自主返納した方(年齢不問)
- ◆ 申請方法 警察署で配布する「交付申請書」、「申請による運転免許の取消通知書」のコピー、代理申請の場合は本人の印鑑、を下記問合せ先または各地域局地域課へ提出
- ◆ 問合せ先 横手市地域公共交通活性化協議会事務局
市総務企画部経営企画課 Tel 35-2164

◇また、65歳以上の高齢者の方が「運転経歴証明書」を提示すると、県内タクシーの乗車運賃や羽後交通等のバス回数券の割引制度のほか、県内300店以上の協賛店で様々なサービスが受けられます。

問14 買い物や通院にどのくらいの頻度で外出しますか。外出先までの距離や交通手段は問いません。(○はそれぞれ1つ)

項目	ほぼ毎日	週に2~3回	週に1回	月に1~2回	数ヶ月に1回	外出しない
ア. 買い物						
イ. 通院						

問15 自宅から駅やバス停、または目的地まで歩く場合、どの程度の時間なら許容できますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5分以上10分未満 |
| 3. 10分以上15分未満 | 4. 15分以上30分未満 |
| 5. 30分以上1時間未満 | 6. 1時間以上 |

問16 ここ1年間、市内の移動で利用した交通手段(徒歩を除く)について、あてはまるものをすべて選んでください。頻度は問いません。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 自転車 | 2. 原付・バイク |
| 3. 自分が運転する自家用車 | 4. 自分以外の人が運転する自家用車 |
| 5. 鉄道(JR奥羽本線) | 6. 鉄道(JR北上線) |
| 7. タクシー | 8. デマンド交通 |
| 9. 路線バス・代替交通 | 10. コミュニティバス・循環バス |
| 11. その他(_____) | |

※デマンド交通：予約に応じて運行する乗合タクシー(のりあいくん)

代替交通：廃止されたバス路線上を走るバス等

コミュニティバス：平鹿・山内・大森(冬季のみ)地域で市が運行するバス

循環バス：横手地域で市街地を循環しているバス(よこまるくん)

【住みよさ・定住意向について】

問17 あなたは、横手市が住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい

→ 「3」または「4」と回答された方にお聞きします。

「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と思う理由をお書きください。(自由記載)

[]

問18 あなたは、これからも横手市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

1. ずっと住み続けたい
2. 当分は住み続けたい
3. どちらかといえば住みたくない
4. 住みたくない
5. わからない

問19 まちづくりの各分野への「重要度」と「満足度」をお聞きします。
 (「重要度」と「満足度」それぞれに〇を1つずつ)

それぞれに
 〇を1つずつ
 (数字に〇)

項 目	重要度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
1 児童福祉（子育て支援）の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
保育所等の運営や支援、学童保育、相談窓口、ひとり親家庭への支援、医療費助成制度（マル福）、母子保健事業、児童虐待への対応												
2 保健活動・健康づくりの推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
健康診断、「健康の駅」事業、生活習慣病の予防活動（栄養指導等）、心の健康保持と自殺予防、公立病院の運営												
3 高齢者福祉の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
雪下ろしや雪寄せなどの生活支援、老人クラブ活動への支援、介護サービスや介護予防活動												
4 障がい者（児）福祉の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
義足などの補装具の支給、就労支援、医療費助成制度（マル福）、障がい者関係施設の運営												
5 低所得者福祉の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
生活保護制度の運用と自立のための相談援助、生活困窮者への相談・指導、市営住宅の運営と管理（維持修繕）												
6 地域福祉の向上	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
社会福祉協議会・民生児童委員・ボランティア団体等の活動支援、災害時を含めた地域の支えあい体制の構築												
7 学校教育の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
特色ある学校教育・食育・情報モラル教育の推進、不登校等のスクールカウンセラー配置、教育扶助や奨学金貸付												
8 教育環境の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
適正な規模による学校教育環境の整備（学校統合）、学校施設の長寿命化対策、スクールバスの更新と安全な運行確保												
9 スポーツ・レクリエーションの振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
生涯スポーツの推進（チャレンジデーなど）、体育施設の運営管理、各種スポーツ大会やイベントの開催												

それぞれに
○を1つずつ
(数字に○)

項 目	重要度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
10 生涯学習の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
生涯学習施設を中心とした講座等による学習機会の提供、社会教育団体の活動支援、公立図書館の運営と施設管理												
11 地域文化の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
後三年合戦関連史跡など文化財の保存・活用、シンポジウムの開催、埋蔵文化財の発掘調査、各資料館の運営・管理												
12 交通安全・防犯対策の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
交通指導隊や防犯指導隊の活動、交通安全施設等の整備、「よこて安全・安心メール」の運用、無料法律相談等												
13 自然環境と快適な生活環境の保全	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
森林環境整備、動植物の生態系に配慮した水辺空間の保全と水質調査、ごみの不法投棄監視、公害防止等の取り組み												
14 消防・防災体制の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
消防車両の更新、防火水槽・消火栓設置、消防団活動と機材の配備、防災訓練、救急救命士養成、各種防災計画の策定												
15 環境保全政策の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
クリーンプラザよこての運営（ごみ収集事業）、堆肥センター運営、分別によるごみの減量化と資源化の徹底												
16 省エネ・地球温暖化防止活動の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
公共施設へ再生可能エネルギーの導入、街路灯のLED化、クールビス・ウォームビス等の啓発活動												
17 農林業の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
新規就農者や担い手の育成支援、基盤整備、農産物の6次産業化支援、地産地消や食育への取り組み、間伐の実施												
18 商業の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
地域商店街への支援（賑わいや販売促進イベント、空き店舗活用）、起業や創業のための事務スペース提供等の支援												
19 工業の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
地元企業が行う技術力向上や販路拡大への取り組みに対する支援												

それぞれに
○を1つずつ
(数字に○)

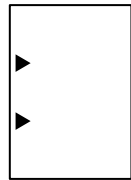
項 目	重要度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
20 観光の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
観光協会等観光推進団体との連携・支援、誘客増加に向けた観光施策の企画と実施、地元産品の物産振興												
21 企業誘致の推進と雇用対策	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
県等と連携した企業訪問、進出済企業へのきめ細かな支援、市内企業への人材育成支援を通じた若者定着												
22 雪対策の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
歩車道の除排雪、地域の除排雪設備等への支援、大雪時等の情報提供の充実												
23 道路網の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
市道の新設や拡幅、市道や橋の維持管理、スマートインターチェンジ設置、国道や県道に関する要望活動												
24 公共交通機関の利便性の向上	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
高齢者等の移動手段の確保（バス路線への支援、デマンド交通・コミュニティバス・循環バス等）												
25 市街地等各拠点地区の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
増田地区の伝統的町並みの保存、横手駅周辺地区の整備、適正な土地利用のための規制と誘導、景観保全												
26 上水道の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
老朽化した管路の更新や耐震化、安全でおいしい水供給のための水源水質管理												
27 下水道等の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
下水道施設や農業集落排水施設の整備、浄化槽設置に対する助成、下水道への加入促進												
28 公園・緑地の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
公園・緑地等（トイレ・遊具等含む）の維持管理、墓地公園の整備、市民との協働による施設管理の推進												
29 市民との協働・活動支援	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
地区会議の運営支援、地域活動への支援、町内会館や集会施設の整備に対する補助												

それぞれに
○を1つずつ
(数字に○)

項 目	重要度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
30 男女共同参画社会づくりの推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
啓発活動（優良事業所・事例紹介）、DV（ドメスティックバイオレンス）防止キャンペーンの実施												
31 広報・広聴の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
多様な媒体を活用した市政情報や市の魅力の発信、市民からの意見募集、公文書等情報公開												
32 他自治体等との連携・交流の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
近隣自治体（北上市等）や友好都市（厚木市・那珂市）との交流、地域のふるさと会、国際交流												
33 成果重視の行政運営の確立	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
行政改革の推進、行政評価制度の導入、組織機構の見直し、行政サービスの向上とコスト削減												
34 市職員の資質向上	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
「市民の立場で考え、変革しつづける職員」の育成を目指し、職員の研修の充実等を実施												
35 横手市の取り組み全般の満足度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6	5	4	3	2	1
横手市の取り組みの総合的な満足度について、あなたのお考えに近いものを選んでください												

◆最後に、市に対するご意見・ご提案などがございましたらご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
この用紙を三つ折りにし、返信用封筒に入れてご返送願います。
(左端に折り目の目安となる印があります)



横手市

アンケート
報告書



過去の結果は、横手市のホームページで
ご覧いただくことができます。

アドレス <https://www.city.yokote.lg.jp>

※トップページ上部中央の検索バーにページ番号を入力すると、
該当ページが検索されます。(ページ番号：000006085)



市長をはじめ市全体で共有し計画の評価等に活用しています。
※第2次横手市総合計画(ページ番号：000020922)